

# 資料編

## 目次

資料 3-1-②-1	「学科・専攻ごとの教員配置」	81
資料 3-1-②-2	「個人別授業担当コマ数（平成 17 年度～19 年度）」	84
資料 3-1-③	「平成 19 年度大分県立芸術文化短期大学教員構成人数」	88
資料 3-1-④	「平成 19 年度大分県立芸術文化短期大学教員年齢構成・性別構成」	88
資料 3-2-②-1	「満足度アンケート」	89
資料 3-2-②-2	「満足度アンケート結果報告書」	91
資料 3-3-①	「教員の研究内容と授業の相関に関する一覧表」	111
資料 7-1-③	「平成 18 年度学生生活アンケートの結果について」	118
資料 7-2-②	「学友会のサークル活動について」	135
資料 7-3-①	「平成 18 年度 保健室・学生相談室活動報告」	136
資料 9-1	「学生による授業評価の全体集計結果（平成 15・16 年度）」	138
資料 9-2	「学生による授業評価全体集計結果（平成 17～19 年度）」	139
資料 A-1-①-2	「研究活動実績（平成 16～18 年）」	139
資料 A-1-②	「研究活動実績表」	142
資料 B-1-①-1	「公開講座実績一覧表（平成 16 年度～18 年度）」	176
資料 B-1-①-2	「学会及び社会における活動集録(案)2006 年 1 月～12 月」	177
資料 B-1-①-3	「学会及び社会における活動収録(平成 18 年)」	183
資料	「卒業者の進路状況（学科別）」	184
資料	別表 4-2：入学者の状況	185
資料	別表 4-3：入学者数と定員充足率	186
資料	「教育課程表」	188
資料	「教育課程表（専攻科）」	196
資料	「出身高校等の所在地県別在学生数（平成 17 年 4 月 1 日現在）」	198
資料	「都道府県別在学生数（平成 18 年 4 月 1 日現在）」	201
資料	「都道府県別（出身校）在学生数（平成 19 年 5 月 1 日現在）」	203
資料	「公立大学法人大分県立芸術文化短期大学の組織に関する規程」	205
資料	「公立大学法人大分県立芸術文化短期大学専門委員会規程」	208



## 資料 3-1-②-1 「学科・専攻ごとの教員配置」

## 美術科美術専攻

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
教授	谷口晶之	絵画(油絵)
教授	河上 央	絵画(日本画)
准教授	中原伸浩	絵画(油絵)
准教授	原田裕明	彫刻
専任講師	荻野 哉	美学
講師	宮内亮輔	人体美学

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
講師	吉田浩太郎	現代美術特講A
講師	加藤康彦	現代美術特講B
講師	黒木良典	版画・版画研究 B
講師	前田亮二	工芸演習 I
講師	富田礼志	美術科教育法
講師	谷口能隆	工芸演習 II

## 美術科デザイン専攻

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
教授	吉村正郎	工芸(染色)
教授	中川恵雄	ビジュアルデザイン
教授	澤田佳孝	工芸(基礎造形)
教授	根之木英二	ビジュアルデザイン
教授	久保木真人	工芸(陶磁器デザイン)
専任講師	鈴木慎一	ビジュアルデザイン
講師	佐脇健一	彫刻演習 I・II
講師	浅野徳三	彫刻演習 I・II
講師	若竹良一	工芸 I
講師	後藤泰幸	製図・インテリアデザイン
講師	友永尚子	工芸史

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
講師	斎藤雅子	工芸材料演習 I
講師	有馬十三郎	デザイン特講 I
講師	前田滋人	デザイン特講 II
講師	大橋重臣	工芸特講 I・工芸特論
講師	中川千年	工芸特講 II
講師	久間清喜	絵画演習 II
講師	前田亮二	工芸演習
講師	貞包博幸	デザイン史
講師	富田礼志	美術科教育法
講師	水谷由美子	意匠学

## 音楽科声楽専攻

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
教授	宮本 修	声楽
教授	河野敦朗	ソルフェージュ
教授	小川伊作	音楽学
准教授	遠藤信一	エクリチュール
准教授	愛甲久美	声楽
准教授	行天正恭	声楽
講師	船橋洋介	指揮法
講師	松原武実	日本音楽史
講師	松田 聡	音楽美学
講師	瀬山眞寿子	声楽特講・実技特論 I

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
講師	阿部容子	声楽
講師	栗栖由美子	声楽
講師	高見久美子	声楽
講師	堤 俊博	声楽
講師	中村雅美	声楽
講師	三浦敬子	合奏(和楽器)
講師	谷村育子	合唱(能楽)
講師	松本 正	音楽科教育法
客員教授	佐藤美枝子	声楽

## 音楽科器楽専攻

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
教授	若松啓子	ピアノ
教授	磯崎淳子	ピアノ
教授	松倉利之	打楽器
准教授	釈迦郡 誠	ピアノ
准教授	川瀬麻由美	ヴァイオリン
准教授	石山 聡	ピアノ
講師	船橋洋介	指揮法・管弦打特講Ⅰ・Ⅱ
講師	松原武実	日本音楽史
講師	松田 聡	音楽美学
講師	辛島輝治	ピアノ特講・実技特論Ⅰ
講師	楠本隆一	ピアノ
講師	中島利恵	ピアノ
講師	宮崎由紀子	ピアノ
講師	麻生恭子	フルート

## 国際文化学科

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
教授	後藤一美	英文学
教授	吉良國光	日本の歴史
教授	染矢正一	英語
教授	上野正二	哲学
教授	入野賀和子	英文学
教授	鄧 紅	中国語
教授	大橋絵理	仏文学
准教授	グレゴリー・A・グッドマーカ	英語
准教授	高瀬圭子	西洋史

## 情報コミュニケーション学科

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
教授	凍田和美	情報処理論
教授	吉良伸一	少子高齢社会論
教授	佐藤淳介	教育学
教授	下川正晴	マス・コミュニケーション論
教授	吉山尚裕	社会心理学
准教授	坂口桂子	労働社会論
准教授	洲 雅明	スポーツと生活
准教授	藤田 文	発達心理学
准教授	水上英徳	現代社会論
准教授	吉岡 孝	情報基礎
専任講師	柴田雄企	臨床心理学

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
講師	岡本 眞	オーボエ
講師	佐藤三保	クラリネット
講師	永江恵子	ファゴット
講師	清水万敬	ホルン
講師	村里修二	トランペット
講師	村岡淳志	トロンボーン
講師	高橋文隆	チューバ
講師	内田 博	ヴィオラ
講師	渡辺紘二郎	チェロ
講師	時津りか	コントラバス
講師	三浦敬子	合奏(和楽器)
講師	谷村育子	合唱(能楽)
講師	松本 正	音楽科教育法

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
准教授	疇谷憲洋	文化交流史
准教授	野坂昭雄	日本文学
専任講師	城田 愛	文化人類学
専任講師	山本聡美	日本美術史
講師	安東大隆	日本古典文学論
講師	上田純一	日本の思想
講師	牛尾弘孝	東洋の文化
講師	片山 寛	キリスト教の思想
講師	鳥谷一生	国際経済論
講師	日高貢一郎	国語表現法

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
専任講師	関口洋美	教育心理学
助教	狩谷 新	メディア・コミュニケーション
講師	石川公一	地方行政法
講師	松隈久昭	消費行動論
講師	岸 牧人	簿記
講師	釘宮史子	秘書実務Ⅰ・Ⅱ
講師	玉野井ちさと	アナウンサー講座
講師	渡辺律子	情報機器基礎・応用演習
講師	中原妙子	情報機器基礎演習
講師	渡邊尚子	情報機器基礎・応用演習

## 共通教育

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
講師	貞包博幸	大分の美術
講師	青野 篤	法学(日本国憲法)
講師	下田憲雄	経済学
講師	高見 徹	生活と環境
講師	安東扇弥子	生活文化史

職名	氏名	主要担当科目・専門領域
講師	橋本憲明	アートセラピー
講師	ヤンノッティ・ルイジ	イタリア語 I・II イタリア語特論 A・B
講師	劉 美貞	韓国語 I・II
講師	中村哲夫	ドイツ語特論 A・B

## 資料3-1-②-2 「個人別授業担当コマ数（平成17年度～19年度）」

## 美術科

## ★講義★

	谷口	河上	中原	原田	萩野	中川	根之木	鈴木	吉村	澤田	久保木	計	平均
H17年 前期							1	2		1	1	5	0.50
H17年 後期						1			1	1	1	4	0.40
H18年 前期					4		1	2		1	1	9	0.82
H18年 後期					3	1			1	1	1	7	0.64
H19年 前期					5		1	2				8	0.73
H19年 後期					3	1			1	2	2	9	0.82

## ★演習★

	谷口	河上	中原	原田	萩野	中川	根之木	鈴木	吉村	澤田	久保木	計	平均
H17年 前期	6	10	4	6		4	6	4			6	46	4.60
H17年 後期	4	4	4	2		4		6		4	4	32	3.20
H18年 前期	6	8	8	6		4	6	4			6	48	4.36
H18年 後期	4	4	4	2		4		6		4	4	32	2.91
H19年 前期	8	8	8	8		4	6	4	3	2	6	57	5.18
H19年 後期	6	6	6	4		4		6	3	6	4	45	4.09

## ★実習★

	谷口	河上	中原	原田	萩野	中川	根之木	鈴木	吉村	澤田	久保木	計	平均
H17年 前期	5	4	4	8		6		5	11	8	4	55	5.50
H17年 後期	8	8	8	12		4	10	4	14	4	10	82	8.20
H18年 前期	5	4	4	8		6		5	11	8	4	55	5.00
H18年 後期	8	8	8	12		4	10	4	14	4	10	82	7.45
H19年 前期	2	2	2	6		6		5	6	7	4	40	3.64
H19年 後期	6	6	6	10		4	10	4	10	4	10	70	6.36

## ★計★

	谷口	河上	中原	原田	萩野	中川	根之木	鈴木	吉村	澤田	久保木	計	平均
H17年 前期	11	14	8	14		10	7	11	11	9	10	105	10.50
H17年 後期	12	12	12	14		9	10	10	15	9	15	118	11.80
H18年 前期	11	12	12	14	4	10	7	11	11	9	10	111	10.09
H18年 後期	12	12	12	14	3	9	10	10	15	9	15	121	11.00
H19年 前期	10	10	10	14	5	10	7	11	9	9	10	105	9.55
H19年 後期	12	12	12	14	3	9	10	10	14	12	15	123	11.18

## 音楽科

## ★講義★

	宮本	大島	行天	愛甲	河野	小川	遠藤	若松	釈迦郡	石山	磯崎	川瀬	福田	松倉	合計	平均
H17年 前期						4	5								9	0.75
H17年 後期						4	5								9	0.75
H18年 前期						4	5								9	0.75
H18年 後期						4	4								8	0.67
H19年 前期						6	7								13	1.08
H19年 後期						6	7								13	1.08

## ★演習★

	宮本	大島	行天	愛甲	河野	小川	遠藤	若松	釈迦郡	石山	磯崎	川瀬	福田	松倉	合計	平均
H17年 前期	1	1.5	1.5		6	3	1		1	2	1	2.5	3.50		24	2.00
H17年 後期	1	1.5	1.5		6	3	2	0.5	1	2	1.5	2.5	4.50		27	2.25
H18年 前期	1		1.5	1.5	6	3	1	1	1	1	1	3	3.50		24.5	2.04
H18年 後期	1		1.5	1	6	3	3	1	1		1	2.5	4.50		25.5	2.13
H19年 前期	1		2.5	2.5	6.5	2		1	1	2	1	4.5		5.5	29.5	2.46
H19年 後期	1		2.5	2.5	6.5	2	1		1	2	1	4.5		6.5	30.5	2.54

## ★実習★

	宮本	大島	行天	愛甲	河野	小川	遠藤	若松	釈迦郡	石山	磯崎	川瀬	福田	松倉	合計	平均
H17年 前期	8.5	7	7.5					10	6.5	7.5	8	7.5	5.50		68	5.67
H17年 後期	7	6.5	7					9.5	6.5	7.5	8	6	5.50		63.5	5.29
H18年 前期	8		7	6				8.5	8.5	8	7.75	8.5	4.50		66.8	5.56
H18年 後期	8		7.5	6				8.5	7.5	8.25	8.5	9	4.50		67.8	5.65
H19年 前期	8.5		6.5	6.5				7.5	8	6.5	7	6		4.5	61	5.08
H19年 後期	8		6.5	6				8.25	7.5	6	7.5	6		4.5	60.3	5.02

## ★計★

	宮本	大島	行天	愛甲	河野	小川	遠藤	若松	釈迦郡	石山	磯崎	川瀬	福田	松倉	合計	平均
H17年 前期	9.5	8.5	9		6	7	6	10	7.5	9.5	9	10	9		101	8.42
H17年 後期	8	8	8.5		6	7	7	10	7.5	9.5	9.5	8.5	10		99.5	8.29
H18年 前期	9		8.5	7.5	6	7	6	9.5	9.5	9	8.75	11.5	8		100	8.35
H18年 後期	9		9	7	6	7	7	9.5	8.5	8.25	9.5	11.5	9		101	8.44
H19年 前期	9.5		9	9	6.5	8	7	8.5	9	8.5	8	10.5		10	104	8.63
H19年 後期	9		9	8.5	6.5	8	8	8.25	8.5	8	8.5	10.5		11	104	8.65

## 国際文化学科

## ★講義★

	後藤	吉良	染矢	上野	入野	鄧	大橋	高瀬	グッド マーカ-	疇谷	野坂	城田	山本	計	平均
H17年 前期	3	6	1	6	4	4	4	3	7	5	6			49	4.45
H17年 後期	3	6	0	6	4	4	4	3	7	5	6	6		54	4.50
H18年 前期	3	6	4	6	4	4	4	4	7	6	6	6	4	64	4.92
H18年 後期	3	6	4	6	4	4	4	5	8	5	6	5	5	65	5.00
H19年 前期	3	5	3	4	4	4	4	4	7	6	7	6	7	64	4.92
H19年 後期	3	6	3	4	4	4	4	4	8	5	6		6	57	4.38

## ★演習★

	後藤	吉良	染矢	上野	入野	鄧	大橋	高瀬	グッド マーカ-	疇谷	野坂	城田	山本	計	平均
H17年 前期	4		5		3	3	3	3		2				23	2.09
H17年 後期	4		5		3	3	3	3		2				23	1.92
H18年 前期	4		3		3	3	3	3		2				21	1.62
H18年 後期	4		3		3	3	3	3		2				21	1.62
H19年 前期	4		4		3	3	3	3		2				22	1.69
H19年 後期	4		3		3	3	3	3		2				21	1.62

## ★実習★

	後藤	吉良	染矢	上野	入野	鄧	大橋	高瀬	グッド マーカ-	疇谷	野坂	城田	山本	計	平均
H17年 前期															
H17年 後期															
H18年 前期															
H18年 後期															
H19年 前期															
H19年 後期															

## ★計★

	後藤	吉良	染矢	上野	入野	鄧	大橋	高瀬	グッド マーカ-	疇谷	野坂	城田	山本	計	平均
H17年 前期	7	6	6	6	7	7	7	6	7	7	6			72	6.55
H17年 後期	7	6	5	6	7	7	7	6	7	7	6	6		77	6.42
H18年 前期	7	6	7	6	7	7	7	7	7	8	6	6	4	85	6.54
H18年 後期	7	6	7	6	7	7	7	8	8	7	6	5	5	86	6.62
H19年 前期	7	5	7	4	7	7	7	7	7	8	7	6	7	86	6.62
H19年 後期	7	6	6	4	7	7	7	7	8	7	6		6	78	6.00



## 情報コミュニケーション学科

## ★講義★

	凍田	吉良	佐藤	下川	吉山	坂口	洲	藤田	水上	吉岡	柴田	関口	狩谷	計	平均
H17年 前期	2	3	3.5		4	3		2	5	1	2			25.5	2.55
H17年 後期	2	4	3.2		3	4		5	3	3	3			30.2	3.02
H18年 前期	2	2	4.5		4	2		2	4	1	3	3		27.5	2.50
H18年 後期	2	4	3.2		3	4	1	5	4	3	2	2		33.2	3.02
H19年 前期	2	2	5.5	4	4	2	1	2	4	1	3	1	4	35.5	2.73
H19年 後期	2	5	4.2	3	2	4	2	4	3	3	1	3	6	42.2	3.25

## ★演習★

	凍田	吉良	佐藤	下川	吉山	坂口	洲	藤田	水上	吉岡	柴田	関口	狩谷	計	平均
H17年 前期	11	6			4	4		5	4	11	4			49	4.90
H17年 後期	6	4			3	3		3	3	6	3			31	3.10
H18年 前期	10	5	3		4	4	3	5	4	11	4	4		57	5.18
H18年 後期	6	4	2		3	3	2	3	3	6	3	2		37	3.36
H19年 前期	10	7	3	1	4	4	3	5	4	11	4	4	3	63	4.85
H19年 後期	4	5	2		4	3	3	4	3	6	4	2	4	44	3.38

## ★実習★

	凍田	吉良	佐藤	下川	吉山	坂口	洲	藤田	水上	吉岡	柴田	関口	狩谷	計	平均
H17年 前期							9							9	0.90
H17年 後期							5							5	0.50
H18年 前期							9					2		11	1.00
H18年 後期							4					2		6	0.55
H19年 前期				4			4					2		10	0.77
H19年 後期				3			4					2		9	0.69

## ★計★

	凍田	吉良	佐藤	下川	吉山	坂口	洲	藤田	水上	吉岡	柴田	関口	狩谷	計	平均
H17年 前期	13	9	3.5		8	7	9	7	9	12	6			83.5	8.35
H17年 後期	8	8	3.2		6	7	5	8	6	9	6			66.2	6.62
H18年 前期	12	7	7.5		8	6	12	7	8	12	7	9		95.5	8.68
H18年 後期	8	8	5.2		6	7	7	8	7	9	5	6		76.2	6.93
H19年 前期	12	9	8.5	9	8	6	8	7	8	12	7	7	7	109	8.35
H19年 後期	6	10	6.2	6	6	7	9	8	6	9	5	7	10	95.2	7.32

## 資料 3-1-③ 「平成 19 年度大分県立芸術文化短期大学教員構成人数」

	学長	教授	助教授	講師	助教	計
学長	1					1
美術科		7	2	2		11
音楽科		6	6			12
国際文化学科		6	5	2		13
情報コミュニケーション学科		5	5	2	1	13
合計	1	24	18	6	1	50

## 資料 3-1-④ 「平成 19 年度大分県立芸術文化短期大学教員年齢構成・性別構成」

	60代		50代		40代		30代		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
学長	1								1	
美術科	3		5		2		1		11	
音楽科	1	1	4	1	2	2	1		8	4
国際文化学科	1		3	1	3	2	1	2	8	5
情報コミュニケーション学科			5		2	2	3	1	10	3
計	6	1	17	2	9	6	6	3	38	12

\*平成 19 年 4 月 1 日現在の年齢

## 資料3-2-②-1 「満足度アンケート」

卒業する皆さんへ

平成18年度

本学教育についての満足度アンケートのお願い

FD 推進会議

本学の教育改善のための資料にします。あなたの満足度をぜひ聞かせてください。

なお、回答いただいた内容は統計的に処理され、誰がなんと答えたかなど一人ひとりの回答が特定されることはありません。どうぞ、ご自由にご回答ください。

★あなたの所属学科・専攻科を○で囲んでください。

- (1)美術科 (2)音楽科 (3)国際文化学科 (4)情報コミュニケーション学科  
(5)専攻科美術専攻 (6)専攻科音楽専攻

【1】 本学に入学したことをどの程度満足していますか。％を○で囲んでください。

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

【2】 いろいろな面での満足を具体的に聞きます。同様に％を○で囲んでください。

①授業について

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

②先生との出会い

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

③友人との出会い

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

④事務職員の対応

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

⑤施設・設備について

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

【3】 本学での自分の成長にどの程度満足していますか。％を○で囲んでください。

たいへん満足している ←—————  
100% 90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%

【ウラに続きます】

【1】 本学に入学して良かったと思うことを書いてください。

【2】 本学の教育・事務・施設等で改善してほしいことがありましたら書いてください。

ご協力ありがとうございました。

## 資料 3-2-②-2 「満足度アンケート結果報告書」

平成 18 年度卒業生・修了生 本学教育についての満足度アンケートについて

平成 19 年 5 月 16 日

FD 推進会議

## ■調査の概要

- ・対象者は平成 18 年度の学科卒業生 373 名および専攻科修了生 35 名、計 408 名。
- ・平成 19 年 3 月 23 日の卒業式・修了式後に各科で配布、解散するまでに記入してもらい回収した。
- ・調査票は P. 19～20 を参照。

## ■回収率・回収数

- ・有効回収数と有効回収率は下記の通り。
- ・平成 16 年度の美術科・音楽科の数字は、専攻科と合わせてのもの (P. 3～の集計結果も同様)。
- ・美術科、音楽科、専攻科については、平成 16 年度、学科と専攻科が区別されていなかったため、数値は不明。
- ・昨年度より回収率が上昇した。

	平成 18 年度			平成 17 年度			平成 16 年度		
	卒業・ 修了生数	回収数	回収率	卒業・ 修了生数	回収数	回収率	卒業・ 修了生数	回収数	回収率
美術科	79	64	81.0%	68	42	61.8%			
音楽科	63	47	74.6%	66	18	27.3%			
国際文化学科	115	109	94.8%	105	89	84.8%	115	104	90.4%
情報コミュ学科	116	99	85.3%	109	70	64.2%	101	83	82.2%
学科計	373	319	85.5%	348	219	62.9%			
専攻科美術専攻	19	11	57.9%	24	22	91.7%			
専攻科音楽専攻	16	12	75.0%	20	3	15.0%			
専攻科計	35	23	65.7%	44	25	56.8%			
総計	408	342	83.8%	392	244	62.2%	400	323	80.8%

## ■調査結果の概要

過去 3 年間も卒業式・修了式で同じ条件で実施したが、平成 18 年度は回収率を向上することができた。多くの意見を聞くことにより、今後に活かすことができると思われる。

各学生に、P. 19～20 の「本学教育に関するアンケート」の各質問に対して、最も満足した場合を 100%として回答してもらい、学科・専攻科別に平均値を算出した。

## 1. 本学に入学したことに対する満足度について

過去 3 年間では、平成 16 年度の平均値が 85.1%と最も高かったものの、平成 18 年度は、平成 17 年度の 80.7%よりも上昇して 84.0%であった。人文系よりも芸術系の方が若干高い傾向がみられる。特に、専攻科音楽専攻の 95.8%は高い値であった。

## 2①. 授業について

この項目に関しても、昨年度の 75.0%よりも上昇して 78.7%となったものの、満足に関する

5項目のうち、施設・設備について低い項目であった。専攻科音楽専攻が平成17年度よりも大幅に上昇、美術科、国際文化学科、情報コミュニケーション学科も上昇しているが、音楽科、専攻科美術専攻など低下している学科もあった。

## 2②. 先生との出会いについて

専攻科音楽専攻は、回答者全員が100%と回答する高い結果となったが、音楽科は平成17年度の95.6%から89.2%に低下した。情報コミュニケーション学科や専攻科美術専攻は他に比べて低かった。

## 2③. 友人との出会いについて

すべての学科・専攻科で90%を越えており、2年間で多くの学生は友人との出会いがよかったと感じている。

## 2④. 事務職員の対応について

美術科が少し低いものの、他の3学科ではあまり差はみられない。専攻科はやや高い値であった。また、全体的にみて対応に関して満足度が上昇傾向にある。

## 2⑤. 施設・設備について

これは平成18年度に設けられた項目である。全学的にみると最も低い項目である。特に、芸術系2学科と専攻科音楽専攻でその傾向が強かった。

## 3. 本学での自分の成長について

この項目に関しては、全学的にみると77.8%と決して高い数値ではなかった。音楽科と専攻科美術専攻で大幅な低下がみられるが、専攻科音楽専攻で大幅な上昇がみられた。

### ■集計結果について

I 各質問に対する全学・各学科の平均値（平成17年度専攻科音楽専攻は、有効回収率が非常に低いため参考程度）

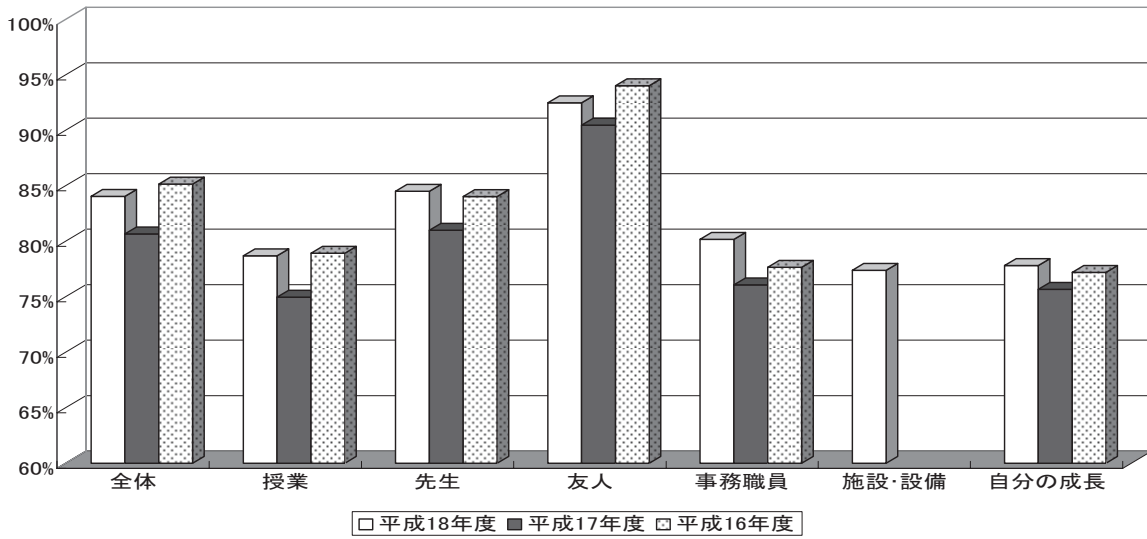
- |                    |   |
|--------------------|---|
| <u>1 本学全体の満足度</u>  | Q1. 本学に入学したことをどの程度満足していますか。(全体)                                     |
| <u>2 各側面の満足度</u>   | Q2①. 授業について Q2②. 先生について Q2③. 友人について<br>Q2④. 事務職員について Q2⑤. 施設・設備について |
| <u>3 本学での自分の成長</u> | Q3. 自分の成長にどの程度満足していますか。   |

	1.本学に入学したこと(全体)			2①授業について		
	H18	H17	H16	H18	H17	H16
全学	84.00%	80.70%	85.10%	78.70%	75.00%	78.90%
美術科	85.70%	84.80%	89.10%	82.00%	80.00%	78.60%
音楽科	85.10%	86.10%	89.00%	79.60%	88.90%	86.80%
国際文化学科	82.90%	79.30%	79.40%	76.80%	69.60%	75.50%
情報コミュ科	82.10%	76.20%	85.80%	76.30%	72.30%	78.80%
専攻科美術専攻	85.50%	87.70%		79.10%	83.20%	
専攻科音楽専攻	95.80%	80.00%		94.20%	83.30%	
	2②先生との出会いについて			2③友人との出会いについて		
	H18	H17	H16	H18	H17	H16
全学	84.50%	81.00%	84.00%	92.50%	90.50%	94.00%
美術科	84.40%	84.90%	84.90%	94.90%	93.10%	94.30%
音楽科	89.20%	95.60%	93.60%	92.60%	94.40%	97.60%
国際文化学科	87.00%	80.70%	80.10%	90.40%	89.20%	92.20%
情報コミュ科	78.50%	71.10%	82.30%	92.00%	86.90%	93.90%
専攻科美術専攻	78.20%	92.70%		95.50%	97.70%	
専攻科音楽専攻	100.00%	93.30%		99.20%	96.70%	

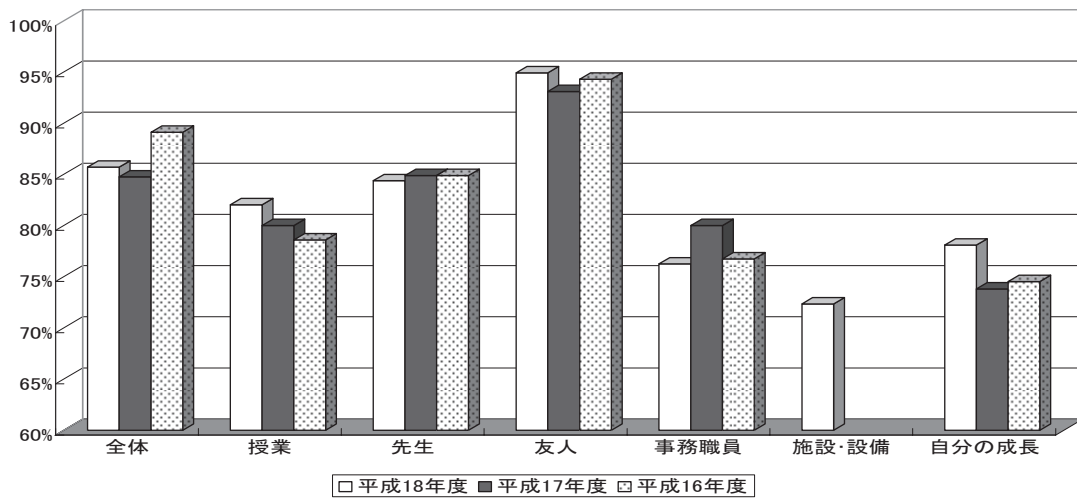
	2④事務職員の対応について			2⑤施設設備について		
	H18	H17	H16	H18	H17	H16
全学	80.20%	76.10%	77.70%	77.40%		
美術科	76.30%	80.00%	76.70%	72.30%		
音楽科	80.60%	75.60%	81.00%	65.30%		
国際文化学科	81.70%	75.60%	74.70%	83.20%		
情報コミュ科	79.80%	72.70%	80.20%	80.90%		
専攻科美術専攻	84.60%	80.90%		85.50%		
専攻科音楽専攻	83.30%	80.00%		61.70%		

	3.本学での自分の成長について		
	H18	H17	H16
全学	77.80%	75.70%	77.20%
美術科	78.10%	73.80%	74.50%
音楽科	73.60%	83.30%	76.80%
国際文化学科	79.20%	74.20%	74.30%
情報コミュ科	76.20%	74.00%	83.80%
専攻科美術専攻	78.20%	84.10%	
専攻科音楽専攻	93.30%	76.70%	

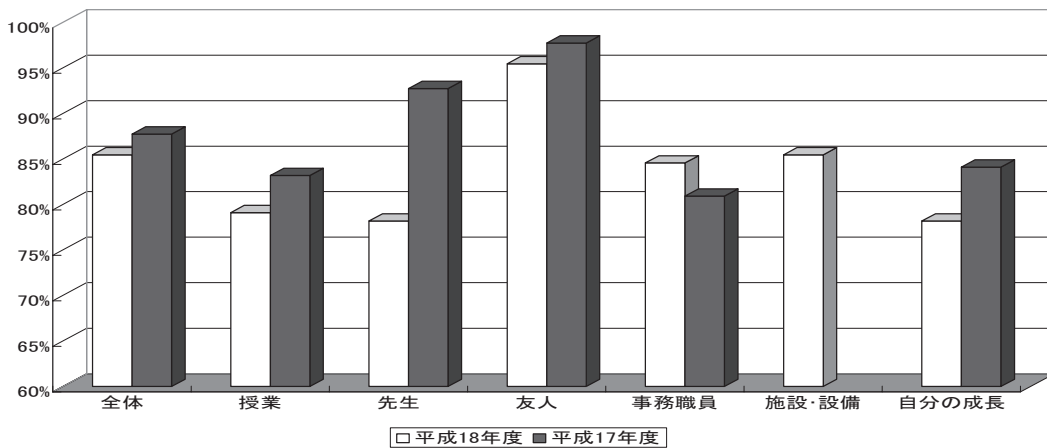
全学平均値



美術科平均値

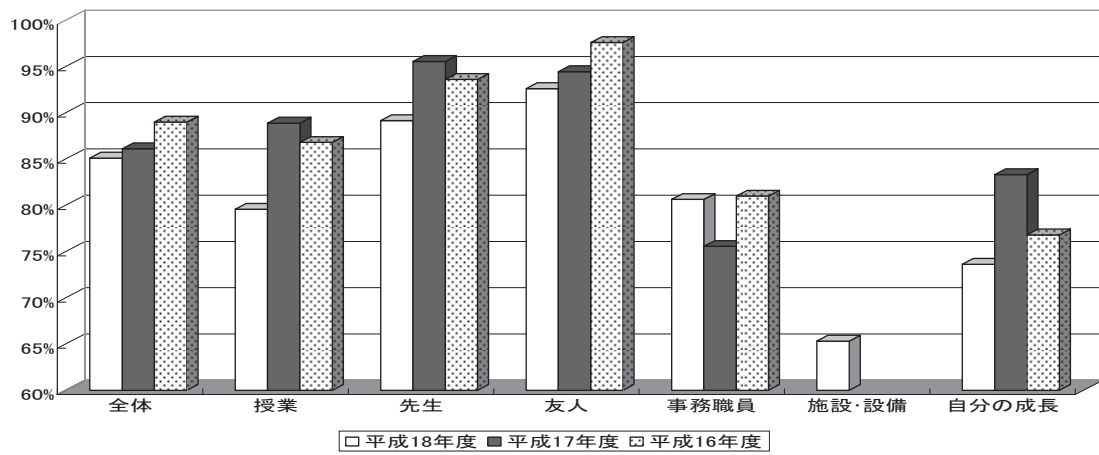


専攻科美術専攻平均値

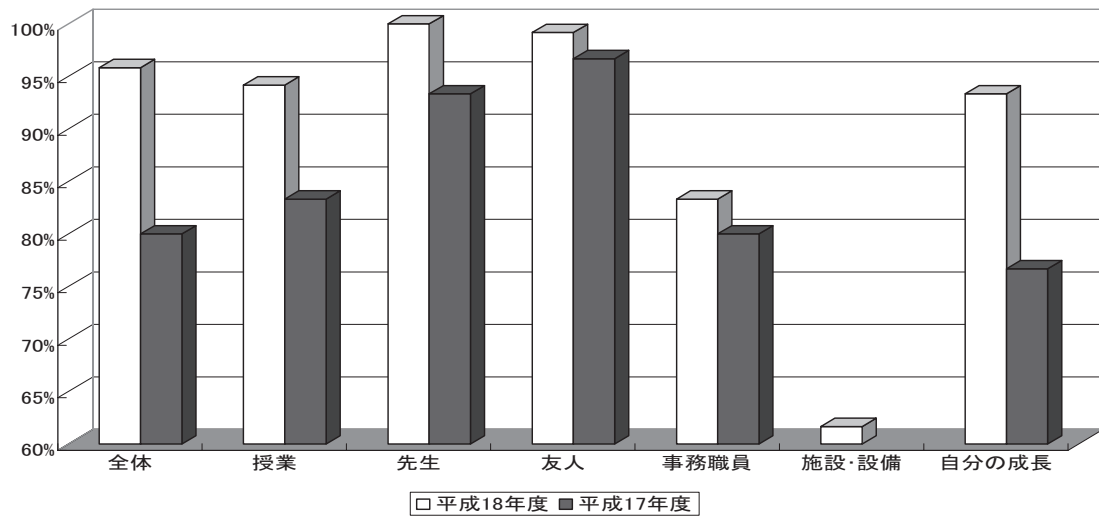




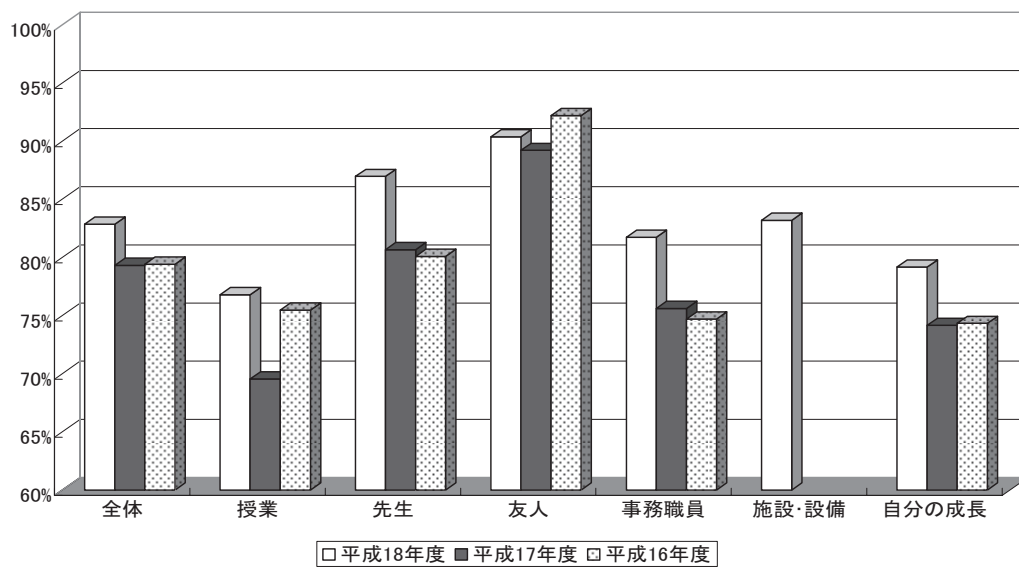
音楽科平均値



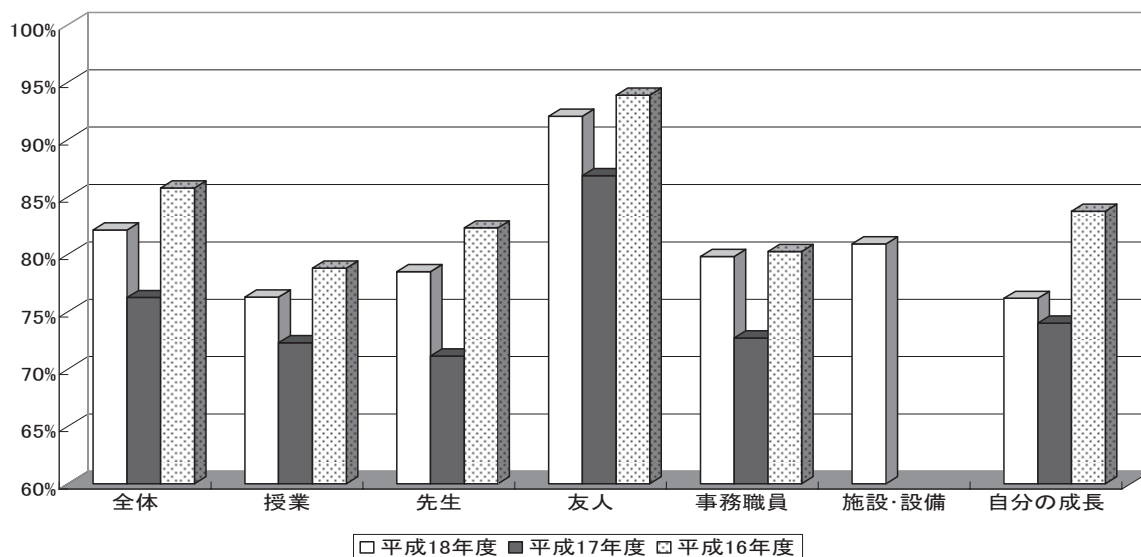
音楽専攻科平均値



国際文化学科平均値



情報コミュニケーション学科平均値



## II 各質問に対する全学の度数分布

- 1 本学全体の満足度 Q1. 本学に入学したことをどの程度満足していますか。(全体)
- 2 各側面の満足度 Q2①. 授業について Q2②. 先生について Q2③. 友人について  
Q2④. 事務職員について Q2⑤. 施設・設備について
- 3 本学での自分の成長 Q3. 自分の成長にどの程度満足していますか。

全体 満足度	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0					1	0.3		
10								
20	1	0.3	1	0.3				
30	2	0.6	2	0.6	1	0.3	1	0.3
40	3	0.9	7	2	7	2	3	0.9
50	11	3.2	24	7	9	2.6	9	2.6
60	17	5	28	8.2	26	7.6	8	2.3
70	55	16.1	66	19.3	40	11.7	12	3.5
80	81	23.7	90	26.3	67	19.6	39	11.4
90	53	15.5	55	16.1	68	19.9	39	11.4
100	117	34.2	69	20.2	123	36	228	66.7
空白	2	0.6					3	0.9
合計	342	100	342	100	342	100	342	100
平均値 (SD)	84	-15.6	78.7	-16.4	84.5	-16.4	92.5	-13.6

全体	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	4	1.2	2	0.6		
10	3	0.9	3	0.9	2	0.6
20	2	0.6	2	0.6	1	0.3
30	3	0.9	5	1.5	5	1.5
40	4	1.2	7	2	6	1.8
50	20	5.8	23	6.7	21	6.1
60	22	6.4	40	11.7	33	9.6
70	50	14.6	53	15.5	67	19.6
80	72	21.1	68	19.9	83	24.3
90	69	20.2	64	18.7	56	16.4
100	93	27.2	75	21.9	67	19.6
空白					1	0.3
合計	342	100	342	100	342	100
平均値 (SD)	80.1	-20.1	77.4	-19.9	77.8	-17.6

## III 各質問に対する学科

美術科	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0
30	1	0.6	1	1.6	0	0	0	0
40	1	0.6	1	1.6	3	4.7	0	0
50	1	0.6	4	6.3	0	0	0	0
60	4	6.3	5	7.8	5	7.8	2	3.1
70	9	14.1	6	9.4	10	15.6	2	3.1
80	9	14.1	14	21.9	10	15.6	6	9.4
90	11	17.2	16	25	12	18.8	6	9.4
100	27	42.2	17	26.6	24	37.5	47	73.4
空白	1	1.6	0	0	0	0	1	1.6
合計	64	100	64	100	64	100	64	100
平均値 (SD)	85.7	16.7	82	17.1	84.4	16.6	94.9	10.1

美術科	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	1	1.6	0	0	0	0
10	0	0	1	1.6	1	1.6
20	0	0	2	3.1	0	0
30	0	0	2	3.1	0	0
40	3	4.7	3	4.7	0	0
50	4	6.3	5	7.8	5	7.8
60	10	15.6	5	7.8	8	12.5
70	11	17.2	13	20.3	12	18.8
80	9	14.1	13	20.3	13	20.3
90	13	20.3	10	15.6	10	15.6
100	13	20.3	10	15.6	14	21.9
空白	0	0	0	0	1	1.6
合計	64	100	64	100	64	100
平均値 (SD)	76.3	20.1	72.3	22.2	78.1	18

音楽科	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	1	2.1	0	0
50	2	4.3	6	12.8	3	6.4	3	6.4
60	2	4.3	3	6.4	1	2.1	1	2.1
70	5	10.6	7	14.9	1	2.1	0	0
80	17	36.2	14	29.8	10	21.3	5	10.6
90	3	6.4	5	10.6	3	6.4	5	10.6
100	18	38.3	12	25.5	28	59.6	32	68.1
空白	0	0	0	0	0	0	1	2.1
合計	47	100	47	100	47	100	47	100
平均値(SD)	85.1	14.3	79.6	16.5	89.1	16.4	92.6	14.2

音楽科	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	1	2.1	0	0
10	1	2.1	1	2.1	0	0
20	0	0	0	0	0	0
30	0	0	1	2.1	1	2.1
40	0	0	2	4.3	2	4.3
50	6	12.8	13	27.7	8	17
60	2	4.3	6	12.8	4	8.5
70	3	6.4	5	10.6	9	19.1
80	15	31.9	10	21.3	9	19.1
90	5	10.6	1	2.1	4	8.5
100	15	31.9	7	14.9	10	21.3
空白	0	0	0	0	0	0
合計	47	100	47	100	47	100
平均値(SD)	80.6	19.7	65.3	23	73.6	19.7

国際文化学科	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0
30	1	0.9	1	0.9	0	0	1	0.9
40	2	1.8	5	4.6	0	0	2	1.8
50	4	3.7	8	7.3	2	1.8	4	3.7
60	4	3.7	8	7.3	6	5.5	3	2.8
70	20	18.3	26	23.9	11	10.1	3	2.8
80	26	23.9	25	22.9	25	22.9	15	13.8
90	18	16.5	16	14.7	25	22.9	15	13.8
100	33	30.3	20	18.3	4	36.7	66	60.6
空白	1	0.9	0	0	0	0	0	0
合計	109	100	109	100	109	100	109	100
平均値(SD)	82.9	15.9	76.8	17.2	87	13.1	90.4	15.8

国際文化学科	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0
10	1	0.9	0	0	0	0
20	0	0	0	0	1	0.9
30	1	0.9	0	0	1	0.9
40	1	0.9	0	0	3	2.8
50	5	4.6	1	0.9	3	2.8
60	5	4.6	12	11	9	8.3
70	17	15.6	21	19.3	22	20.2
80	28	25.7	21	19.3	29	26.6
90	25	22.9	25	22.9	19	17.4
100	26	23.9	29	26.6	22	20.2
空白	0	0	0	0	0	0
合計	109	100	109	100	109	100
平均値(SD)	81.7	16.6	83.2	13.9	79.2	16.7

情報コミュニケーション学科	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	1	1	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
20	1	1	1	1	0	0	0	0
30	0	0	0	0	1	1	0	0
40	0	0	1	1	3	3	1	1
50	4	4	5	5.1	4	4	2	2
60	6	6.1	12	12.1	10	10.1	2	2
70	18	18.2	22	22.2	16	16.2	6	6.1
80	26	26.3	34	34.3	22	22.2	12	12.1
90	19	19.2	14	14.1	26	26.3	12	12.1
100	25	25.3	10	10.1	16	16.2	63	63.6
空白	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	99	100	99	100	99	100	99	100
平均値(SD)	82.1	15.3	76.3	14.5	78.5	18	92	13.2

情報コミュニケーション学科	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	2	2	1	1	0	0
10	1	1	0	0	1	1
20	2	2	0	0	0	0
30	1	1	1	1	3	3
40	0	0	1	1	1	1
50	5	5.1	3	3	5	5.1
60	4	4	13	13.1	11	11.1
70	18	18.2	12	12.1	19	19.2
80	16	16.2	19	19.2	27	27.3
90	21	21.2	25	25.3	20	20.2
100	29	29.3	24	24.2	12	12.1
空白	0	0	0	0	0	0
合計	99	100	99	100	99	100
平均値(SD)	79.8	22.4	80.9	18	76.2	17.5

専攻科 造形専攻	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0	0
60	0	0	0	0	4	36.4	0	0
70	3	27.3	5	45.5	2	18.2	1	9.1
80	3	27.3	3	27.3	0	0	1	9.1
90	1	9.1	2	18.2	2	18.2	0	0
100	4	36.4	1	9.1	3	27.3	9	81.8
空白	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	100	11	100	11	100	11	100
平均値(SD)	85.5	12.9	79.1	10.4	78.2	17.8	95.5	10.4

専攻科 造形専攻	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0
60	1	9.1	1	9.1	1	9.1
70	1	9.1	1	9.1	4	36.4
80	4	36.4	3	27.3	3	27.3
90	2	18.2	3	27.3	2	18.2
100	3	27.3	3	27.3	1	9.1
空白	0	0	0	0	0	0
合計	11	100	11	100	11	100
平均値(SD)	84.5	12.9	85.5	12.9	78.2	11.7

専攻科 音楽専攻	Q1 全体		Q2①授業		Q2②先生		Q2③友人	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	0	0	0
30	0	0	0	0	0	0	0	0
40	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	1	8.3	0	0	0	0
60	1	8.3	0	0	0	0	0	0
70	0	0	0	0	0	0	0	0
80	0	0	0	0	0	0	0	0
90	1	8.3	2	16.7	0	0	1	8.3
100	10	83.3	9	75	12	100	11	91.7
空白	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	100	12	100	12	100	12	100
平均値(SD)	95.8	11.6	94.2	14.4	100	0	99.2	2.9

専攻科 音楽専攻	Q2④事務		Q2⑤施設		Q3 成長	
	度数	%	度数	%	度数	%
0	1	8.3	0	0	0	0
10	0	0	1	8.3	0	0
20	0	0	0	0	0	0
30	1	8.3	1	8.3	0	0
40	0	0	1	8.3	0	0
50	0	0	1	8.3	0	0
60	0	0	3	25	0	0
70	0	0	1	8.3	1	8.3
80	0	0	2	16.7	2	16.7
90	3	25	0	0	1	8.3
100	7	58.3	2	16.7	8	66.7
空白	0	0	0	0	0	0
合計	12	100	12	100	12	100
平均値(SD)	83.3	32.8	61.7	26.9	93.3	10.7

#### IV 自由記述欄

##### 4 本学に入學して良かったと思うことを書いてください。

###### ■美術科及び専攻科美術専攻：75名中43名記述

###### ○友達に関すること

- ・ 友達がたくさんできた。
- ・ 共通の趣味を持つ友人と会えたこと。
- ・ 友人との出会い。
- ・ 仲良い友が出来たこと。
- ・ いろんな人に出会えたこと。
- ・ 先生や友達と会えたこと！
- ・ たくさんの良い友人に出会えたこと。
- ・ 語り合える仲間に出会えた。

###### ○自由に関すること

- ・ 好きなことを好きなだけできる。
- ・ 自分のやりたいことを自由にできたこと。

###### ○授業料に関すること

- ・ 学費が安かった。

###### ○パソコンに関すること

- ・ イラストレーターの扱い方が学べたのはありがたかった。
- ・ Mac が使えるようになったし、友達も出来たこと。
- ・ Mac とプリンタが自由に使えてよかった。
- ・ Mac が使い放題だったこと。

## ○講義や教育に関すること

- ・ デザイン、映像の知識を深められた。
- ・ 少人数制
- ・ 新たな専門的な知識を身につけたこと。
- ・ 授業の方法
- ・ 技術向上
- ・ 初めてデザインというものに触れることができたこと。
- ・ 全く知らなかったことを勉強できて、本当にためになった。
- ・ 自分の進路に関するスキルをいっぱい学べたこと。
- ・ 短期間でも専門知識を学べた。
- ・ 美術を勉強できて、成長できた。教職がとれてよかった。
- ・ 色々と学べました。
- ・ 写真の加工の仕方を学べたこと。
- ・ “デザイン構成”で先生から指示を受けて買った面相筆に出会えたこと。未だに愛用している。
- ・ たくさんのことを学ぶことができた。
- ・ 自由に楽しく美術を学べたこと。
- ・ 自分でどんな風に制作するか、生きていくかを学んだと思う。
- ・ 世界が広がったこと。
- ・ 色々経験できたこと。
- ・ 自分が「知らない」ということを実感もって知ることができた。
- ・ 学びたいという意欲が湧いてきた。

## ○先生に関すること

- ・ 先生がよかった。
- ・ 先生方の毒舌をもう一年聞けたこと。
- ・ とても素敵な先生に出会えた。

## ○就職や将来にすること

- ・ 現実がわかってきて、自分の目標がより具体的になった。
- ・ 目標が出来たこと。
- ・ 自分のやりたいこと、出来ること、やっつけなければならぬことが見えたこと。

## ○施設・設備・環境や雰囲気に関すること

- ・ 白い建物が多く、雰囲気がよい。
- ・ 初めて来たときに、ここの空気がとても居心地がよく思えた。並木道も、時計塔も桜の木もすばらしかった。図書館も好き。こじんまりした学内が好きだった。
- ・ せまくて移動しやすかった。
- ・ 芸短の自由な雰囲気がよかった。
- ・ ゆるくて、おもしろくて、フランクな学校。
- ・ 美術が学べるとても良い環境だった。
- ・ 最も大事な場所で、生活しても良いとしているところ。



## ○その他

- ・ すべて
- ・ 総務に入れたこと。
- ・ 芸術への熱い情熱を忘れずにいようと確信した。
- ・ 満足している。

## ■ 音楽科及び専攻科音楽専攻：59名中35名記述

## ○先生・友人・環境に関すること

- ・ たくさんの友達に出会えたこと。学生数が少ないので、先生達も親身になってくれたこと。
- ・ 素晴らしい先生方に出会えたことや、オーケストラとオペラを共演出来たこと。
- ・ 尊敬する先生と出会えたこと。専門分野を深く勉強できたこと。
- ・ 先生方、友達との出会いに感謝しています。
- ・ 新しい知識や技術を得られたこと。専門の先生との出会い。
- ・ 素晴らしい先生、仲間に出会えてよかったです。音の泉で弾けて、とても良い環境にあり、とても良い経験をさせていただきました。
- ・ 良い先生がたくさんいること。人数が少ない分指導が行き届いていると思う。
- ・ 先生方に熱心に教えていただいたこと。
- ・ 先生方と学生の距離が近くて学びやすい。
- ・ 友達が大好きになれた。
- ・ 良い友達に出会えた。
- ・ 環境と人。
- ・ 他の学生たちの意欲にとっても刺激されました。
- ・ 共に音楽を志す友人に会えたこと。そして、自分の専攻してきたピアノについて学ぶことができたことです。
- ・ たくさんの演奏の機会をあたえていただいたことで、そのたびに少しずつ自分の音楽に対する気持と技術が成長していったことが実感できたことです。
- ・ 勉強できる環境があり、素晴らしい仲間に出会えた。

## ○教育に関すること

- ・ ピアノがよく練習できました。
- ・ 音楽をしっかり学べて本当によかった！
- ・ ほどよく都会で、ほどよく田舎で暮らしやすく、勉強しやすい環境で学ぶことが出来てよかった。実技ばかりの授業で充実した学生生活を送ることができました。
- ・ 今まで自分が知ることのなかった世界が一気に開き、音楽の多様性や自分の技術力を高める事ができた。
- ・ 毎日楽しく学ぶ事ができた。

## ○その他

- ・ アットホームなところ。
- ・ 充実した生活が送れた。
- ・ 学費が安い。
- ・ 自宅から通えたこと。
- ・ 音楽科最高でした。
- ・ たのしかった。

## ■国際文化学科：109名中85名記述

## ○友達に関すること

- ・ たくさんの素晴らしい友人、優しく親切な先生方に出会えたこと。
- ・ 芸術系の友達が出来たこと。
- ・ 他学科の友人との交流がとても身近であったため、刺激を受け、自分と違う感性に出会えたこと。

## ○講義や教育に関すること

- ・ フランス語を学ぶことが出来たこと。
- ・ ネイティブの先生方と触れ合えたこと。
- ・ 授業の内容がおもしろかったこと。
- ・ 様々な語学を学べる環境にあること。
- ・ 他大学に比べて学部や人数が少ないため、友人、先生との関わりが深く持てたこと。それは授業にも反映されており、楽しいトピックスで進められ、教科書に書かれていることだけでなく、たくさんのことを考え、学ぶことが出来た。
- ・ 外国の知識を身につけることが出来たこと。
- ・ 短期留学が出来たこと。
- ・ 様々な国々の歴史や文化を学べたこと。異文化、自文化について学ぶことが出来た。
- ・ 授業を通して、文化人類学に興味を持つことが出来たこと。
- ・ ネイティブの先生のゼミに所属し、生きた英語に触れることが出来たこと。
- ・ 高卒では学べない英語を学べたこと。
- ・ ゼミが楽しかったこと。
- ・ 自分自身で、科目を選択できたこと。
- ・ 学問への視野が広がったこと。
- ・ 世界の広さと狭さを学べたこと。
- ・ 文化人類学という学問に出会い、新たな価値観を与えてもらったこと。社会に出る前に学べて本当に良かった。自分がいつも正しいわけではないということを教えてもらった。
- ・ 先入観にとらわれない考え方が出来るようになったこと。
- ・ 芸術系の分野も学べ、幅広い視野を持つことが出来たこと。

## ○先生に関すること

- ・ 先生と学生の距離が密接で、先生が身近に感じられたこと。
- ・ 先生方がとても親身になって、向き合ってくれたこと。
- ・ 先生方が高レベルで、授業内容が濃く、面白かったこと。

## ○就職や将来のこと

- ・ 編入学の勉強が出来たこと。先生方が、編入学のために親身になってくれたこと。
- ・ 自分について考えることが出来たこと。
- ・ 就職が出来たこと。
- ・ 進路指導の先生が非常に親切で、丁寧に応対してくれたこと。
- ・ 良い就職先に就職出来たこと。
- ・ 自分の目標を見つけ、成長できたと実感出来たこと。

## ○その他

- ・ 自分に合った学生生活を送れたこと。
- ・ 周囲の反応が良いこと。
- ・ 休みが長いこと。
- ・ 大変自由で、のびのびとゆとりを持って過ごせたこと。
- ・ 成長できたこと。
- ・ 充実した2年間を送ることが出来た。
- ・ 校舎が綺麗であること。
- ・ 課外活動がとても良かった。
- ・ 責任感が身に付いたこと。
- ・ 総務に入って、色々なイベントを作り上げたこと。それを通し、友達の輪が広がった。

## ■情報コミュニケーション学科：99名中70名記述

## ○友達に関する記述

- ・ 友人がたくさんできました。24人
- ・ 友だち・先生方と出会えた、たくさんのことを学ばせてもらい、たくさん思い出を残せたこと。4人
- ・ 友人、先生方に出会えたことが一番です。
- ・ さまざまな人々と出会えたこと。
- ・ 友達と遊ぶのが楽しかった。
- ・ 素晴らしい先生方に出会えたことです。心から感謝です。
- ・ 知り合いが増えたこと。
- ・ 沢山の出会いがありました。
- ・ 県外・県内と多くの友だちができたこと。
- ・ 他学科の人と交流ができた。
- ・ ほとんどが女子ということもあって、話もしやすく、なんだか華やかで楽しかったし、友人もたくさんできたことが思い出に残っています。
- ・ 何よりも、友だちができたことが一番幸せです。2年間だったのにとっても深く付き合えました。
- ・ さまざまな地方の友人ができ、みんな良い方たちばかりだった。
- ・ 人間関係の幅が広がったこと。
- ・ 分野が広がったので、考え方の違う友達が多くでき、自分自身を高めることができたと思う。

## ○自由に関する記述

- ・ 自分の可能性が広がったし、新しい自分の発見もできたと思う。
- ・ すごく自由で、自分の時間をもてたこと。
- ・ 自由な雰囲気な環境で楽しく、学ぶことができた。

## ○授業料に関する記述

- ・ 授業料が安い。3人

## ○パソコンに関する記述

- ・ パソコンの能力が身についた。16人
- ・ パソコンを使えるようになり資格も取れたこと。5人

## ○秘書に関する記述

- ・ 秘書など実用的なことが勉強できた。3人
- ・ 秘書の資格が取れたこと。
- ・ 秘書士・情報処理士が取れたこと。
- ・ 在学中に身に付けた技術や、コミュニケーションの技能を、仕事で十分に発揮できたらよいと考えています。

## ○講義に関する記述

- ・ 情報、心理、メディア、社会といろいろなことを学べたこと。6人
- ・ 新しい世界を知ることができました。5人
- ・ 秘書実務や写真表現など演習がよかった。2人
- ・ 講義が興味深く、自分のためになるものばかりだった。3人
- ・ 学業的にもとても充実していたと思う。
- ・ 他の学科の講義を受講できたこと。
- ・ 吉良先生の講義
- ・ 地域社会特講で学校外の人のお話が聴けたこと。
- ・ 授業がおもしろかったです。
- ・ とても楽しい学生生活がおくれてよかったです。
- ・ 環境の整った施設で学ぶことができたので、気持ちよく学生生活を送ることができました。
- ・ 高校の時は何故学ぶのか理解できませんでしたが、芸短で現代社会について学び、考え、勉強することの必然性を感じるようになりました。芸短の授業は本当にためになる講義ばかりでよかったです。
- ・ 入学前は社会学の分野に期待していなかったが、受講したことで興味がわいて、色々と知りたいと思うことが増えたこと。
- ・ 4つの領域をバランスよく学べたことで、これからの社会に役立ちそうな、そして人としても成長をすることができたことが本当によかったです。
- ・ 技術的なことよりも、社会のことを学んだ気がする。
- ・ 頭を使う機会があったこと。
- ・ 地域の活動への参加によって視野が広がった。2人
- ・ 先生方も大変授業がわかりやすく、よかったです。特に語学は独語と英語を専攻していましたが、特にわかりやすかったです。

## ○先生に関する記述

- ・ 先生方が、とても個性的で優しかったので、話しやすかったです。5人
- ・ 人数が少ないので指導教員との距離が近い。

## ○編入に関する記述

- ・ 大学に編入できたこと。2人

## ○卒研・卒業式に関する記述

- ・ 人前に出て発表することが、あまり好きではなかったため、卒研発表会が少し嫌な部分がありました。しかし、実際に自分がやってみるとすんなりできたというか「やり切った感」がありました。この2年間で「自らすすんで何かをする」という姿勢が身に付いたのではないかと思います。
- ・ 学科の卒業式最高でした。

## ○就職に関する記述

- ・ 無事に就職ができたこと。2人
- ・ 行きたい職種につくことができました。

## ○その他

- ・ 楽しかった。3人
- ・ 自分が一番成長できる時期にここに入れてよかった。2人
- ・ 学食がおいしかった。
- ・ 街に近くて買い物が便利だった。
- ・ 街から近いので一人暮らしがし易い。
- ・ とても学校がきれいで、パソコンなどの環境などが良くて、すごしやすかったです。
- ・ 建物が私好みだったこと(特に美術棟等)
- ・ 総務楽しかった。イベント全部たのしかったです。
- ・ 初めて学校が楽しいと思えました。
- ・ 素晴らしい時間が過ごせたこと。
- ・ 2年間という短い間だったが、充実しておりあっという間だった。

5 本学の教育・事務・施設等で改善してほしいことがありましたら書いてください。

## ■美術科及び専攻科美術専攻：75名中23名記述

## ○事務に関すること

- ・ 事務に関する改善してほしいこと
- ・ 事務の対応が冷たい、何でも聞かないと分からないのです。
- ・ 事務→もっと愛想良く対応して欲しかった。

## ○施設に関すること

- ・ 校舎を新しくして使いやすくして欲しい。
- ・ 工房が寒いです。
- ・ 美術系の校舎等を綺麗にして欲しい。
- ・ デザイン棟のウォータークーラーを修理してほしい。
- ・ ダイヤモンド広場の雑草。
- ・ 街灯を増やしてほしい。夜暗くて怖い。
- ・ 美術棟の施設をどうにかして欲しい。
- ・ 施設拡大。
- ・ 芸術系の施設を充実させて欲しい。
- ・ 映像関係の施設などがまだ制作に専念しづらい所があるのでもっと作業環境が良くなったらいいと思います。
- ・ テニスコートのネットを新しくしてください。

## ○学生会館に関すること

- ・ 学食メニューの増加！！
- ・ 学内を綺麗にして欲しい。
- ・ 学食メニューを増やして欲しい。
- ・ グラタン定食復活してください。
- ・ グラタンいつでるの？
- ・ 売店にお菓子が欲しい。

## ○その他

- ・ 全て
- ・ 学長の講義受けたかった。
- ・ 掲示板を見る事が少ないので、ホームページとか（ケイタイ？）で見られるものを作ったらいいと思う。
- ・ もう少し就職に関して協力してくれたら嬉しかった。求人など。
- ・ もっと自主的ではなく、強制的にしてもいいのではないかと思います。
- ・ 便利が悪い。

## ■音楽科及び専攻科音楽専攻：59名中29名記述

## ○施設に関すること

- ・ 早朝や夜のほうが寒いのに、9時からしかエアコンが付かないのが辛かったです。
- ・ 5時に冷暖房がきれて辛かったです。
- ・ 防音設備をきちんとして欲しいです（専攻科室など）。
- ・ 専攻科室に新しいエアコンを。
- ・ 練習室を増やす。全室冷暖房完備。ホール設置。
- ・ 音楽棟がぼろい。
- ・ 練習室・打楽器室の空調を整備してください。小ホールの通路の幅を広くして欲しい。
- ・ 土・日・祝の練習室の冷暖房使用ができるようにして欲しい。
- ・ クーラーをつけるまえに練習室を増やして欲しい。
- ・ きちんとした音楽ホールが欲しい（音響・搬入・客席）
- ・ 練習室のピアノ
- ・ レッスン室を増やして欲しい。
- ・ 施設が悪い。学食がまずい。寒い。
- ・ 人数と練習室の部屋数が合わない。少ない。

## ○事務に関すること

- ・ 授業料等の値上げの時は、事前にしっかり連絡してほしい。
- ・ 学割発行の機械化（すぐ出来るようにして欲しい）

## ○その他

- ・ 芸短OB専用の演奏会をしてほしい。
- ・ 学食の品を増やして欲しい。
- ・ 防犯の強化。
- ・ 突然車で登校を厳しくするには腹が立ちました。やるならもっと早くからやって欲しいです。
- ・ 毎日音楽科は一生懸命学校に来て練習していたけど、就職につながる学生は2割くらいしかいなく、将来の不安が大きい。音楽科用の進路相談の先生がいて欲しかった。

## ■国際文化学科：109名中26名記述

## ○教育に関すること

- ・ 受講したい講義の時間が重なり、受けられない講義があったので、もっとランダムに入れてほしい。
- ・ 「自分のためになるのだろうか」と疑問視する授業があったこと。
- ・ 時間割。授業と空き時間のバランスがあまり良くない。
- ・ 卒業論文の提出日をきっちりと決めてほしい。(1カ月前くらいから提出出来る程度に。)
- ・ 英語の授業をもっと実践的なものにしてほしい。
- ・ 幅広く学べて良かった面もあるが、興味ある分野に関しては、更に学びたかったと、心残りもある。

## ○事務に関すること

- ・ 卒業論文提出日に対しての事務員の対応の遅さ。大切なことなのに、今回のようでは困る。
- ・ 事務の人が不在していることが多い。手続きが大変。日数もかかる。
- ・ 教育内容をもう少し複雑にしてほしい。生徒の質の低下を避けるため、入学テストを難しくしてほしい。

## ○施設・設備に関すること

- ・ ホワイトボード用のペンを一番太いものにしてほしい。
- ・ 駐車場が欲しい。
- ・ 視聴覚室のイスが座りにくい。
- ・ 室内で喫煙できないこと。
- ・ パソコン室の利用可能時間を、もっと長くしてほしい。
- ・ パソコン室について。夏は冷房が、冬は暖房が効き過ぎている。
- ・ もっと光を取り入れ、明るくしてほしい。

## ○その他

- ・ 学食が遅い。学食が遠い。
- ・ 人文棟で販売している昼食をもっと増やして欲しい。(売り切れで、買えない時があった)
- ・ 先生の居場所が分からず、困った。
- ・ 卒業式当日まで、卒業出来るかどうか分からず不安だったので、できれば書類がほしい。
- ・ 学校行事の連絡が回ってこない。
- ・ あまり将来には役立たない。

## ■情報コミュニケーション学科：99名中30名記述

## ○教育に関する改善して欲しいこと

- ・ メディア系・パソコン系の授業をもっと内容を深くして欲しいです。
- ・ 授業内容をもっと濃くして欲しい。
- ・ もっと聞こえやすく、わかりやすく説明して欲しい。
- ・ もう少し優しく聞いて欲しい。
- ・ 先生が意外と冷たい。
- ・ 授業の中で芸術科の人たちと関わりが欲しかった。
- ・ 芸術科と人文系、他学科とのコミュニケーションができる講義をやって欲しい
- ・ 簿記の授業をもっと充実させたものにして欲しかったです。

## ○事務に関する改善して欲しいこと

- ・ 厳しい取締りをするくらいなら、事務員は自分の仕事をきちんとする方がいいと思う。外部の人からの印象が悪くなる。
- ・ 何かの掲示がある時には、人文系の方にもしておいて欲しいと思うことが何度かあったのでぜひそうしていただきたいと思います。
- ・ 教務課の対応を良くして欲しい。3人

## ○施設に関する改善して欲しいこと

- ・ 学食の充実 4人
- ・ コンビニ的な施設があればよかった。(コンビニは少し遠いし、学食は時間が限られていたから。)施設はよい。
- ・ 体育館の正面に時計を設置して欲しい。
- ・ F l a s hソフトを第2教室のPCにも入れて欲しかった。 2階のPCの速度が遅い。遅すぎる。
- ・ 学校にもっと駐車場を作って欲しい。
- ・ 図書館をもう少し充実して欲しい。
- ・ トイレをきれいに。空調を整備して欲しい。
- ・ 無理かもしれないが、駐車場が広いと助かります。
- ・ ATMを設置して欲しい。
- ・ 授業で17:00を過ぎたら冬は寒くなり、夏は暑くなる。
- ・ 学校のパソコンが使える時間をもっと延長して欲しい。

## ○その他に関する改善して欲しいこと

- ・ 卒業式の際に、卒業の案内や、式のある前に卒業を証明できるものがあればと思います。
- ・ 卒業アルバムが高すぎると思います。学科ごとに作ってはどうか？
- ・ 人文系にも専攻科を
- ・ 売店のパンやご飯などをもっとたくさん売って欲しいです。講義後に買いに行ったら既に売り切れということもあったから。
- ・ 購買部の拡大 3人
- ・ 生協を作って欲しい。



## 資料 3-3-① 「教員の研究内容と授業の相関に関する一覧表」

## 美術科

研究者名	代表的な研究活動	授業科目名	研究活動の成果の授業内容への反映例
利光 功	芸術文化の歴史的・理論的研究	「芸術文化Ⅰ」・「芸術文化Ⅱ」	芸術文化が人格形成にどのような意義をもつか、実際に鑑賞の機会を設けて理解させるようにしている。
谷口晶之	絵画(油彩・版画)の構図・素材・技法の研究	「絵画Ⅰ・Ⅱ」・「表現基礎(絵画)」・「絵画基礎」・「版画演習Ⅰ・Ⅱ」・「総合表現演習」など	制作を通して絵画の構図・素材・技法について教授している。
吉村正郎	工芸染色、繊維による造形(ファイバーワーク)	「デザイン概論」・「工芸Ⅰ・Ⅱ」・「卒業制作」・「造形研究Ⅰ・Ⅱ」・「修了研究」	染色技法による制作指導および繊維素材研究制作。
中川恵雄	グラフィックデザイン及びイラストレーションの研究とその素材の研究	「デザイン構成」・「デザイン概論」・「デザイン材料演習」など	イラストレーションのプロレベルまでの技術向上と色彩感覚とデザインの基礎知識からプロのデザインまで系統だったの教育をしています。
澤田佳孝	基礎造形(立体造形)について、造形素材についての研究	「デザイン基礎」・「工芸基礎」・「デザイン演習」・「工芸材料演習」・「造形研究Ⅰ・Ⅱ」・「造形素材特論」など	自己の作品の制作において得られた研究成果や、アジア各地で収集した造形素材に関する資料・情報を学生に提供しながら講義・実習等の指導をしている。
根之木英二	コンピュータによるグラフィック作品の表現研究及び制作	「ビジュアルデザインⅠ」・「造形研究Ⅰ・Ⅱ」・「デザイン演習Ⅰ」など	制作のアイデアの発想法及びまとめ方やコンピュータによる表現技術について指導を行っている。
河上 央	日本画の素材・技法の研究	「表現基礎(絵画)」・「絵画Ⅰ」・「表現演習Ⅰ」など	基本技術を修得させるため、制作を通して材料・技法について教授している。
久保木真人	陶磁器オブジェの制作と発表  デザイン・工芸番組の録画とライブラリ化	「工芸Ⅰ・Ⅱ」・「造形研究Ⅰ・Ⅱ」など  「工芸基礎」・「デザイン概論」など	陶磁器焼成における効率化(冷却還元方式の試行) 廃棄物削減のため、粘土のリサイクルと活用を提唱  学生がデザイン・工芸への認識を深めるとともに、分野選択する上での参考に出来るよう、講義・演習の中で上映
中原伸浩	表現の基礎	「表現基礎(絵画)」・「絵画Ⅰ・Ⅱ」・「造形研究」など	主として絵画表現が、その動因から素材を通してどのように作品に至るかを、技術とメンタルの両面からアドバイスしている。
原田裕明	彫刻制作の表現と技法についての研究	「彫刻基礎」・「表現基礎(彫刻)」・「彫刻Ⅰ」など	制作を通して基礎的な技法を修得させながら彫刻の表現力を育成する実技指導を行っている。

鈴木慎一	CG シミュレーションを利用したゆらぎ理論の研究	「映像演習Ⅰ」・「映像演習Ⅱ」	研究の成果を含めてCGシミュレーションの動向やアニメーション技術を教授するとともに、基本技術や概念を修得させる為、作品制作をとおして指導を行っている。
荻野 哉	美学・西洋美術史研究	「美学特論」・「西洋美術史特論」・「鑑賞・批評論」など	研究の成果を含めて西洋美術史を教授するとともに、美学の諸問題について、思想的・歴史的な観点からより深く理解し得るよう指導をおこなっている。

## 音楽科

研究者名	代表的な研究活動	授業科目名	研究活動の成果の授業内容への反映例
若松啓子	ピアノ演奏法研究	「器楽(ピアノ)」・「音楽研究(ピアノ)」・「器楽アンサンブル」	楽曲の時代背景や様式を学ばせ、作曲家の意図する事を、個々の学生の人生観に照らし、可能なかぎり、自己体験出来るよう具体的に表現技術を訓練し演奏に導く。
宮本 修	合唱研究	「合唱」	合唱・アンサンブルへの取り組み方の基本的姿勢のあり方。律動・旋律・和音をどのように組み合わせると、バランスのよい演奏が生まれるのか。発声とテンションの関係性、バランス関係を演奏を通して体感してゆく。 演奏スタイル(様式)とは何か等をバロック期の名曲、ヴィヴァルディ作曲「グローリアミサ」を教材として取り上げ、10月8日第43回の定期演奏会で発表した。
磯崎淳子	ピアノ演奏法研究	「器楽(ピアノ)」・「アンサンブル」など	学生の演奏する作曲家の時代背景や様式を学ばせながら実際の演奏会へのアプローチの仕方をピアノ演奏法も含めて実践指導している。
松倉利之	合奏指導に関する研究	「合奏」・「吹奏楽法」など	管・打を中心として各楽器に対する基本的な知識を教授し又簡単な合奏練習曲の実践を通して、指導法についても教授している。
河野敦朗	ソルフェージュ教材研究	「ソルフェージュⅠ・Ⅱ」	研究教材を新しい授業形態として実践することで授業内容へ反映している。
小川伊作	西洋音楽史 音楽理論(対位法理論)	「音楽理論演習」・「対位法」・「西洋音楽史」など	音楽学は当然のことながら音楽に基づく学問であることを確認しながら、音楽理論分野での研究成果と表裏一体、相互補完的になるよう指導している。
釈迦郡誠	ピアノ演奏法(ピアノ連弾)	「アンサンブルA」(専攻科)	バッハの連弾曲の教材として、同一楽曲を独奏曲と複数の編曲者による連弾版を使って、音楽の表現方法の多面性をアンサンブルの指導の中にとり入れてみた。

川瀬麻由美	ヴァイオリン演奏法・オーケストラに関する研究	「器楽(ヴァイオリン)」・「オーケストラ」・「器楽アンサンブル」など	多様なヴァイオリンの演奏技法を個々の学生のレベルに応じた指導を行い、同時に演奏解釈や表現方法を体得させている。またオーケストラや重奏においても、アンサンブルの基礎から実践指導している。
石山 聡	ピアノ演奏研究	「器楽(ピアノ) I・II・III・IV」・「器楽アンサンブル A・C」・「ピアノ音楽史」・「ピアノ副 I・II」	ピアノ演奏にともなう、様々な問題点を整理し説明を行なっている。例えば、表現法、練習法、楽曲分析、美意識等である。作曲家の時代様式にそった演奏法の指導もまた行なっている。それはピアノ音楽の歴史を、楽器や演奏場所の視点から観るということである。ピアノ独奏、ピアノ・アンサンブル演奏の打鍵、表現の差異等、独奏と合奏の演奏法の違いの指導も行なっている。
遠藤信一	エクリテュール研究 ーロマン派～フランス近代音楽実作品の楽曲分析ー	「音楽理論」  「和声楽 I」・「和声楽 II」  「和声アナリーゼ」・「和声アナリーゼ演習」  「作曲法」  「音理演習 IV」  「音楽研究 I」・「音楽研究 II」  「音楽理論特論 A」	外国語の学習と同じように音楽を理解させるための基礎科目と位置づける。エクリテュールを理解するための知識を目的とする教科書を作成した。一般に行われている連結と規則を中心に学ぶ和声教育ではなく、実作品を分析しながら音楽を理解するための基礎知識を得ることを目的とする。授業では、課題実施は当然のことながら、実作品の使用例を取り上げ、低音の重要性、各機能の表情を解き明かす。 一般に行われている楽曲のごく一部の分析や、和音記号や機能、音型のみでの分析ではなく、それらが聴き手にどの様に訴えているのかを、曲全体を細部から全体構造まで文章の読解と同じように分析する。 音楽理論、和声学、和声アナリーゼ等で学んだ「ゆれ」や「翳り」を使い、実際に作品を書く-語学でいう作文-ことを通して音楽を理解させる。  エクリテュール、アナリーゼ等で学んだことを総合し、卒業研究に活かす。 安定と不安定、各和音機能、各定型、楽曲構成を和声課題作成を通して和音を理解することを目的とする。諸規則や基本的連結法だけでなく、応用の連結法を使わせる課題、各和音機能の音楽的効果を狙った課題など、実作品を理解することに直結した課題を作成する。 楽曲分析を通して音楽理論を学ぶことを目的とする。楽曲全体を細部から全体構造まで掘り下げて分析できるようにするために、毎時限一曲ずつ取り上げ課題とする。分析課題曲は受講生の希望に添うようにし、各受講生に発表させる。さらに、実際に演奏させ、分析したことを耳で確認させる。 「和声学特別研究」「和声学 I・II」や「和声アナリーゼ」、「作曲法」等、科目名は違うが、全ての科目に通ずる音楽の基本的原理は「ゆれ」と「翳り」である。本科目で学習する転調、転旋、借用等も和音や調の「ゆれ」や「翳り」として捉えられる。したがって、本科目も連結法や諸規則の学習だけでなく、実際の作品の理解(アナリーゼ)に結びつく様、実作品の例を取り上げながら、学習項目の効果や表情を理解させる。

愛甲久美	発声法の研究  日・独・伊・仏語歌曲の演奏法研究  オペラ・オラトリオ等の演奏法研究	「声楽Ⅰ・Ⅱ」  「歌曲唱法」  「オペラ唱法」・「重唱」  「声楽特殊研究」	顔・体等の筋肉の使い方等多角的な視点に立った発声法の指導を行っている。  正しいディクシオンの上に立った明確な発音を基本に、音楽と言葉の関係を考察し、又、作詞・作曲された時代背景等をふまえ理解した上での演奏を目指すべく指導している。  作品全体を理解した上で、自分の歌う役の内面をどのように音に具現化していくかという方法論を指導している。又、「重唱」では、具体的な舞台上での動き方、指揮者、観客との関係をどうとっていくかについて、実際の経験に基づいて指導している。  宗教的な背景も学びつつ宗教曲・オラトリアの指導をしている。
行天正恭	コンサートでの独唱及びオペラ出演	「声楽Ⅰ・Ⅱ」、「歌曲唱法」、「オペラ唱法」、「重唱」、「声楽特殊研究」、「声楽副Ⅰ・Ⅱ」、「音楽研究Ⅰ・Ⅱ」	コンサートやオペラ出演によってうまれる舞台上での相手役との台詞の掛け合い、アンサンブルの仕方、また、歌曲とオペラの表現法の異なりなどを、自分が実際舞台で感じたことを通して学生に指導する。

## 国際文化学科

研究者名	代表的な研究活動	授業科目名	研究活動の成果の授業内容への反映例
後藤一美	英文学	「英語Ⅰ」・「英詩研究」・「英文学講読」・「卒業研究」など	私の研究が直接的に授業に役立っているのは英詩研究です。が、文学研究は幅が広く、歴史、思想、社会などさまざまな分野をてがけます。それらの知識は私が担当しているあらゆる授業に役立っています。
吉良国光	日本中世史研究	「日本の歴史」・「大分の歴史と文化」	研究成果をふまえて、授業を行い、現在と中世という時代の対話できるような授業を心懸けている。
染矢正一	英語の運用能力と英語圏の文化に関する研究	「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」・「英語学」・「英語研究」など	家庭学習をさせ、演習を行い、質問を促して、学生の力を確かめながら授業を展開している。
上野正二	ドストエフスキーにおけるニヒリズムの研究	「哲学」・「西洋古典講読」・「西洋の思想」	「人生の目的」を考えるための、十分に煉られた貴重な思索例を提示するのに有効である。
入野賀和子	イギリス小説(18～19世紀)研究	「英文学論」・「英文学研究」・「イギリスの文化と社会」など	イギリス小説の特質や作品解釈を教授するとともに、各作品の時代的・社会的背景にも触れながら、英文学への理解を深めるように指導している。

鄧 紅	中国文化の研究	「中国語」・「中国の文化と社会」・「中国文化研究卒業ゼミ」など	1、2006年度大分県中津市立小幡記念図書館の依頼を受けて、著名な中国哲学者福永光司の蔵書を整理したが、その際、蔵書から福永光司自筆の「自叙伝」が見つかった。2007年度、二人の学生は卒業研究でその「自叙伝」の解説に取り組んでいます。 2、2007年夏、「中国文化研究卒業ゼミ」の学生全員計10名と一緒に中国へ研修旅行しに行き、敦煌、北京の世界文化遺産を見学した。
大橋絵理	19世紀フランス文学研究	「フランス文学研究」・「フランスの文化と社会」・「フランス語」など	専門の文学研究のみならず、中世から現代に至るまでの社会や文化の変遷を、学生の興味にあわせて女性問題やモード等身近な話題から理解できるように指導している。
高瀬圭子	ヨーロッパ中世・近世史研究	「中世ヨーロッパ世界の歴史」・「西洋史研究」・「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」など	研究の成果を含めてヨーロッパ史を教授するとともに、ドイツ語圏の言語や文化について、歴史的背景に照らしつつより深く理解しうるよう指導を行っている。
Gregory Goodmacher	Creating Effective Educational Materials for Content Instruction and Second Language Acquisition	「日米文化比較」・「アメリカ文化と社会」・「アメリカ文学研究」・「英語ゼミ」・「卒業研究」	I am researching the topics of educational materials creation and second language acquisition. I create materials which I use in almost all of my classes. The next step in my research process is to observe how students interact with the materials in order to determine if the materials are effective or not. After considering the positive points and the negative points of my teaching materials, I revise them. This is a continuous cycle that leads to better comprehension of class content.
疇谷憲洋	ポルトガル近現代史、ポルトガル海洋帝国史	「ポルトガル語Ⅰ・Ⅱ」・「ポルトガル語ゼミナール」・「ポルトガルの文化と社会」・「文化交流史」	ポルトガル近現代史・海洋帝国史についての研究は、文化交流史やポルトガル語関連科目において、ことばだけでなく文化や歴史についても立体的に学ばせるというかたちで反映している。
野坂昭雄	日本近代文学の研究	「日本文学各論」・「近代日本文化論」・「現代日本論」など	近代日本(特に昭和期)の小説・詩を研究し、また太平洋戦争期の「文化」の問題を考察しており、その成果を講義内容に反映させている。また講義では、学生に「戦争」をめぐる問題(追悼・原爆・戦後憲法などなど)について考えてもらっている。
城田 愛	文化人類学研究	「文化人類学」・「多文化社会論」・「民俗学」	研究の成果を含めて文化人類学を教授するとともに、主にハワイや沖縄の社会や文化について、歴史的・文化的背景に照らしつつより深く理解しうるよう指導を行っている。
山本聡美	日本・東洋美術史研究	「日本美術史」・「東洋美術史」・「日本美術史特論」・「東洋文化史特論」	美術作品を、造形的側面から見るだけでなく、歴史的側面からの理解も深めるよう指導している。

## 情報コミュニケーション学科

研究者名	代表的な研究活動	授業科目名	研究活動の成果の授業内容への反映例
凍田和美	学校における情報モラル教育に関する研究、大分県内の情報教育に関する研究など	「情報ネットワーク論」・「情報技術論」・「情報機器基礎演習」・「情報処理基礎演習」	情報ネットワーク論、情報技術論には、単元を設けて、最新の情報環境や情報教育、情報モラル教育の現状として、フィードバックしている。また、演習については、研究で得られた高等学校までの教育の状況をふまえた教育内容、テーマを選び、状況に応じた教育ペースを取っている。
吉良伸一	地域社会における過疎化・少子高齢化の統計的分析と調査研究	「少子高齢社会論」・「現代と人権」・「ジェンダー論」・「社会福祉論」・「環境と社会」	少子高齢化や過疎化についての一般的な議論に加え自身の研究から得られた知見を直接に反映させるために少子高齢社会論を開講した。そのほか、関連する領域として、女性・高齢者・障害者論をベースに現代と人権やジェンダー論・社会福祉論、過疎対策と関連して環境と社会などの科目を開講している。
佐藤淳介	教育の思想・歴史に関する研究	「教育学」・「教育の基礎理論」・「教職概論」など	教育の現代的諸問題に対して、思想的・歴史的観点からより深い理解をさせている。
下川正晴	日韓メディア研究	「マス・コミュニケーション論」・「ジャーナリズム論」・「韓国の文化と社会」・「日韓文化比較」など	日韓メディア比較を通じて、国民の社会認識に与えるメディアの要因を構造的に分析し、適切なメディアリテラシーを身につけさせるようにしている。
吉山尚裕	リーダーシップ及び集団意思決定に関する社会心理学的研究	「社会心理学」・「グループワーク論」・「産業・組織心理学」など	「社会心理学」や「産業・組織心理学」の講義では、これまで行った研究レビューや調査・実験結果を授業内容に取り入れている。「グループワーク論」では、リーダーシップ訓練の研究成果を授業プログラムに反映させている。
坂口桂子	家族経営の研究	「労働社会論」・「現代企業論」など	日本の中小企業（とくに小規模経営）の多くが、家族的な経営をおこなっていることを紹介し、成果主義が導入されている現代日本社会での、家族経営の存続とその意義について考えている。
洲 雅明	競技スポーツのゲーム分析	「スポーツの分析と評価」・「スポーツと生活」	スポーツや運動の各種測定を通して、データ分析や評価を行う授業を行っている。
藤田 文	幼児・児童期の社会性の発達、子ども同士・子どもと大人のコミュニケーションの心理学的研究	「発達心理学」・「教育心理学」・「心理学研究法」など	幼児・児童期の心理的発達に関して、また子どもとのコミュニケーションのあり方に関して実験・観察データを資料として用い、具体的に解説し、方法論も含めた理解を促している。
水上英徳	現代社会の構造や動態とコミュニケーションに関する理論的研究	「現代社会論」・「情報社会論」・「現代生活論」など	様々な社会現象を素材に、現代社会のあり方をより深い視点から捉え返すことを教授・指導している。

吉岡 孝	ネットワークの動向調査	「情報基礎」・「情報処理基礎演習」・「情報処理応用演習」・「問題解決法」・「プログラミング演習」・「情報ネットワーク演習」・「シスアド取得講座」・「情報機器基礎演習」・「自立を考える」・「基礎演習」・「卒業研究」	最新技術の活用と紹介。基礎技術やしぐみの理解の大切さを最新の話題、事件などとの関わりをいれて紹介。
柴田雄企	高齢者への臨床心理学的アプローチに関する研究	「臨床心理学」・「パーソナリティ論」・「家族心理学」など	人間の行動、性格、家族関係、心理的不適応状態への心理援助的アプローチ方法について理解を深めるよう、高齢者への臨床心理学的アプローチに関する内容も含めて授業を展開している。
関口洋美	学びの場に関する心理学的研究	「教育心理学」・「生徒指導論」・「教育相談論」・「教育実習研究」	学校教育だけにとらわれない「学び」について、理解し、志向させることで、偏りの無い視点の形成に活かしている。
狩谷 新	放送用及び各種公開映像作品の製作及び市民を対象としたデスクトップ映像製作の普及及びその利用法の開発  団塊及び団塊ジュニア世代をターゲットとしたメディア戦略の変遷と未来 倫理観醸成に大きな影響を与えていると考えられるサブカルチャーとその人数から我が国の倫理観に大きな影響を与えていると思われる2つの世代の関係の研究	「放送論」・「メディアリテラシー」・「情報化と教育政策」・「教育メディア論」・「映像表現編集」・「映像表現演出」・「プレゼンテーション」・「映像表現 特論」・「卒業研究」・「日本語表現 II」	日々変化し、進化を続ける映像表現との接点を絶やさぬことによって、演習科目においては、実質的なテクニックの伝授を実施することが可能となります。講義科目においても、学生の育った背景に合わせて適宜映像作品を挿入することが可能となり、講義内容の本質を理解させるために役立つ、と自負しております。  同時代性が担当科目の共通したテーマであり、戦後誕生した団塊世代とそのジュニアの消費動向を捉えることを研究することにより、ターゲットを見据えた効果的な表現を導き出すことができ、効果を挙げていると思います。

## 資料7-1-③「平成18年度学生生活アンケートの結果について」

平成19年3月30日

教務学生部

1 調査の概要

- ・対象者は平成18年度の学科在学生と専攻科生。
- ・平成18年12月から平成19年1月にかけて各学科で配布・回収。自記式。
- ・データの入力は各学科の副手に協力してもらった。集計は教務学生部（担当：水上）が行った。
- ・調査票は資料末尾を参照。

2 回収率・回収数

学科等	学年	在学生数	回収数	回収率
美術科	1年生	78	62	79.5%
	2年生	85	54	63.5%
	計	163	116	71.2%
音楽科	1年生	80	44	55.0%
	2年生	71	32	45.1%
	計	151	76	50.3%
国際文化学科	1年生	102	58	56.9%
	2年生	124	102	82.3%
	計	226	160	70.8%
情報コミュニケーション学科	1年生	109	90	82.3%
	2年生	121	66	54.5%
	計	230	156	67.8%
学科計	1年生	369	254	68.8%
	2年生	401	254	63.3%
	計	770	508	66.0%
専攻科美術専攻		20	8	40.0%
専攻科音楽専攻		16	8	50.0%
専攻科計		36	16	44.4%
総計		806	524	65.0%

※学科・学年が不明な学生が3名。

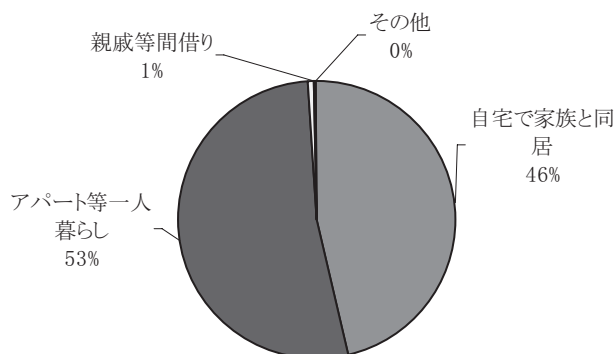


## 3 調査結果 (全学)

問1 あなたの現在の住まいはどれですか。

- 1 自宅で家族と同居                      2 アパート・下宿・マンションで一人暮らし  
3 親戚や知人の家の間借り            4 その他 ( )

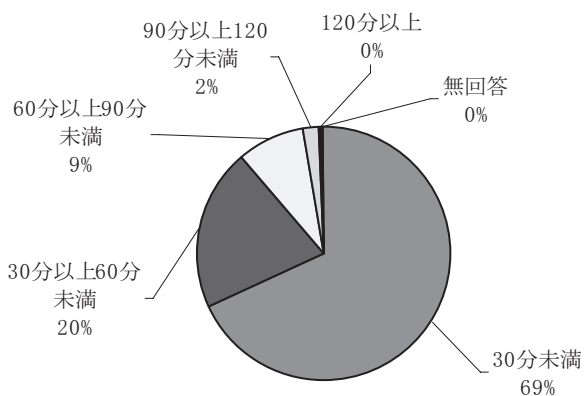
住まい	人数計
自宅で家族と同居	244
アパート等一人暮らし	278
親戚等間借り	4
その他	1
総計	527



問2 あなたの通学(片道)の所要時間はどのくらいですか。

- 1 30分未満                                  2 30分以上60分未満                      3 60分以上90分未満  
4 90分以上120分未満                  5 120分以上

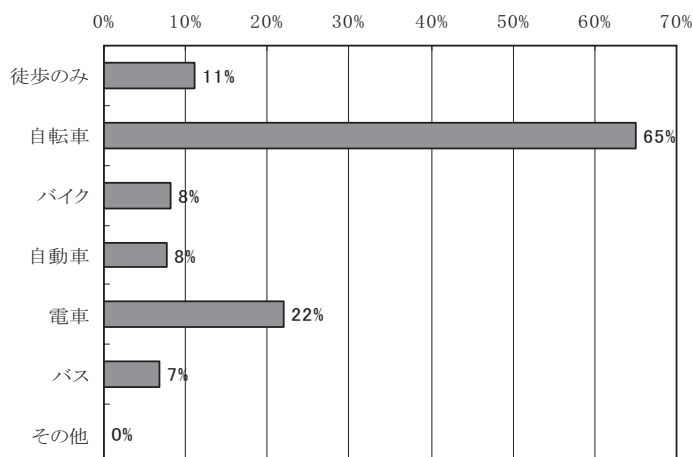
通学時間(片道)	人数計
30分未満	359
30分以上60分未満	108
60分以上90分未満	47
90分以上120分未満	10
120分以上	2
無回答	1
総計	527



問3 あなたの通学方法はどれですか。乗り継ぎの場合は主なものを2つまで選んでください。

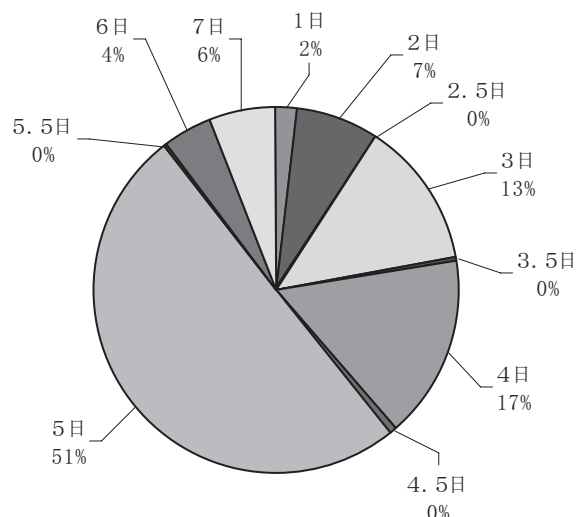
- 1 徒歩のみ                                  2 自転車                                      3 バイク  
4 自動車                                      5 電車    6 バス  
7 その他 ( )

通学方法	人数計
徒歩のみ	58
自転車	341
バイク	43
自動車	40
電車	115
バス	36
その他	0



問4 現在、あなたが大学に登校するのは1週間に平均何日ですか。  
( ) 日

1週間の登校日数	人数計
1日	10
2日	38
2.5日	1
3日	68
3.5日	2
4日	85
4.5日	2
5日	266
5.5日	1
6日	23
7日	31
総計	527

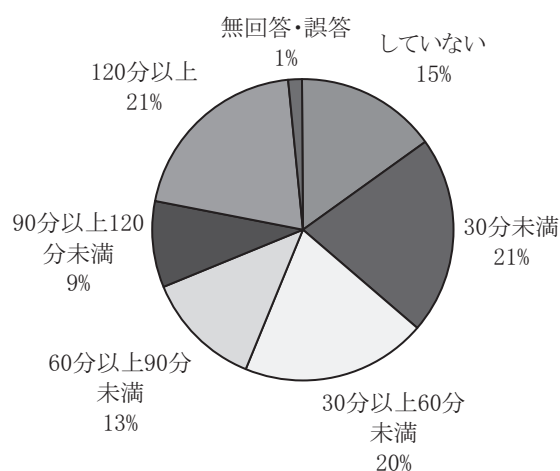


全体の平均 = 4.4日

問5 授業時間以外での学習時間は1日平均どれくらいですか（音楽科の人は個人での練習、美術科の人は授業時間以外での制作活動も含めてください）。この1ヶ月くらいで、授業がある時期の状況について教えてください。

- 1 していない                      2 30分未満                      3 30分以上 60分未満  
4 60分以上 90分未満            5 90分以上 120分未満            6 120分以上

時間外学習時間	人数計
していない	80
30分未満	112
30分以上 60分未満	104
60分以上 90分未満	66
90分以上 120分未満	49
120分以上	109
無回答・誤答	7
総計	527



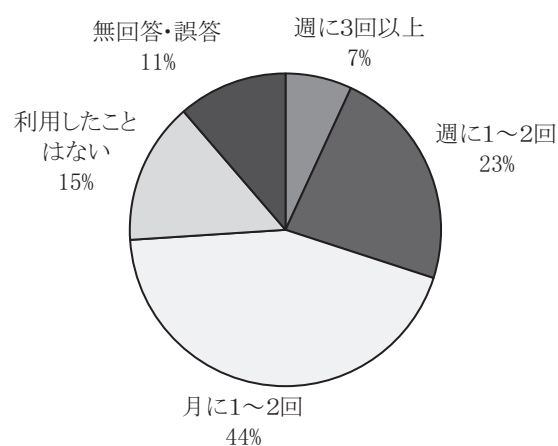
問6 あなたは、下記の学内施設を、授業時間以外で、授業の合間、昼休み、放課後などにどの程度利用していますか。この1ヶ月くらいで、授業がある時期の利用状況について、各施設の右の( )欄に、次の当てはまる番号1～4を記入してください。

1 週に3回以上    2 週に1～2回    3 月に1～3回    4 利用したことはない

附属図書館 ( )    体育館 ( )  
 グラウンド ( )    人文棟1階進路支援室 ( )  
 人文棟2階自習室 ( )    人文棟3階情報処理演習室 ( )  
 学生会館(学生食堂) ( )

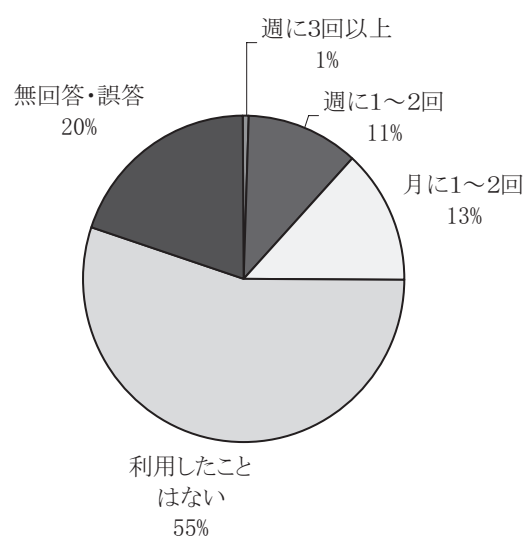
(1) 図書館

図書館利用状況	人数計
週に3回以上	36
週に1～2回	122
月に1～2回	231
利用したことはない	78
無回答・誤答	60
総計	527



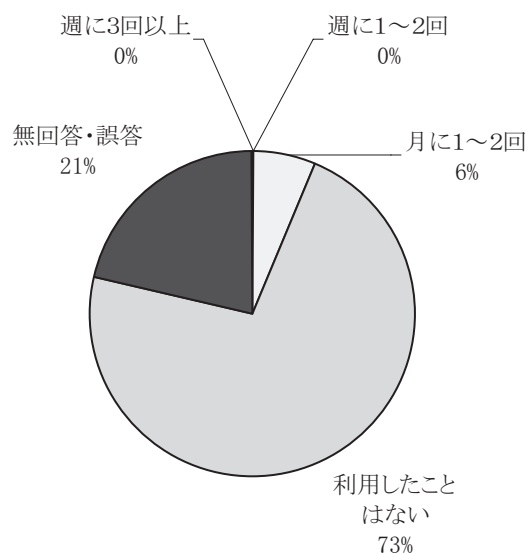
(2) 体育館

体育館利用状況	人数計
週に3回以上	3
週に1～2回	60
月に1～2回	70
利用したことはない	288
無回答・誤答	106
総計	527



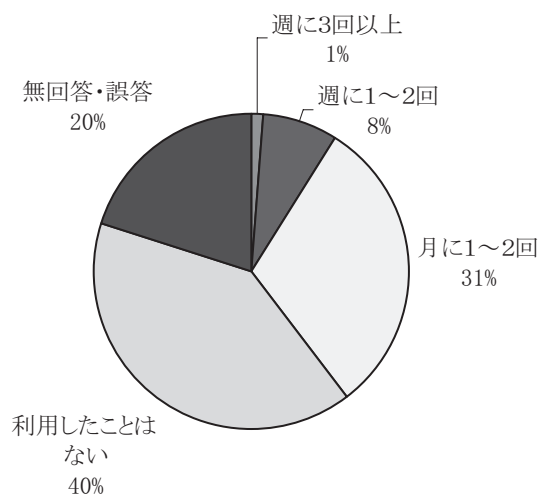
## (3) グラウンド

グラウンド利用状況	人数計
週に3回以上	0
週に1～2回	2
月に1～2回	31
利用したことはない	381
無回答・誤答	113
総計	527



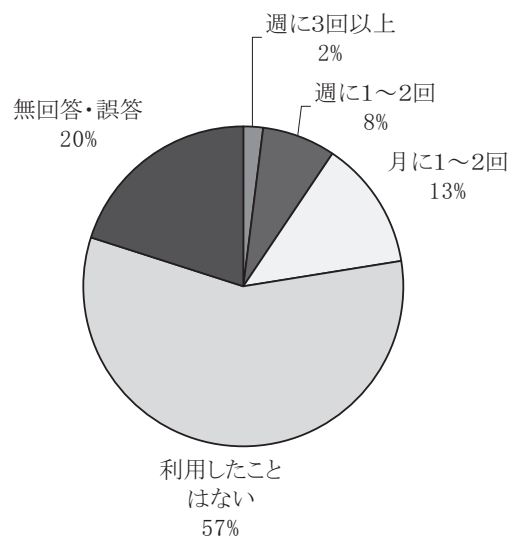
## (4) 人文棟1階進路支援室

進路支援室利用状況	人数計
週に3回以上	6
週に1～2回	41
月に1～2回	163
利用したことはない	211
無回答・誤答	106
総計	527



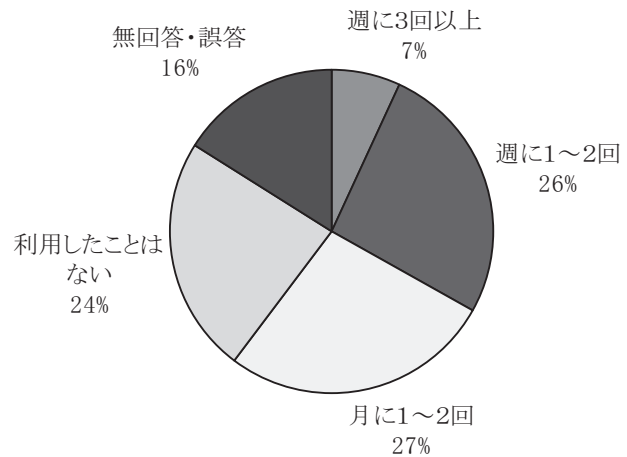
## (5) 人文棟2階自習室

人文棟自習室	人数計
週に3回以上	10
週に1～2回	40
月に1～2回	69
利用したことはない	303
無回答・誤答	105
総計	527



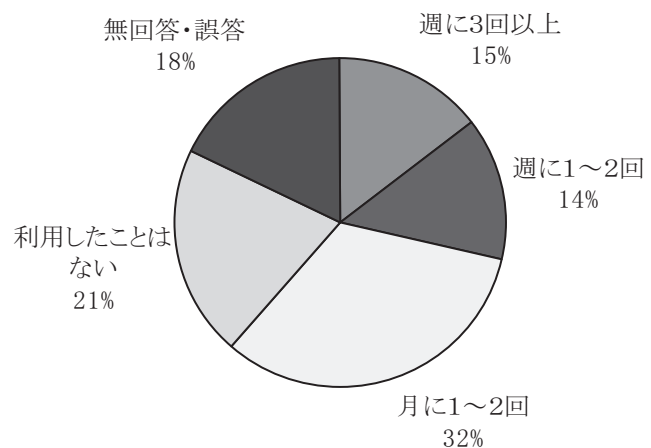
## (6) 人文棟3階情報処理演習室

人文棟情報処理演習室	人数計
週に3回以上	36
週に1～2回	138
月に1～2回	144
利用したことはない	124
無回答・誤答	85
総計	527



## (7) 学生会館(学生食堂)

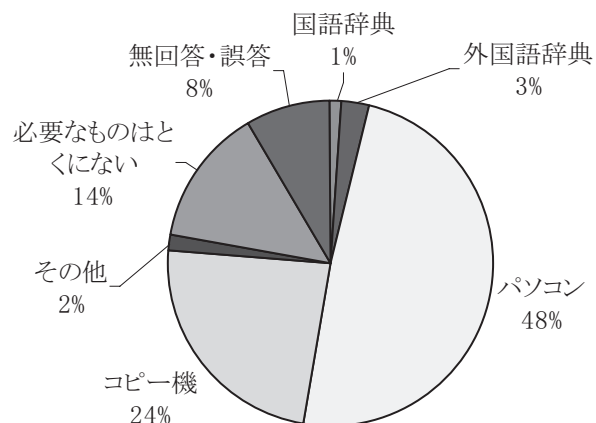
学生会館(学生食堂)	人数計
週に3回以上	78
週に1～2回	73
月に1～2回	172
利用したことはない	110
無回答・誤答	94
総計	527



問7 本学では今年度から人文棟2階に自習室を設けています。自習室の備品としてあなたがもっとも必要と思うものを下記から1つだけ選んでください。

- 1 国語辞典      2 外国語辞典      3 パソコン      4 コピー機  
 5 その他 (                      )  
 6 必要なものはとくにない

自習室の備品	人数計
国語辞典	6
外国語辞典	14
パソコン	256
コピー機	125
その他	9
必要なものはとくにない	73
無回答・誤答	44
総計	527



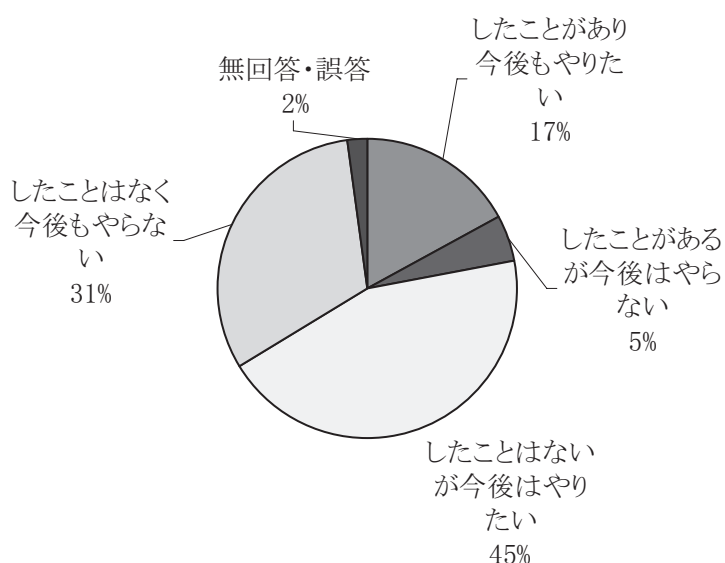


つ入ればいいかわからなかった。 ・引退した ・学友会だったので下の学年に引き継いだ ・めんどくさい ・何があるか知らない ・バイトしているから ・実績がないから ・帰りが夜になるから ・おもしろくなかった ・他にしてるから ・サークルがいつの間になくなった。 ・興味がない ・アルバイトに専念する為 ・通学に時間がかかるため ・何のクラブやサークルがあるか知らないの

問 10 あなたは、本学に入学してからボランティア活動をしたことがありますか。

- 1 したことがあります、今後もやりたい      2 したことがあるが、今後はしない  
3 したことはないが、今後はやりたい      4 したことはなく、今後はやらない

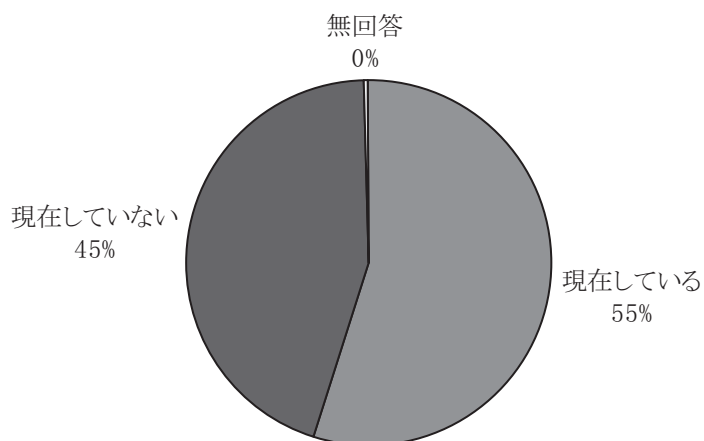
ボランティア活動	人数計
したことがあります今後やりたい	90
したことがあるが今後はやらない	26
したことはないが今後はやりたい	234
したことはなく今後はやらない	166
無回答・誤答	11
総計	527



問 11 あなたは現在、アルバイトをしていますか。

- 1 している      2 していない

アルバイト	人数計
現在している	288
現在していない	237
無回答	2
総計	527

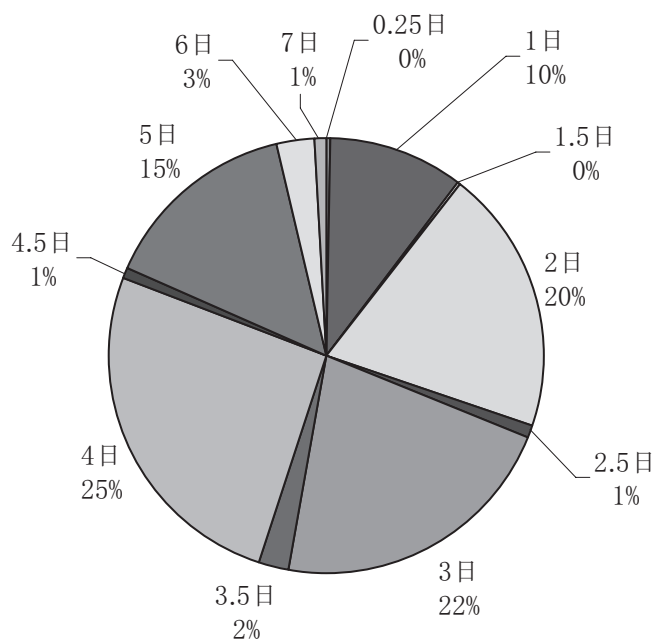


問 12 アルバイトをしている人にお尋ねします。アルバイトは週に平均何日くらいありますか。また、アルバイトは1週間合計して平均何時間くらいですか。

週（ ）日 週（ ）時間

(1) 週（ ）日

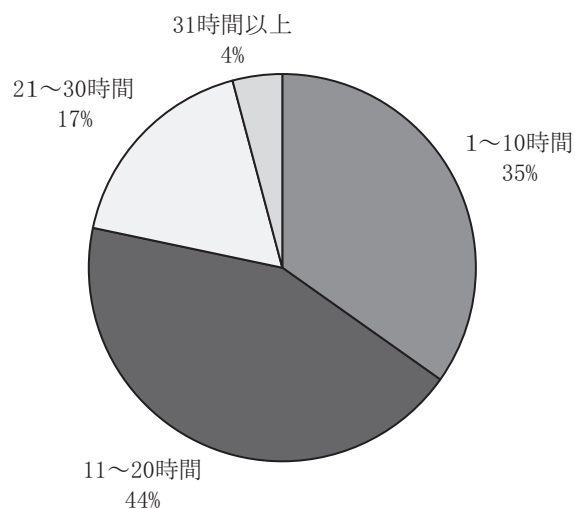
1週間のアルバイト日数	人数計
0.25日	1
1日	28
1.5日	1
2日	56
2.5日	2
3日	61
3.5日	7
4日	73
4.5日	2
5日	42
6日	8
7日	2
総計	283



全体の平均 = 3.3日

(2) 週（ ）時間

1週間のアルバイト時間数	人数計
1～10時間	98
11～20時間	123
21～30時間	49
31時間以上	12
総計	282



全体の平均 = 15.4時間



## 4 調査結果 (学科別・学年別)

- ・幾つかの質問について、学科別・学年別の集計を行った。
- ・専攻科は回収数が少ないので除いている。

問4 現在、あなたが大学に登校するのは1週間に平均何日ですか。  
( ) 日

平均日数

学科	学年	平均日数
	1年	5.1日
美術	2年	4.8日
	全体	5.0日

学科	学年	平均日数
音楽	1年	5.1日
	2年	5.2日
	全体	5.2日

学科	学年	平均日数
	1年	5.1日
国文	2年	3.0日
	全体	3.8日

学科	学年	平均日数
情コミ	1年	5.0日
	2年	3.5日
	全体	4.3日

学科	学年	平均日数
全学	1年	5.0日
	2年	3.8日
	全体	4.4日

問5 授業時間以外での学習時間は1日平均どれくらいですか（音楽科の人は個人での練習、美術科の人は授業時間以外での制作活動も含めてください）。この1ヶ月くらいで、授業がある時期の状況について教えてください。

- 1 していない                      2 30分未満                      3 30分以上60分未満  
4 60分以上90分未満            5 90分以上120分未満            6 120分以上

学科	学年	0	～30	30～60	60～90	90～120	120～
美術	1年	4人(6.5%)	13人 (21.0%)	14人 (22.6%)	12人 (19.4%)	6人 (9.7%)	13人 (21.0%)
	2年	2人 (3.7%)	3人 (5.6%)	4人 (7.4%)	4人 (7.4%)	11人 (20.4%)	30人 (55.6%)
	計	6人 (5.2%)	16人 (13.8%)	18人 (15.5%)	16人 (13.8%)	17人 (14.7%)	43人 (37.1%)
音楽	1年	1人 (2.3%)	3人 (6.8%)	9人 (20.5%)	8人 (18.2%)	1人 (2.3%)	20人 (45.5%)
	2年	1人 (3.1%)	0人 (0%)	0人 (0%)	3人 (9.4%)	3人 (9.4%)	24人 (75.0%)
	計	2人 (2.6%)	3人 (3.9%)	9人 (11.7%)	11人 (14.3%)	4人 (5.3%)	44人 (57.9%)
国文	1年	6人 (10.3%)	21人 (36.2%)	20人 (34.5%)	3人 (5.2%)	5人 (8.6%)	2人 (1.7%)
	2年	19人 (18.6%)	27人 (26.5%)	23人 (22.5%)	13人 (12.7%)	12人 (11.8%)	7人 (6.9%)
	計	25人 (15.8%)	48人 (30.4%)	43人 (27.2%)	16人 (10.1%)	17人 (10.8%)	9人 (5.7%)
情コミ	1年	32人 (35.6%)	34人 (37.8%)	18人 (20.0%)	5人 (5.6%)	1人 (1.1%)	0人 (0%)
	2年	15人 (22.7%)	10人 (15.2%)	14人 (21.2%)	16人 (24.2%)	4人 (6.1%)	5人 (7.6%)
	計	47人 (30.5%)	44人 (28.6%)	32人 (20.8%)	21人 (13.6%)	5人 (3.2%)	5人 (3.2%)
全学	1年	43人 (16.9%)	71人 (28.0%)	61人 (24.0%)	28人 (11.0%)	13人 (5.1%)	35人 (13.8%)
	2年	37人 (14.6%)	40人 (15.7%)	41人 (16.1%)	36人 (14.2%)	30人 (11.8%)	66人 (26.0%)
	計	80人 (16.0%)	111人 (22.2%)	102人 (20.4%)	64人 (12.8%)	43人 (8.6%)	101人 (20.2%)

問 8 あなたは現在、学内のクラブやサークルに参加していますか。

1 参加している      2 以前、参加していたがやめた      3 一度も参加したことはない

学科	学年	参加	以前参加	一度も参加せず
美術	1年	24人 (38.7%)	8人 (12.9%)	29人 (46.8%)
	2年	15人 (27.8%)	4人 (7.4%)	35人 (64.8%)
	計	39人 (35.5%)	12人 (10.9%)	64人 (58.2%)
音楽	1年	5人 (11.4%)	6人 (13.6%)	33人 (75.0%)
	2年	3人 (9.4%)	3人 (9.4%)	26人 (81.3%)
	計	8人 (10.5%)	9人 (11.8%)	59人 (77.6%)
国文	1年	21人 (36.2%)	4人 (6.9%)	33人 (56.9%)
	2年	37人 (36.3%)	20人 (19.6%)	45人 (44.1%)
	計	58人 (36.3%)	24人 (15.0%)	78人 (48.8%)
情コミ	1年	20人 (22.2%)	6人 (6.7%)	64人 (71.1%)
	2年	19人 (28.8%)	9人 (13.6%)	38人 (57.6%)
	計	39人 (25.0%)	15人 (9.6%)	102人 (65.4%)
全学	1年	70人 (27.6%)	24人 (9.4%)	159人 (62.6%)
	2年	74人 (29.1%)	36人 (14.2%)	144人 (56.7%)
	計	144人 (28.3%)	60人 (11.8%)	303人 (59.6%)

問 10 あなたは、本学に入学してからボランティア活動をしたことがありますか。

- 1 したことがあり、今後もやりたい                      2 したことがあるが、今後はしない  
3 したことはないが、今後はやりたい                      4 したことはなく、今後もやらない

学科	学年	1	2	3	4
美術	1年	5人 (8.1%)	0人 (0%)	32人 (51.6%)	25人 (40.3%)
	2年	7人 (13.0%)	2人 (3.7%)	21人 (38.9%)	24人 (44.4%)
	計	12人 (10.3%)	2人 (1.7%)	53人 (45.7%)	49人 (42.2%)
音楽	1年	3人 (6.8%)	0人 (0%)	20人 (45.5%)	20人 (45.5%)
	2年	5人 (15.6%)	0人 (0%)	12人 (37.5%)	13人 (40.6%)
	計	8人 (10.5%)	0人 (0%)	32人 (42.1%)	33人 (43.4%)
国文	1年	5人 (8.6%)	3人 (5.2%)	32人 (55.2%)	17人 (29.3%)
	2年	28人 (27.5%)	9人 (8.8%)	36人 (35.3%)	27人 (26.5%)
	計	33人 (20.6%)	12人 (7.5%)	68人 (42.5%)	44人 (27.5%)
情コミ	1年	14人 (15.6%)	5人 (5.6%)	50人 (55.6%)	20人 (22.2%)
	2年	18人 (27.3%)	6人 (9.1%)	23人 (34.8%)	17人 (25.8%)
	計	32人 (20.5%)	11人 (7.1%)	73人 (46.8%)	37人 (23.7%)
全学	1年	27人 (10.6%)	8人 (3.1%)	134人 (52.8%)	82人 (32.3%)
	2年	58人 (22.8%)	17人 (6.7%)	92人 (36.2%)	81人 (31.9%)
	計	85人 (16.7%)	25人 (4.9%)	226人 (44.5%)	163人 (32.1%)

問 11 あなたは現在、アルバイトをしていますか。

1 している                      2 していない

アルバイトをしている学生の人数

学科	学年	
美術	1年	23人 (37.1%)
	2年	27人 (50.0%)
	全体	50人 (45.5%)

学科	学年	
音楽	1年	23人 (52.3%)
	2年	15人 (46.9%)
	全体	38人 (50.0%)

学科	学年	
国文	1年	36人 (62.1%)
	2年	58人 (56.9%)
	全体	94人 (58.8%)

学科	学年	
情コミ	1年	58人 (64.4%)
	2年	39人 (59.1%)
	全体	97人 (62.2%)

学科	学年	
全学	1年	140人 (55.1%)
	2年	139人 (54.7%)
	全体	279人 (54.9%)

問 12 アルバイトをしている人にお尋ねします。アルバイトは週に平均何日くらいありますか。また、アルバイトは1週間合計して平均何時間くらいですか。

週（                      ）日                      週（                      ）時間

## 平均日数・時間

学科	学年	
美術	1年	3.1日 13.3時間
	2年	3.0日 16.3時間
	全体	3.1日 14.9時間

学科	学年	
音楽	1年	2.8日 13.2時間
	2年	2.6日 10.6時間
	全体	2.7日 12.3時間

学科	学年	
国文	1年	3.2日 14.1時間
	2年	3.4日 18.0時間
	全体	3.3日 16.6時間

学科	学年	
情コミ	1年	3.7日 16.3時間
	2年	3.5日 16.5時間
	全体	3.6日 16.4時間

学科	学年	
全学	1年	3.3日 14.8時間
	2年	3.3日 16.5時間
	全体	3.3日 15.6時間

## 学生生活調査

## 【ご協力をお願い】

この調査は、本学に学ぶ学生諸君がどのような学生生活を送っているのかを知り、それを今後の本学のあり方に役立てていくために行うものです。ぜひ協力してください。

よせられた回答はすべて数値として統計的に処理されますので、誰がなんと答えたかなど一人ひとりの回答が特定されることはありません。また、この調査の目的以外の目的に使用されることは絶対ありません。率直な回答をお願いします。なお、名前や学籍番号を記す必要はありません。無記名となります。

以下の設問について、当てはまる番号に○をつけてください。数字など、具体的な記入を求める設問には回答をそのまま記入してください。

大分県立芸術文化短期大学 教務学生委員会

問1 あなたの現在の住まいはどれですか。

- |   |            |   |                     |
|---|------------|---|---------------------|
| 1 | 自宅で家族と同居   | 2 | アパート・下宿・マンションで一人暮らし |
| 3 | 親戚や知人の家の間借 | 4 | その他 ( )             |

問2 あなたの通学（片道）の所要時間はどのくらいですか。

- |   |              |   |             |   |             |
|---|--------------|---|-------------|---|-------------|
| 1 | 30分未満        | 2 | 30分以上 60分未満 | 3 | 60分以上 90分未満 |
| 4 | 90分以上 120分未満 | 5 | 120分以上      |   |             |

問3 あなたの通学方法はどれですか。乗り継ぎの場合は主なものを2つまで選んでください。

- |   |         |   |     |   |     |
|---|---------|---|-----|---|-----|
| 1 | 徒歩のみ    | 2 | 自転車 | 3 | バイク |
| 4 | 自動車     | 5 | 電車  | 6 | バス  |
| 7 | その他 ( ) |   |     |   |     |

問4 現在、あなたが大学に登校するのは1週間に平均何日ですか。

( ) 日

問5 授業時間以外での学習時間は1日平均どれくらいですか（音楽科の人は個人での練習、美術科の人は授業時間以外での制作活動も含めてください）。この1ヶ月くらいで、授業がある時期の状況について教えてください。

- |   |             |   |              |   |             |
|---|-------------|---|--------------|---|-------------|
| 1 | していない       | 2 | 30分未満        | 3 | 30分以上 60分未満 |
| 4 | 60分以上 90分未満 | 5 | 90分以上 120分未満 | 6 | 120分以上      |

問6 あなたは、下記の学内施設を、授業時間以外で、授業の合間、昼休み、放課後などにどの程度利用していますか。この1ヶ月くらいで、授業がある時期の利用状況について、各施設の右の( )欄に、次の当てはまる番号1～4を記入してください。

- |   |                  |   |                 |   |           |   |           |
|---|------------------|---|-----------------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 週に3回以上           | 2 | 週に1～2回          | 3 | 月に1～3回    | 4 | 利用したことはない |
|   | 附属図書館 ( )        |   | 体育館 ( )         |   | グラウンド ( ) |   |           |
|   | 人文棟1階進路支援室 ( )   |   | 人文棟2階自習室 ( )    |   |           |   |           |
|   | 人文棟3階情報処理演習室 ( ) |   | 学生会館 (学生食堂) ( ) |   |           |   |           |

問7 本学では今年度から人文棟2階に自習室を設けています。自習室の備品としてあなたがもっとも必要と思うものを下記から1つだけ選んでください。

- 1 国語辞典      2 外国語辞典      3 パソコン      4 コピー機  
5 その他 (                      )      6 必要なものはとくにない

問8 あなたは現在、学内のクラブやサークルに参加していますか。

- 1 参加している      2 以前、参加していたがやめた      3 一度も参加したことはない

問9 問8で「以前、参加していたがやめた」「一度も参加したことはない」と答えた人のみお答えください。あなたが現在、クラブやサークルに参加しない理由は何ですか。もっとも当てはまるものを1つだけ選んでください。

- 1 学業の妨げになる      2 時間がない      3 興味あるクラブやサークルがない  
4 人間関係がめんどう      5 束縛をうけたくない      6 なんとなく  
7 その他 (                      )

問10 あなたは、本学に入学してからボランティア活動をしたことがありますか。

- 1 したことがあります、今後もやりたい      2 したことがあるが、今後はしない  
3 したことはないが、今後はやりたい      4 したことはなく、今後もやらない

問11 あなたは現在、アルバイトをしていますか。

- 1 している      2 していない

問12 アルバイトをしている人にお尋ねします。アルバイトは週に平均何日くらいありますか。また、アルバイトは1週間合計して平均何時間くらいですか。

週 (                      ) 日      週 (                      ) 時間

問13 最後にあなた自身のことについてうかがいます。学年と所属学科を教えてください。

学年： 1 1年生      2 2年生      3 専攻科生

学科： 1 美術科      2 音楽科  
3 国際文化学科      4 情報コミュニケーション学科  
5 専攻科美術専攻      6 専攻科音楽専攻

ご協力ありがとうございました。



## 資料 7-2-② 「学友会のサークル活動について」

平成 19 年 5 月 24 日

学友会サークル顧問教員各位

## 学友会のサークル活動について

教務学生部

5月9日に学友会がサークル活動のミーティングを行い、今年度活動のサークルとりまとめを実施しました。まだ、未報告部分もありますが、近日中に各代表者が顧問教員にご挨拶に行きますので、よろしく願いいたします。(既に、日頃から活動でお世話になっている場合は、改めて行くことはありません。)

顧問教員の役割としては、サークル活動の把握や学生からの相談にのっていただくことをお願いいたします。

また、顧問教員名は学生からの報告ですので、もしお引き受けすることが不可能でしたら、ご連絡お願いいたします。

平成 19 年 5 月 23 日現在

	部またはサークル名	顧問教員	代表者
体育系	バスケットボール	洲 雅明	美術科美術 2 年
	フットサル	野坂 昭雄	国際文化 2 年
	バレーボール” SOLE”	吉山 尚裕	情報コミ 2 年
	テニス	原田 裕明	国際文化 2 年
	ダンス” WH dance crew”	吉良 伸一	情報コミ 2 年
	サイクリング	下川 正晴	情報コミ 2 年
	バドミントン	下川 正晴	情報コミ 2 年
	バドミントン	染矢 正一	国際文化 2 年
文化系	和太鼓	河上 央	音楽科声楽 2 年
	軽音楽	中原 伸浩	美術科美術 2 年
	映画研究会	鈴木 慎一	美術科美術 2 年
	写真	中原 伸浩	美術科デザイン 2 年
	園芸	吉岡 孝	国際文化 2 年
	イラスト	根之木 英二	美術科デザイン 2 年
	べっぴん	柴田 雄企	国際文化 2 年
	フランス	大橋 絵里	国際文化 2 年
	オペラ” Opera Piena di Vita”	行天 正恭	音楽科声楽 2 年

作成：学友会担当 洲 雅明

## 資料7-3-①「平成18年度 保健室・学生相談室活動報告」

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

保健管理センター長 佐藤淳介

## (1) 平成18年度保健室活動報告

## ①月別利用状況 ( )内は平成17年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
女	51	84	89	70	3	36	103	55	67	42	13	0	613(542)
男	17	9	10	6	0	9	16	7	6	8	3	0	91(104)
計	68	93	99	76	3	45	119	62	73	50	16	0	704(646)

## ②学科別利用状況 ( )内は平成17年度

	1年			2年			計
	女子	男子	小計	女子	男子	小計	
美術科	57	5	62	36	1	39	101(111)
音楽科	42	7	49	18	9	27	76(126)
国際文化学科	97	6	103	98	0	98	201(156)
情報コミュ学科	138	22	160	70	11	81	241(163)
小計	334	40	374	224	21	245	619(556)
		女子			男子		
専攻科		26			5		31(26)
教職員		29			22		54(64)
計							704(646)

## ③疾病別利用状況

	女子			男子			計
	女子	男子	計	女子	男子	計	
外傷	105	16	121	火傷	8	0	8
風邪	52	16	68	嘔気・嘔吐	5	0	5
生理痛	51	0	51	捻挫	4	0	4
頭痛	27	8	35	突き指	4	0	4
腹痛	18	1	19	その他	224	36	252
胃痛	15	0	15				
打撲	13	2	15	小計	544	84	628
虫さされ	12	3	15	健康相談	69	7	76
下痢	6	2	8	計	613	91	704

〔その他〕の内訳

失神、意識消失、めまい、立ちくらみ、熱発、体調不良、気分不良、不眠、睡眠不足、眠気(薬の副作用他)、倦怠感、寒気、咳、のどの痛み、くしゃみ・鼻水、鼻づまり、胃部不快感、腹部膨満感、手首痛、足首痛、腰痛、背中の痛み、眼内異物、聴力低下、歯痛、眼痛、耳痛、あかぎれ、日焼け、湿疹、皮膚の発赤、皮膚の痒み、爪割れ、さかむけ、ピアスかぶれ、指のうっ血、排尿痛・頻尿、四肢チアノーゼ・頻脈、包帯交換、自傷

## ④月別疾病

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外傷	外傷	外傷	外傷		虫刺され	外傷	外傷	風邪	外傷		
風邪	頭痛	生理痛	風邪		生理痛	風邪	風邪	外傷	風邪		
生理痛	生理痛	風邪	虫刺され		外傷	頭痛	生理痛	生理痛	生理痛		

## ⑤健康相談月別推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
女	9	5	5	8	1	7	12	4	12	4	2	0	69
男	2	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	7

※保健師が対応

内訳

受診相談(皮膚科・眼科・循環器科・婦人科・乳腺外科・耳鼻科・心療内科・神経内科・整形外科・内科・外科・歯科・整骨院・インフルエンザ予防接種・健康診断書作成 \*保護者よりの受診相談 1件含む)、生理不順、生理痛、尿蛋白、下痢、便秘、頭痛、腰痛、不眠、睡眠不足、嘔気、食欲不振等

## ⑥ 健康診断書・健康診断証明書取り扱い

## a. 健康診断書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就職活動	人数	1	2	1	2	1	2	8			2	3	1	23
	枚数	1	2	1	2	1	2	8			2	3	1	23
教育実習	人数	4	44	1		2		2						53
	枚数	4	44	1		2		3						54
編入・専門学校 受験	人数							10		1		1	1	13
	枚数							10		1		1	1	13
その他	人数	4												4
	枚数	4												4
計	人数	9	46	2	2	3	2	20	0	1	2	4	2	93
	枚数	9	46	2	2	3	2	21	0	1	2	4	2	94

## b. 健康診断証明書(平成18年度より発行開始)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就職活動	人数	30	70	48	45	34	18	20	16	3	12	2	4	302
	枚数	44	117	68	106	82	31	30	18	3	23	6	6	534
教育実習	人数													
	枚数													
編入・専門学校 受験	人数								1					1
	枚数								1					1
その他	人数											1		1
	枚数											1		1
計	人数	30	70	48	45	34	18	20	17	3	12	3	4	304
	枚数	44	117	68	106	82	31	30	19	3	23	7	6	536

## ⑦ 学研災取り扱い

通学途中で右足骨折 1件  
計 1件

## ⑧ 定期健康診断受診状況(2/2 まで) ( )内は平成17年度

	受診	未受診	受診率		
身体測定	776	25	(12)	96.9	(98.5)
レントゲン	775	26	(13)	96.8	(98.4)
血圧測定	776	25	(12)	96.9	(98.5)
尿検査	742	59	(21)	92.6	(97.4)
内科検診	743	58	(25)	92.8	(96.9)

## (2)平成18年度学生相談室活動報告

## ①月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	5
面接回数	0	0	1	3	0	0	0	1	1	0	0	0	6

## ②相談内容別内訳

分類	件数
対人関係	2
学業・進路	1
心身症状	0
不安発作	1
家族関係	0
その他	1
合計	5

## ③処遇別内訳

新規	4
継続	1
終結	4
中断	1
継続	0
他機関紹介	0
合計	5

## 資料9-1 「学生による授業評価の全体集計結果(平成15・16年度)」

	質問番号	質問項目	平成15年度		平成16年度	
			前期	後期	前期	後期
授業内容	問3	授業の内容は量的に適切だった	4.0	4.2	3.9	4.1
	問4	授業の内容はまとまりがあった	4.0	4.2	3.9	4.1
	問5	授業の内容は興味あるものだった	3.9	4.2	3.8	4.0
	問6	知識や技能が得られた	4.0	4.2	3.9	4.1
	問7	授業の内容は全体的に満足できるものだった	3.9	4.2	3.8	4.1
授業方法	問8	先生の説明は丁寧でわかりやすかった	3.9	4.2	3.9	4.1
	問9	先生の声は明瞭で聞き取りやすかった	4.1	4.3	4.0	4.2
	問10	先生に学生の関心をひきつける工夫があった	3.8	4.1	3.8	4.0
	問11	先生に熱意があった	4.1	4.3	4.0	4.1
	問12	先生は学生の能力を理解していた	3.8	4.1	3.7	3.9
教育環境	問13	教室の広さ・設備などはこの授業に適している	4.1	4.2	4.2	4.3
	問14	照明は適切である	4.2	4.3	4.3	4.3
	問15	マイクの音量は十分である	3.9	4.1	4.2	4.3
	問16	教材(ビデオ等)は見やすい	3.7	3.9	3.9	4.1
	問17	教材(テープ)は聞きやすい	3.7	3.9	3.9	4.1
受講態度	問18	授業要項が役立った	3.4	3.7	3.6	3.8
	問19	遅刻や欠席をしないように心がけた	4.3	4.2	4.3	4.3
	問20	授業には積極的な態度で参加した	4.0	4.1	4.0	4.0
	問21	予習・復習などにも意欲的に取り組んだ	3.5	3.7	3.4	3.6
	問22	私語等で他人に迷惑をかけないよう心がけた	4.0	4.2	4.1	4.1

## 資料9-2 「学生による授業評価全体集計結果（平成17～19年度）」

	質問番号	質問項目	平成17年度		平成18年度		19年度	
			前期	後期	前期	後期	前期	
授業内容	問3	授業の内容を明確に理解できた	3.7	4.0	3.8	4.0	3.9	
	問4	授業の内容はまとまりがあった	3.8	4.1	3.9	4.1	4.0	
	問5	授業の内容は十分理解できるものであった	3.7	3.9	3.7	3.9	3.9	
	問6	授業の内容は興味あるものであった	3.8	4.0	3.9	4.0	3.9	
	問7	授業を通して知識や技能が得られた	3.8	4.0	3.9	4.1	4.0	
	問8	授業の内容は自分の将来に役立つものだった	3.7	4.0	3.8	4.0	3.8	
	問9	新しい学問の世界に関心が広がった	3.7	3.9	3.7	4.0	3.8	
	問10	授業の内容は全体的に満足できるものだった	3.8	4.0	3.8	4.0	3.9	
	授業方法	問11	先生の説明は丁寧でわかりやすかった	3.9	4.1	3.9	4.1	4.0
		問12	先生の声は明瞭で聞き取りやすかった	3.9	4.1	4.0	4.1	4.1
問13		先生に学生の関心をひきつける工夫があった	3.7	3.9	3.7	3.9	3.8	
問14		先生は学生の質問や発言を促す工夫をした	3.6	3.8	3.5	3.8	3.6	
問15		先生は学生がノートを取りやすいように配慮した	3.6	3.6	3.3	3.5	3.4	
問16		資料の提示方法は適切でわかりやすかった	3.3	3.9	3.7	3.9	3.8	
受講態度	問17	遅刻や欠席をしないように心がけた	3.7	4.3	4.3	4.3	4.4	
	問18	授業には積極的な態度で参加した	4.3	4.0	4.0	4.0	4.0	
	問19	予習・復習などにも意欲的に取り組んだ	3.9	3.6	3.3	3.5	3.4	
	問20	私語などで他人に迷惑をかけないように心がけた	3.3	4.1	4.0	4.1	4.1	
	問21	講義要項の内容は科目選択の参考に十分だった	4.0	4.0	3.7	4.0	4.0	
環境	問22	「授業の環境」（教室の広さ・照明・音響・ビデオ設備）などはこの授業に適していた	3.8	4.2	4.1	4.2	4.1	

## 資料A-1-①-2 「研究活動実績(平成16～18年)」

学長

名前	著書	論文・研究報告等	作品	作曲・編曲	発表	講演	その他
利光 功		5			2	2	4

美術科

名前	著書	論文・研究報告等	作品	作曲・編曲	発表	講演	その他
谷口 昌之			9				1
吉村 正郎			11				1
澤田 佳孝			7				2
根之木 英二			5				
河上 央			6				
久保木 真人		2	11				
中原 伸浩							1
原田 裕明			9				
鈴木 慎一							2
荻野 哉		1				1	1
合計	0	3	58	0	0	1	8

## 音楽科

名前	著書	論文・研究報告等	演奏	指揮	作曲・編曲	発表	講演	その他
若松 啓子		3	1					
宮本 修			1	5				
磯崎 淳子			7					
河野 敦郎	1	1	3		6	1		
小川 伊作	1	3	6			2	2	3
釈迦郡 誠			11					
川瀬 真由美			27	1				7
石山 聡			9					
遠藤 信一		2			2			
愛甲 久美			11					
行天 正恭			47					
大島 榮子			9					
福田 隆			3	40				
合計	2	9	135	46	8	3	2	10

## 国際文化学科

名前	著書	論文・研究報告等	発表	講演	その他
後藤 一美		1			
吉良 國光	1	3	2		
染矢 正一	5	1	1	2	
上野 正二		2			
鄧 紅	1	5	10	4	
大橋 絵理		2	2	1	
高瀬 圭子		3	1		
疇谷 憲洋	2	5	1	3	
Gregory Goodmacher	1	3	6	1	1
野坂 昭雄		5	4	2	
城田 愛		4	1		
山本 聡美				2	
合計	10	34	28	15	1

## 情報コミュニケーション学科

名前	著書	論文・研究報告等	発表	講演	その他
凍田 和美		4	7	5	6
吉良 伸一		4	2	2	1
佐藤 淳介				3	
吉山 尚裕		2	6	9	
坂口 桂子		5		1	
洲 雅明	2	7	4	2	1
藤田 文	1	7	8	4	

水上 英徳	2	2	1	1	
吉岡 孝					5
柴田 雄企		3	3		
関口 洋美	1	6	9		
合計	6	40	40	27	13

## 資料A-1-②「研究活動実績表」

## 研究活動実績表

別紙様式②

## 【研究成果の質】

短期大学名	芸術文化短期大学	学科・専攻科等名	学長
-------	----------	----------	----

<b>利光 功</b>			
アート・マネジメントの役割	大分県立芸術文化短期大学主催シンポジウム「アート・マネジメントの役割をめぐって」	'05. 1.29	シンポジウム基調報告
環境デザインについてのある対話「美的文化と環境～21世紀における環境美学の視点から～」	平成14～16年度科学研究費補助金研究成果報告書(研究代表者広島市立大学芸術学部助教授 吉井 章) pp.63～72	'05.3	論文
イコム(ICO.M.国際博物館協議会)の歴史と課題について	日本アートマネジメント学会九州部会第1回研究会	'05.5.28	口頭発表
回想のデザイン史研究	『デザイン史学』(デザイン史学研究会誌)第3号 pp.109～113	'05.7.2	特別寄稿
「バウハウス・デザイン展」解説パンフレット	大分県立芸術文化短期大学	'05.10.26	編集・執筆(共同)
現代におけるデザインの役割	「バウハウス・デザイン展」講習会	'05.10.29	講演
アート・マネジメントの役割	『アートマネジメント研究』(美術出版社発行)第6号 pp.4～8	'05.11.30	巻頭論説
宇治山哲平の人と作品	大分県立芸術会館	'06.6.18	ギャラリー・トーク
管靖子著『イギリスの社会とデザイン』	『デザイン史学』第4号 pp.153～155	'06.6.30	書評
芸術文化による地域振興	国際シンポジウム(大韓民国・嶺南大校)	'06.10.18	口頭発表
ラファエロ作「アテネの学校」をめぐって	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'06.11.9	講演
地域芸術文化の振興策	『アートマネジメント研究』第8号(美術出版社) p.104～111	'07.11.20	国際シンポジウム・報告



## 研究活動実績表

別紙様式②

## 【研究成果の質】

短期大学名	芸術文化短期大学	学科・専攻科等名		美術科
<b>谷口 晶之</b>				
婉		第78回 国展 (東京都美術館)	'04.4	油彩作品
婉、祈		第9回 西部国展 (大分県立芸術会館)	'04.9	油彩作品
象05-I		第79回 国展 (東京都美術館)	'05.4~5	油彩作品
象05-I,II		第10回 西部国展 (大分県立芸術会館)	'05.9~10	油彩作品
谷口晶之版画集「象」		(自费出版) 谷口晶之展	'05.5	オリジナルシルク 版画集
婉・祈・象05-IV・象05-V・童・萌 等		谷口晶之展 (えだ画廊・大分市)	'05.5	油彩作品
象06-I		第80回記念国展 (東京都立美術館)	'06.4	油彩作品
		第11回西部国展 (広島県立美術館)	'06.7	
宇治山哲平の人と作品		大分県立芸術会館	'06.6	ギャラリー・トーク
形(象)'06-III		西部国展 in ギャラリー風展 (東京銀座 G 風)	'06.10	油彩作品
<b>吉村 正郎</b>				
ファイバーワーク「スパイダリークロス」 (60x60x60cm) x3		前進する工芸 (田辺市立美術館)	'04.10.24~ 12.5	招待出品
工芸の明日を見つめてートークセッションー		門司港アート村実行委員会 (旧門司税関1Fホール)	'04.10.23	パネリスト、ギャラ リー・トーク
ファイバーワーク「Marking cloth ~Bomb I, II」10cm×10cm		美術展 2005[ima]長崎から (長崎ブリック ホール)	'05.1.23~2. 6	招待出品
ファイバーワーク「Marking of cloth ~ Maikarako~」200×10×200cm		第6回絞り会議企画 Shibori触発と異層 ~ (多摩美術大学美術館)	'05.15~6.1 2	招待出品
ファイバーワーク「Marking of cloth~can ~」12×14×7cm		Fiber As Art “進化するかたち”展 (千 疋屋ギャラリー)	'05.5.16~5. 28	企画出品
ファイバーワーク「Marking of cloth~suzu ~」(30×30×30cm) ×12		ヴィジョンインテキスタイル(Izmir State and Sculpture Museum, トルコ)	'05.9.15~1 0.8	入選
ファイバーワーク「Marking of cloth~Ball ~」15×15×15cm		2005 ミニアーテキスタイル展 COMO (The ex-church of San Francesco, Como イタリア)	'05.9.24~ 10.29	入選
ファイバーワーク「メーカーオブクロス」		第4回アジアファイバーアート展	'06.2.27~	企画出品

300cm (直径)	(韓国・光州美術館)	3.19	
ファイバーワーク「プロテクタークロス」	テキスタイルの未来形 2006	'06.7.22 ~	企画出品
60×50×200cm	(金沢 21 世紀美術館市民ギャラリーB)	8.7	
ファイバーワーク「ローリングクロスシリーズ	国際ファイバーアートストーリー 日本	'06.7.22 ~	招待出品
ズーバセルー」(90×90×70cm) × 15	と韓国 6 作家展 (韓国・ヨンチョン市、シ アン美術館)	8.19	
ファイバーワーク「メイキングオブクロスー	“in+rete” 2006 ミニアテキスタイルコモ	'06.10.7~	企画出品
マイカラコー」 360×10×360cm	「国際テキスタイル現代アート展」(イタ リア chiostrino di Sant'Eufemia Como)	11.12	招待出品
<b>澤田 佳孝</b>			
	2004 年日韓交流絵画展(大分市アート・プ ラザ)	'04.7	陶器 3 点 1 組
	大分県美展 40 周年記念展(大分芸術会館)	'04.10	黒陶 2 点 1 組
	第 7 回大分アジア彫刻展(朝倉文夫記念公 園)	'04.10	黒陶 1 点
森の記憶 05-5	2005 春期県美展(大分県立芸術会館)	'05.5	木彫 (杉材)
	韓・日現代絵画・彫刻交流展 (仁川市学生・文化教育会館 韓国)	'05.7	木彫 (杉材)
	∞の会展 (大分市美術館アートホール)	'05.8	木彫 (杉材) 12 点
森の記憶 2005-10	第 41 回県美展 (大分県立芸術会館)	'05.10	木彫 (着色・杉材)
	日洋職工部会 (6 回開催)	'05.4~9	大分県美術協会常任委 員
タイ王国及びカンボジア王国における石及び 陶土を素材とした造形物 (建築・彫刻・工芸 品) について、主としてその加工技術・成形 技法等についての調査・資料収集	タイ王国バンコク市及びチェンマイ市 カンボジア王国シェムリアップ市	'06.8~9	調査・資料収集
<b>根之木 英二</b>			
Annabel Lee	二科展 (東京都美術館)	'04.9	グラフィック作品
Public Poster	二科展 (東京都美術館)	'05.9	グラフィック作品
「バウハウス・デザイン展」解説 パンフレット	大分県立芸術文化短期大学	'05.10.26	デザイン (装丁・レイア ウト)
第 8 回大分アジア彫刻展ポスター	大分アジア彫刻展実行委員会	'06.6	グラフィック作品
Public poster	第 91 回二科展 (東京都美術館)	'06.9	グラフィック作品

<b>河上 央</b>			
山へ、浅春	第10回山口県在住・出身作家小品展	'04.1	日本画
庭へ、薄霞	第39回 苑の会展	'04.4	日本画
由布岳、図書館	第11回山口県在住・出身作家出品展	'05.1	日本画
望	第40回 苑の会展	'05.4	日本画
由布岳、シダ	第12回山口県在住・出身作家小品展	'06.1	日本画
横瀬小景	第41回苑の会展	'06.4	日本画
<b>久保木 真人</b>			
大分県文化年鑑2003	大分県芸術文化振興会議	'04.3.31	編集・装丁
Light Box2	2004年日韓交流絵画展 (大分市アート・プラザ)	'04.7	陶磁作品
『玄話』の森 PR 素材	大分県芸術文化振興会議	'04.10	印刷物の編集・アート ディレクション
蠶くものたち	第7回大分アジア彫刻展 (朝倉文夫記念公園)	'04.10	(協賛展示) 陶磁作品 功労者感謝状の副賞(記 念品)としてデザイン
ガラス製ペーパーウェイ	文化を語るタペ (全日空ホテルオアシスタワー)	'04.12	編集・装丁
大分県文化年鑑2004	大分県芸術文化振興会議	'05.3.31	
大分県美術協会40周年記念誌(日本画・洋画 ・彫刻・工芸)	大分県美術協会	'05.4	第20回~40回展の展覧 会記録を執筆
蠶くものたち 05-2	2005 春季県美展 (大分県立芸術会館)	'05.8	陶磁作品
Landscape 一流星雨の夜一	第2回∞の会展(大分市アートプラザ)	'05.8	陶磁作品(インスタレー ション)
凹凸のある扁壺	第41回県美展 (大分県立芸術会館)	'05.10	陶磁作品
2005 OITA ユニバーサルデザインマーケッ ト	大分県デザイン協会主催 (トキハインダス トリー明野アクロス)	'05.11	企画運営
大分県文化年鑑2005	大分県芸術文化振興会議	'06.3.31	編集・装丁
掻き跡のある花器	第17回日韓絵画交流展 (アートプラザ)	'06.8	陶磁作品
<b>中原 伸浩</b>			
和紙に描く水彩画	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.8	企画運営

<b>原田 裕明</b>			
星の座	第 80 回記念白日展 (東京都立美術館)	'04.3	彫刻作品
絆	第 34 回日彫展 (東京都立美術館)	'04.4	彫刻作品
冬芽	第 36 回日展 (東京都立美術館)	'04.11	彫刻作品
蒼穹	第 81 回白日展 (東京都美術館)	'05.3~4	彫刻作品
春眠	第 35 回日彫展 (東京都美術館)	'05.4	彫刻作品
大気の反照	第 37 回日展 (東京都美術館)	'05.11	彫刻作品
地の反照	第 82 回白日展 (東京都美術館)	'06.3	彫刻作品
気がかりな場	第 36 回日彫展 (東京都美術館)	'06.4	彫刻作品
笹舟	第 38 回日展 (東京都美術館)	'06.11	彫刻作品
<b>鈴木 慎一</b>			
第 53 回大分県統計グラフコンクール審査委員長	大分県統計協会	'05.11	審査評論
第 54 回大分県統計グラフコンクール審査委員長	大分県統計協会	06.11	審査評論
<b>荻野 哉</b>			
John Ruskin and Aestheticism in Victorian England	平成14年度～平成17年度科学研究費補助金(基盤研究(A))研究成果報告書『グローバル化状況下における芸術の論理と倫理』pp.135～141	'06.3	論文
西洋近代美術と「他者」	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'06.10.26	講演

短期大学名	芸術文化短期大学	学科・専攻科等名		音楽科
<b>若松 啓子</b>				
モーツァルト作曲「2 台のピアノの為のソナタ ニ長調」	ピアノ演奏会 (横浜市フィリアホール)		'05.5.1	演奏
宮添奈央子ピアノリサイタル評	大分合同新聞		'05.9.21	評論
園田高弘先生を偲ぶコンサート第 2 回を聴いて	大分合同新聞		'06.4	評論 (批評)
第 4 回園田高弘先生の仲間たちによる室内楽の夕べ	大分合同新聞		'06.11	評論 (批評)
<b>宮本 修</b>				
福岡合唱協会・大分中央合唱団ジョイントリサイタル	アクロス福岡シンフォニーホール		'04.7.18	大分中央合唱団の合唱 指揮
第 40 回合同定期演奏会	大分県立総合文化センター グランシアタ		'04.10.11	大学合唱指揮
大分中央合唱団第 14 回定期演奏会	iichiko 音の泉ホール		'05.5.28	指揮
ユニセフへの協賛コンサート	iichiko グランシアタ		'05.9.19	合同合唱団の指揮
ジョイントリサイタル「歌曲の会」第 12 回演奏会『六月の自画像』	iichiko 音の泉ホール		'06.6.9	バリトン独唱
第 42 回大分県立芸術文化短期大学定期演奏会	iichiko グランシアタ		'06.10.9	合唱指揮
<b>磯崎 淳子</b>				
3つの世界、3つの響き	音楽の友ホール (東京都)		'05.3.27	ピアノ伴奏
i musica	横浜みなとみらいホール 小ホール (横浜市)		'05.4.15	ジョイントコンサート
ニューイヤーコンサート	東京府中の森芸術劇場ウィーンホール		'06.1.7	ソロ
大島栄子退官記念コンサート	iichiko 音の泉ホール		'06.3.27	伴奏
I MUSICA ジョイントコンサート	横浜みなとみらいホール		'06.9.30	ソロ
公開レッスンとミニコンサート	熊本泗水ホール		'06.12.17	ソロ
クリスマスコンサート	東京府中の森芸術劇場ウィーンホール		'06.12.25	アンサンブル
<b>河野 教朗</b>				
アキレス・デレーヴェニユ、 石山聡ジョイントピアノリサイタル	松戸森のホール 2 1		'04.11.26	プログラム曲目解説

ソルフェージュにおける基本的なトレーニングのあらたな展開	全九州大学音楽学会研究発表会(大分県立総合文化センター音の泉ホール)	'04.12.3	口頭発表
<b>BLUE</b>	北九州市少年少女合唱団第30回記念定期演奏会(北九州芸術劇場)	'04.12.12	作品初演
NHK 交響楽団トップメンバーによるクリスマスキャロル	下関・久留米	'04.12.18~19	総合編曲(コンサート全体の編曲)
MIKE の出発	おおい子子供フェスタ(第7回大分県民芸術文化祭 開幕行事)	'05.9.25	子供のための創作舞台の編曲
混声合唱と管弦楽のための「荒城の月」	大分県立芸術文化短期大学特別地域演奏会(竹田市文化会館)	'05.10.9	編曲
合唱曲集「BLUE」	音楽の友社	'06.2	著書(単著)
「TATA」	大分県立総合文化センタースペース Be リハーサル室	'06.3.4	作品発表(4本のフルートとピアノと打楽器)
星空散歩「月への旅」	大分市立のつはる自然の家	'06.10.28	演奏
情熱大陸	パーカッショングループミレニアム 8th コンサート(コンパルホール)	'06.12.9	編曲
NHK 交響楽団トップメンバーズクリスマスキャロル	下関市民会館大ホール	'06.12.16	編曲
NHK 交響楽団トップメンバーズボディーパーカッション&クリスマスキャロル	久留米市民会館大ホール	'06.12.17	編曲
<b>小川 伊作</b>			
音楽小辞典	音楽の友社	'04.2	項目執筆(34項目)
ビウエラ研究序説	『欧米文化社会史研究』(大分県立芸術文化短期大学共同論集) pp.1~29	'04.3	論文
ビウエラのレパートリーとその分析	第2回ビウエラ講習会(東京国立博物館セミナールーム)	'04.8.29	講演
「レーゼ」管弦楽団第3回定期演奏会	大分県総合文化センターグランシアタ	04.8.8	プログラム曲目解説
第5回別府古楽祭	別府市中央公民館	'04.9.23	主宰・演奏
大分市歴史資料館平成16年度秋期(第23回)特別展「古の響き」—時代を彩った楽器—	大分市歴史資料館	'04.11.3	企画・演奏
ビウエラとは何か	第1回九州ビウエラ講習会(福岡市豊前もみじ学舎)	'05.5.14	講演
ビウエラとスペイン音楽	京都セルベントス懇話会第8回大会(大分県立芸術文化短期大学)	'05.6.18	講演

「ゼーレ」管弦楽団第4回定期演奏会	iichiko グランシアタ	'05.8.28	プログラム解説
イタリアーノ（ビウエラ）ほか	大分市美術館コンサート (大分市美術館)	'05.8.28	演奏
音楽理論入門 16世紀以前の音階とビウエラとの関わり	第3回ビウエラ講習会（国立東京博物館セミナーーム）	'05.8.30	講演
ビウエラ作品における「演奏可能性」試論			
グリーンスリーブス（ビウエラ）ほか	中秋の名月コンサート（関崎海星館）	'05.9.17	演奏
サンス作曲「マリサパロス、ガリアルダ」	第6回別府古楽祭（別府市中央公民館）	'05.9.25	演奏
ゲラウ作曲「マリオナス」（バロックギター）	第12回アドヴェントチャリティコンサート（大分カトリック教会）	'05.12.23	演奏
ほか			
第2回九州ビウエラ講習会	もみじ学舎（豊前市）	'06.5.14	講演
駆け足で辿る山田耕作の生涯	大分県立芸術文化短期大学音楽科小ホール	'06.6.3	公開講座
フランスバロックリュート『夢見る人』			CD解説
<b>积边郡 誠</b>			
积边郡 誠ピアノリサイタル	大分県総合文化センター音の泉ホール	'04.1.30	ソロ リサイタル
音楽は心の歌	本学公開講座「郷土に学び、郷土を考えよう」	'04. 11.20	演奏
白と黒「冬のコンサート」Part. IX	大分県総合文化センター音の泉ホール	'04. 12.26	演奏(フルート・チェロ・ピアノによる室内楽)
モーツァルト作曲 ピアノトリオ 第1番 KV254	くにたちコンサート2005 (iichiko 音の泉ホール)	'05.8.5	室内楽演奏
フンメル作曲 七重奏曲「軍隊風」	白と黒 冬のコンサート (iichiko 音の泉ホール)	'05.12.27	室内楽演奏
第17回ピアノリサイタル ピアノと歌の夕べ	iichiko 音の泉ホール	'06.1.28	ピアノ独奏と歌曲の伴奏
アン・ブロンテ歌曲集とブラウンウェル・ブロンテフルート曲集	CD・楽譜（樋口陽子制作・発行）	'06.2	歌曲集の楽譜校訂協力
大分県芸術文化基金事業公演 ふれあいコンサート	佐伯市立明治小学校体育館	'06.10.17	連弾・デュオ
グルッペ・レゾナンツ第13回 ピアノコンサート	三鷹市芸術文化センター風のホール	'06.10.31	ピアノ独奏
芸短音楽科コンサートシリーズNo.29 クリスマスコンサート「名曲の夕べ」	iichiko 音の泉ホール	'06.12.20	声楽曲の伴奏

白と黒 「冬のコンサート」 Part.XI モーツァルト作曲 ピアノトリオ 第3番 K. 498	iichiko 音の泉ホール	'06.12.24	室内楽演奏
<b>川瀬 麻由美</b>			
重唱と重奏の夕べ	本学音楽科コンサートシリーズNo.6 (大分県立総合文化センター音の泉ホール)	'04.3.10	演奏 (コンサートマスター)
海辺のコンサート	主催:トラウマ企画 後援:1985 ロータリークラブ (ヘミングウェイ)	'04.3.21	演奏とトーク
ライオンズクラブ式典演奏	主催:ライオンズクラブ(トキハ会館 ローズの間)	'04.4.10	演奏
ストリング・アンサンブルVEGA 第10回記念定期演奏会	プロデュース:株式会社1002(東京都オペラシティコンサートホール)	'04.4.26	演奏
響ホールフェスティバル2004「2004 音楽シーズン幕開け」 「モーツァルトの午後」	主催:財団法人 北九州市芸術文化振興財団(響ホール)	'04.5.21~22	演奏 (N響メンバーとの共演)
読売日本交響楽団定期演奏会	東京芸術劇場大ホール、サントリーホール	'04.5.28~29	演奏 (ゲストコンサートマスター)
第1回フレッシュコンサート	主催:ミュージックステーション福岡 (アクロス福岡シンフォニーホール)	'04.6.6	演奏 (コンサートマスター)
サマーコンサート	主催:静岡県交響楽団 (静岡市民文化会館中ホール)	'04.8.1	演奏 (ゲストコンサートマスター)
ゼーレ管弦楽団 第3回定期演奏会	大分県立総合文化センターグランシアタ	'04.8.8	賛助出演
九州交響楽団特別演奏会 アジアフレンドリーコンサート2004 熱き心の名手たち	アクロス福岡シンフォニーホール	'04.9.5	演奏 (首席奏者)
古庄総合法律事務所創立20周年記念コンサート	エルセルモ	'04.9.11	演奏とトーク
第40回合同定期演奏会	大分県立総合文化センターグランシアタ	'04.10.11	賛助出演
ゆふいんこども音楽祭	湯布院公民館	'04.10.30	指揮(ゼーレ管弦楽団)
別保ファミリーフェスタ	別保小学校	'04.11.7	演奏 (弦楽アンサンブル)
第5回上野の森アートフェスタ	大分県立美術館	'04.11.7	演奏 (弦楽アンサンブル)



名曲のタベ	本学音楽科コンサートシリーズNo.5 (大分県立総合文化センター音の泉ホール)	'04.12.15	演奏 (弦楽アンサンブル)
コンパルクリスマスコンサート	主催: 大分市(コンパルホール 文化ホール)	'04.12.23	演奏
重唱・重奏のタベ	大分県立総合文化センター音の泉ホール	'05.3.9	演奏 (賛助)
弦楽合奏団 音 Raku	主催: 音 Raku、後援: 大分県教育委員会他 (音の泉ホール)	'05.3.21	演奏 (ソリスト)
アンサンブル K&K コンサート	主催: K&K、後援: 大分県芸術文化振興会議、大分市、(財)九州交響楽団他(音の泉ホール)	'05.6.25	演奏
別府市民交響楽団定期演奏会	主催: 別府市民交響楽団実行委員会 (ビーコンプラザコンサートホール)	'05.6.26	演奏 (ゲストコンサートマスター)
アンサンブルコンサート	響ホール	'06.4.2	演奏 (首席ヴィオラ奏者)
九州交響楽団「序曲集」	未永文化センター	'06.4.16~18	CD録音 (首席客演奏者)
あらかわ・ウィーン「ふれあいコンサート」	主催: 日塊文化協会 (サンパール荒川大ホール)	'06.8.19	演奏 (ウィーン弦楽トリオとの共演)
大分交響楽団第30回定期演奏会	主催: 大分交響楽団 (iichiko グランシアタ)	'06.11.19	演奏 (ソリスト)
ハレルヤコンサート	主催: 小林市教育委員会 (小林文化会館大ホール)	'06.12.3	演奏 (コンサートマスター)
第5回 海辺のコンサート	エシエル・ドゥ・アンジェ	'06.12.18	演奏
名曲のタベ	iichiko 音の泉ホール	'06.12.20	演奏 (ヴァイオリアンアンサンブル)
<b>石山 聡</b>			
ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全曲演奏会 (第1回)	千葉県、森のホール2 1小ホール	'04.11.26	アキレス・デレーヴィニユ氏とのジョイントピアノリサイタル
サティ作曲「梨の形をした3つの小品」ほか	ヴェルヴィエ音楽院大ホール (ベルギー)	'05.1.18	モイラ・ミケリーニ女史との四手連弾ピアノリサイタル

ラフマニノフ作曲「組曲第2番作品17」ほか	リェージュ、ピアノオルガンサロン (ベルギー)	'05.1.19	モイラ・ミケリーニ女史との2台ピアノリサイタル
ラヴェル作曲「マ・メール・ロワ」ほか	グラルデア市庁舎サロン (イタリア)	'05.1.22	モイラ・ミケリーニ女史との四手連弾ピアノリサイタル
ラフマニノフ作曲「ロシア狂詩曲」ほか	テルニ、ガゾーリ宮殿内オーディトゥリウム (イタリア)	'05.1.23	モイラ・ミケリーニ女史との2台ピアノリサイタル
ガーシュイン作曲「ラプソディ・イン・ブルー」	京華学園吹奏楽団第30回定期演奏会 (板橋区立文化会館、東京都)	'05.3.28	客演ピアノソリストとして吹奏楽団と協演
ベートーヴェン作曲「オーケストラと合唱を伴うピアノのための幻想曲作品80」	第20回のべおか「第九」演奏会 (九響) (延岡総合文化センター大ホール)	'05.12.10	ピアノソリストとして交響楽団、合唱団との協演
ベートーヴェン作曲「オーケストラと合唱を伴うピアノのための幻想曲作品80」	第29回大分第九のタベ (九響) (iichiko グランシアタ)	'05.12.11	ピアノソリストとして交響楽団、合唱団との協演
イベール作曲「戯れ」ほか	麻生恭子フルートリサイタル (iichiko	'06.1.28	ピアノ伴奏
リスト作曲「3つのペトラルカのソネット」	音の泉ホール)		
ほか	ベルトラン・ジロー ピアノリサイタル (松戸市民劇場)	'06.11.26	曲目解説執筆
<b>遠藤 信一</b>			
竹田しゃんしゃん音頭	竹田市	'06.10.1	作曲
オペラ「魔笛」	大分県立芸術会館文化ホール	'06.10.8	編曲
<b>愛甲 久美</b>			
ニューイヤーコンサート2006	音楽の森コンサートフロア	'06.1.15	演奏
オペラ「椿姫」	ティアラこうとう小ホール	'06.1.22	フローラ役
Mozart Birthday Concert 15th	府中の森芸術劇場ウィーンホール	'06.1.27	アルト独唱
オペラ「オルフェーオ」	紀尾井ホール	'06.2.18	羊飼役
現代の音楽展2006 室内楽展II～声楽アンサンブル	東京オペラシティ・リサイタルホール	'06.3.2	演奏
オペラ「居酒屋お伽噺 (初演)」	東京文化会館小ホール	'06.3.10	女びな役
オペラ「蝶々夫人」	文京シビックホール小ホール	'06.3.11	スズキ役

MFS TRIO CONCERT	旧東京音楽学校奏楽堂	'06.3.15	演奏
田中均 “歌曲の世界”	東京グローブ座	'06.3.26	演奏
うたの会 “モーツァルト 250 歳”	音楽の森コンサートフロア	'06.6.24	演奏
モーツァルトのタベ “モーツァルト生誕 250 年記念コンサート”	宮崎県立芸術劇場演劇ホール	'06.12.8	演奏
<b>行天 正恭</b>			
歌劇「女の平和」(シューベルト作曲)、歌劇「卒塔婆小町」(石桁真礼生作曲)	主催:東京室内歌劇場(目黒パーシモン大ホール)	'04.1.17・18	オペラ全曲公演
歌劇「ラ・ボエーム」(プッチーニ作曲)	主催:丸亀市(丸亀市民会館)	'04.1.25	オペラ・ガラコンサート
”冷たき手を “他			
歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」(モーツァルト作曲)	主催:日本声楽家協会(日本声楽家協会ホール)	'04.2.13・14	オペラ・ハイライト公演(フェランド役)
交響曲第九番「合唱付」(ベートーヴェン作曲)	主催:尚美学園・尚美学園大学(所沢市民文化センター・ミュージアークホール大ホール)	'04.3.16	テノール・ソロ
歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」(モーツァルト作曲)	主催:二期会(二期会第1スタジオ)	'04.3.25・26	オペラ全曲公演(フェランド役)
オペラ・ドゥ・ジムナスト “ダンツァ”(ララ作曲) 他	主催:イ・ビリキーニ(四谷区民ホール)	'04.5.1	演奏会
喜歌劇「こうもり」(ヨハン・シュトラウス作曲)	主催:高松市(サンポート高松大ホール)	'04.5.22・23	オペレッタ全曲公演(アルフレード役)
歌劇「ファヴォリータ」(ドニゼッティ作曲)、歌劇「マノンレスコー」(プッチーニ作曲)	主催:グループ・グッチ高松(高松テルサホール)	'04.6.18	ガラ コンサート
歌劇「アルレッキーノ」(プッチーニ作曲)	主催:東京室内歌劇場(ティアラこうとう大ホール)	'04.10.1	オペラ全曲公演(レアンドロ役)
交響曲第九番「合唱付」(ベートーヴェン作曲)	主催:新居浜市(新居浜市民文化センター大ホール)	'04.10.13	テノール・ソロ
第10回秋のタベ名曲を歌う 歌劇「ルチア」(ドニゼッティ作曲) 他	主催:市川市日中友好協会(市川市文化会館)	'04.11.19	演奏会
交響曲第九番「合唱付」(ベートーヴェン作曲)	主催:尚美学園大学(ミュージアム・アルトホール 大ホール)	'04.12.2	テノール・ソロ
交響曲第九番「合唱付」(ベートーヴェン作曲)	主催:彦根市(ひこね文化プラザ)	'04.12.12	テノール・ソロ
交響曲第九番「合唱付」(ベートーヴェン作曲)	主催:日本青年館(日本青年館)	'04.12.27	テノール・ソロ
“ほたるの光” 全日空ホテル・テイクオフ・コンサート	東京全日空ホテル	'04.12.31	テノール・ソロ

プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」 “冷たき手を”ほか	香川県保育士会55周年記念大会記念コ ンサート(サンポートホール高松大ホー ル)	'05.1.8	ソロ リサイタル
滝廉太郎作曲「荒城の月」ほか ドニゼッティ作曲「愛の妙薬」	池の坊 初生けの会(四谷区民ホール) 夢をかたちに 第10回記念春のコン	'05.1.15 '05.3.5	ソロ リサイタル ソプラノ 森敬恵との
”人知れぬ涙”ほか プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」	サート(大洲市民会館 大ホール) 二期会イタリアオペラ研究会(二期会会 館)	'05.4.9	ジョイントコンサート ロドルフォ役
ヴェルディ作曲「リゴレット」 “女心の歌”ほか	新緑の桜紫会コンサート(豊島区民セン ター文化ホール)	'05.4.30	ガラ コンサート(共 演:テノール藤川泰彰 ほか)
ロッシーニ作曲「踊り」、「水夫たち(二重唱)」 ほか	イタリア 歌の国・恋の国 ロッシーニ ～ナポレターナへ(日本橋公会堂)	'05.5.11	ガラ コンサート(共 演:ソプラノ嶺貞子ほ か)
レハール作曲「微笑みの国」 “君こそわが心のすべて”ほか	コロシ サロン コンサートAriaのタ ベ(ギャラリーコロシ)	'05.5.28	ジョイントコンサート
ヴェルディ作曲「椿姫」“燃える心を” ほか	世界のソプラノの名花 崔 岩光 第 6回記念コンサート(和歌山市民会館小 ホール)	'05.6.24	ジョイントコンサート (共演:ソプラノ崔 岩光ほか)
トスティ作曲「暁は光から」ほか	珠玉の叙情歌 イタリア近代歌曲のタ ベ XVIトスティからメノッティ80年 の流れの中で(東京文化会館小ホール)	'05.7.11	ガラ コンサート(共 演:ソプラノ嶺貞子ほ か)
ヴェルディ作曲「オベレート サン・ボニファー チョ伯爵」	主催:スポレート実験歌劇場 (サン・ニコロ歌劇場 イタリア・スポ レート市)	'05.8.21	リッカルド役
プッチーニ作曲「トスカ」“星は光りぬ”ほか	2005 ふれあいコンサート 秋のコン サート(西尾市文化会館 小ホール)	'05.9.18	ガラ コンサート(共 演:バス小原浄二ほか)
ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」	大分県立芸術文化短期大学特別地域演 奏会(竹田市文化会館)	'05.10.9	テノール・ソロ
ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」	大分県立芸術文化短期大学第41回定期 演奏会(iichiko グランシアタ)	'05.10.10	テノール・ソロ
レハール作曲「メリーウイドー」“たかなる調 べ”ほか	日壇文化協会ガラ コンサート(紀尾井 ホール)	'05.10.18	ガラ コンサート(共 演:ヴァイオリン天満 敦子ほか)
ヴェルディ作曲「オベレート サン・ボニファー チョ伯爵」	主催:東京室内歌劇場(新国立劇場 中 劇場)	'05.10.30	リッカルド役

ガスタルドン作曲「禁じられた歌」ほか	淡島ホテル主催オデッセイコンサート (オデッセイホール)	'05.11.10	ソロ リサイタル
ビゼー作曲「カルメン」	大分オペラアンサンブル公演 (tichiko グランシアタ)	'05.11.27	ホセ役
ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」	主催：フロイデ・コア・ヨコハマ (横 浜みなとみらいホール 大ホール)	'05.12.1	テノール・ソロ
モーツァルト作曲「コシ・ファン・トゥッテ」	主催：東京オペラ／アートスフィア (アートスフィア)	'05.12.10	フェランド役
ドニゼッティ作曲「愛の妙薬」“人知れぬ涙” ほか	タント・カント・イタリアーノ・コンサー ト (MUSICASA)	'05.12.24	ジョイントコンサート (共演:ソプラノ 大 槻裕加)
「ほたるの光」ほか	全日空ホテル・テイクオフ・コンサート (東京全日空ホテルロビー)	'05.12.31	ジョイントコンサート (共演：ヴァイオリン 天満敦子(ほか))
モンテヴェルディ作曲 歌劇「オルフェオ」	紀尾井ホール (主催：東京室内歌劇場・ 社団法人日本演奏連盟)	'06.2.18	羊飼3役
尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科 第3回定期演奏会	和光市民文化センター・サンアゼリア大 ホール (主催：尚美学園大学)	'06.2.24	テノール・ソロ
多文化共生プロジェクト二期会ヴォーカルコ ンサート in かつしか〜世界の愛のうた	かつしかシンフォニーヒルズ・アイリス ホール (主催：財団法人東京二期会)	'06.2.25	独唱
モーツァルトの名曲と「椿姫」ハイライト	ロイヤルホール (主催：リーガロイヤル ホテル東京)	'06.5.4	アルフレード役
二期会イタリア歌曲研究会 XXXV イタリア 近代歌曲のタベ XVIII イタリア音楽の新ル ネッサンスを担った作曲家たちとその周辺	東京文化会館小ホール(二期会イタリア 歌曲研究会主催)	'06.7.3	独唱
プッチーニ作曲「トゥーランドット」“誰も寝 てはならぬ”ほか	日壇文化協会ガラ コンサート 2nd (紀 尾井ホール)	'06.8.31	独唱
ベートーヴェン作曲「交響曲第 9 番二短調 op.125」	サンパール荒川大ホール(主催:荒川区)	'06.12.10	テノール・ソロ
トスティ作曲 “嘘は光から影を分ける”ほか	プロムナード・コンサート特別プログラ ム 行天祥晃テノールリサイタル(アル テジオ主催)	'06.12.13	リサイタル
新観音寺市合併記念第九演奏会	観音寺市民会館大ホール	'06.12.17	テノール・ソロ
ベートーヴェン作曲「交響曲第 9 番二短調 op.125」	柴山町文化センター (主催：柴山町)	'06.12.23	テノール・ソロ

プッチーニ作曲「トゥーランドット」“誰も寝てはならぬ”ほか	全日空ホテルテイク・オフ・コンサート 東京全日空ホテルロビー(東京全日空ホテル主催)	'06.12.31	独唱
<b>大島 榮子</b>			
近代の響き・古典の回復	東京都久留米市氷川台「聖グレゴリアの家」	'04.3.28	演奏(研究発表)
片野場榮子ソプラノリサイタル	東京文化会館小ホール	04.7.5	ソロ リサイタル
音楽は心の歌	本学公開講座「郷土に学び、郷土を考えよう」	'04.11.20	演奏
武蔵野音楽大学北海道北支部第20回演奏会	旭川クリスタルホール音楽堂	'04.12.22	ジョイント・リサイタル
3つの世界、3つの響き	音楽の友ホール(東京都)	'05.3.27	鹿島恵子とのジョイントコンサート
プロムナード・コンサート	アルテジオ由布院	'05.5.11	歌曲演奏
日生劇場“ピロティ・コンサート”	日生劇場(東京都)	'05.7.9	歌曲演奏
ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」	大分県立芸術文化短期大学特別地域演奏会(竹田市文化会館)	'05.10.9	ソプラノ・ソロ
ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」	大分県立芸術文化短期大学定期演奏会(iichiko グランシアタ)	'05.10.10	ソプラノ・ソロ
<b>福田 隆</b>			
ブラームス作曲「交響曲第1番」ほか	第2回長崎大学OB管弦楽団演奏会(長崎カナリーホール)	'05.2.12	指揮
ベートーヴェン作曲「交響曲第5番」ほか	佐賀交響楽団第28回定期演奏会(佐賀市文化会館大ホール)	'05.2.27	指揮
シベリウス作曲「交響曲第3番」ほか	熊本学園大学グリーンフィルハーモニックオーケストラ第12回定期演奏会 (熊本注:学科・専攻科等で行われている研究活動の成果の質を示す根拠を記述してください。特に、教員自身や当該短期大学以外の外部者から、研究成果の質について、どのように評価されたかを示す資料・データ等を精選して、その要点を記述してください。)	'05.3.5	指揮
「ブラジルの神話」ほか	パーカッションアンサンブル01コンサート(神戸ピフレホール)	'05.3.11	指揮と演奏
「ブラジルの神話」ほか	パーカッションアンサンブル01コンサート(千葉東金文化会館)	'05.3.21	指揮と演奏
ブラームス作曲「交響曲第2番」ほか	福岡ブラームスオーケストラ演奏会(宮崎県立芸術劇場)	'05.4.30	指揮

チャイコフスキー作曲「ピアノ協奏曲第1番」ほか	熊本大学フィルハーモニーオーケストラ ラサマーコンサート(熊本県立劇場コンサートホール)	'05.5.14	指揮
ブラームス作曲「大学祝典序曲」ほか	久留米市民オーケストラ定期演奏会(石橋文化ホール)	'05.5.21	指揮(打楽器)
ラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第2番」ほか	長崎大学管弦楽団サマーコンサート(長崎ブリックホール)	'05.6.4	指揮
ディズニーメドレーほか	九州管楽合奏団演奏会(宗像湯リックス)	'05.6.15	指揮
モーツァルト作曲「レ・プティ・リアン」	熊本バレエ研究所サマーバレエコンサート(熊本市市民会館)	'05.6.25	指揮
チャイコフスキー作曲「1812年序曲」ほか	四大学オーケストラジョイントコンサート(熊本県立劇場コンサートホール)	'05.7.2	指揮
団伊玖磨作曲「西海讃歌」ほか	第47回自然公園大会タベの集いコンサート(西海パールシーリゾート)	'05.8.3	指揮
ディズニーメドレーほか	九州管楽合奏団演奏会(ソピア新宮)	'05.8.12	指揮
チャイコフスキー作曲「眠りの森の美女」	熊本バレエ研究所公演(熊本県立劇場演劇ホール)	'05.8.27	指揮
「となりのトトロ」ほか	熊本日々新聞ふれあいコンサート(熊本県立劇場コンサートホール)	'05.9.18	指揮
ブラームス作曲「交響曲第1番」ほか	ハンブルクユースオーケストラコンサート(熊本県立劇場コンサートホール)	'05.10.6	指揮
シューマン作曲「交響曲第4番」ほか	六本松管弦楽団オーケストラコンサート(福岡西区民センター)	'05.10.30	指揮
ディズニーメドレーほか	九州管楽合奏団演奏会(サザンクロス筑後)	'05.11.6	指揮
チャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」	熊本バレエ研究所公演(熊本県立劇場演劇ホール)	'05.11.27	指揮
チャバス作曲「トッカータ」ほか	パーカッションアンサンブルミレニアム第7回コンサート(コンパルホール、大分市)	'05.12.17	指揮と演奏
スターウォーズ メインタイトルほか	オーデンクリスマスコンサート(熊本ビアレストランオーデン)	'05.12.23	指揮
碧洛アンサンブル第16回定期演奏会	熊本県立劇場コンサートホール	'06.2.19	打楽器
熊本箏曲の祭典	熊本市市民会館ホール	'06.6.25	打楽器
パーカッショングループ「ミレニアム」8thコンサート	コンパルホール	'06.12.9	打楽器

佐世保市民管弦楽団第48回定期演奏会	アルカス佐世保ホール	'06.2.5	指揮
碧洛アンサンブル第16回定期演奏会	熊本県立劇場コンサートホール	'06.2.19	指揮
佐賀交響楽団第29回定期演奏会	佐賀市文化会館大ホール	'06.3.5	指揮
熊本学園大学グリーンフィル第13回定期演奏会	熊本県立劇場コンサートホール	'06.3.11	指揮
熊本学園大学グリーンフィル志文会宇城市支部創立記念演奏会	松橋町総合体育文化センター	'06.3.12	指揮
熊本学園大学入学式式典演奏	熊本県立劇場コンサートセンター	'06.4.5	指揮
熊本バレエ研究所スプリングバレエコンサート2006	熊本市民会館ホール	'06.4.8~9	指揮
フルートアンサンブルMMK第1回コンサート	福岡あいのふホール	'06.5.9	指揮
福岡ブラームスオーケストラ第3回演奏会	北九州響ホール	'06.5.14	指揮
長崎大学管弦楽団サマーコンサート	長崎ブリックホール	'06.5.27	指揮
九州芸術工科大学フィルハーモニー管弦楽団第37回定期演奏会	福岡メルパルクホール	'06.6.17	指揮
熊本箏曲の祭典	熊本市民会館ホール	'06.6.25	指揮
ゼーレ管弦楽団第5回定期演奏会	Iichiko グランシアタ	'06.8.20	指揮
八代八樹会コンサート	八代厚生会館	'06.9.3	指揮
長崎大学OB管弦楽団第3回演奏会	時津カナリーホール	'06.9.17	指揮
全国豊かな海づくり大会式典演奏	佐賀市文化会館大ホール	'06.10.29	指揮
熊本バレエ劇場 くるみ割り人形	熊本県立劇場演劇ホール	'06.11.12	指揮
野村バレエ団 くるみ割り人形	佐賀市文化会館大ホール	'06.12.24	指揮



短期大学名	芸術文化短期大学	学科・専攻科等名	国際文化学科
<b>後藤 一美</b>			
アーノルドの教養観 (その3)	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』 第42巻 pp.31~45	'05.1.31	論文
<b>吉良 國光</b>			
戦国期印章・印判に関する総合的研究	科学研究費補助金研究成果報告書 基盤 研究 (B) (1) (代表横浜国立大学 有光 友学)	'04.3	研究報告 (「大友氏」)
2003年歴史学会—回顧と展望—	『史学雑誌』113編5号	'04.5	報告(「日本中世3鎌倉期」)
日本歴史地名大系41 福岡県の地名	平凡社	'04.10	福岡市城南区、早良区、西 区の項執筆
金剛宝戒寺の再興と大日如来像について	『戒律文化研究』3号 宝蔵館	'04.12	論文
戦国期筑前国早良郡における在地構造に ついて	九州史学会大会 (九州大学)	'04.12.5	口頭発表
戦国期筑前国における在地構造と大内氏 の支配	熊本中世史研究会	'05.11.6	口頭発表
<b>染矢 正一</b>			
Fiest Step to the TOEIC Test Listening	成美堂	'04.1	教科書 Fred Ferrasci と の共著(Listening)
Science for Inquiring Minds	成美堂	'04.1	教科書 Fred Ferrasci と の共著(Video)
The Basics of News English	朝日出版社	'04.4	著賞 Fred Feerrasci と の共著
Designing English Textbook that Students	大分県教育庁高校教育課英語教員研修会 大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』 第42巻 pp.75~93	'04..10	講演 (英語)
Designing English Textbooks that Motivates Students	大分県教育庁高校教育課英語教員研修	'05.1.31	論文 (英語)
Classroom English for More Effective Learning	第54回九州地区一般教育研究協議会 (熊本大学)	'05.8	講演 (英語)
Teaching Non-English Majors in English by Japanese	三修社	'05.9	口頭発表 (英語)

Basic English Pronunciation for Japanese - - Light Version	三修社	'06.2	著書 (単著)
Discover the World of Movies		'06.2	著者 (共著)
<b>上野 正二</b>			
K. ヒルティ『幸福論』における労働と休息	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第42巻 pp.(1)~(13)	'05.1.31	論文
セネカにおける閑暇と労働	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第43巻 pp.(1)-(30)	'06.1	論文
<b>鄧 紅</b>			
日本 100 年の王充研究	淡江大学 (台湾)	'04.3	講演
日本の董仲舒研究	輔仁大学 (台湾)	'04.3	講演
宋学と董仲舒	国際陸象山理論研究会 (中国湖北省荊門市)	'04.3	口頭発表
日本の大充研究：綜述篇	『先秦兩漢學術』創刊号 (台湾輔仁大学)	'04.3	中国語論文
日本中国学界有関『春秋繁露』偽篇的論争	『先秦兩漢學術』第二期 (台湾輔仁大学)	'04.9	中国語論文
王充論『龍』	台湾地区中国哲学会 (台湾大学)	'04.12	口頭発表
王充的命論和普遍的人生觀	耕辛看護学校 (台湾)	'04.12	講演
日本の中国哲学史研究における「合理」と「合理主義」	国立国際日本文化研究センター研究会	'05.2.18	口頭発表
王充論漢高祖	東亞漢学国際会議 2005 年大会 (台湾淡江大学)	'05.5.29	口頭発表
「自然」の意味について～王充を中心に	国立国際日本文化研究センター第 26 回国際研究集会「東アジアにおける近代諸概念の成立」	'05.8.27	口頭発表
王充論“龍”	『先秦兩漢學術』(台湾輔仁大学) 第四期	'05.9	論文 (中国語)
王充是“合理主義者”嗎？	『人文論叢』(武漢大学中国伝統文化研究中心会誌) 2005 年号	'05.12	論文 (中国語)
日本の王充<論衡>研究論著目録編年提要 (中国語)	台湾知書房出版社	'06.1	著書 (単著)
日本の王充研究論著目録および内容提要	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第43巻 pp.87-140	'06.1	論文
日本の王充研究一框架篇	2006 年先秦兩漢国際學術研究会 (北京師範大学)	'06.3	研究発表

王充《論衡》「乱龍篇」の偽作説について	2006年九州中国学会大会(長崎大学)	'06.5	研究発表
天命思想発展史上的王充的客観天命論	“儒学与東亜文明”国際学術研討会(中国山東師範大学)	'06.8	研究発表
日本の王充研究の「枠」について	日本中国学会2006年大会(大東文化大学)	'06.10	研究発表
中国の美しき世界遺産	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'06.11.2	講演
論“萌芽”－“中国資本主義萌芽討論”断想	国際歴史文化語義学研討会(中国武漢大学)	'06.12	研究発表
<b>大橋 絵理</b>			
ワイルドの『サロメ』－色彩と視線－	『日欧文化社会史研究』(大分県立芸術文化短期大学共同論集)pp.31～44	'04.3	論文
Deux Salome's,chez Wilde et chez Flaubert	国際比較文学会	'04.8.9	口頭発表
フランス語とフランス文化について	大分臨海ロータリークラブ	'04.10.25	講演
『純心』～表象としての動物～	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第42巻 pp.1～13	'05.1.31	論文
La repr~sentation de la ville chez Flaubert~le zoo comme m~taphore de la ville~	AULLA33 and FILM23 Joint Congress in Carins(オーストラリア)	'05.7.20	口頭発表
<b>高瀬(田中) 圭子</b>			
「選挙されたローマ皇帝」－神聖ローマ皇帝フリードリヒ三世・マクシミリアン一世の称号	『日欧文化社会史研究』(大分県立芸術文化短期大学共同論集) pp.65～81	'04.3	論文
神聖ローマ帝国の Herrschaftszeichen－後期中世・近世における帝国首長の冠	社会史研究会(筑波大学)	'04.9.25	口頭発表
ハプスブルク家の聖人たち－16世紀初頭の系譜学者ヤーコプ・メンネルの仕事より－	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第42巻 pp.109～115	'05.1.31	研究ノート
王権・帝権の象徴としての冠－15・16世紀神聖ローマ帝国の事例より－	『西洋史学論集』43号 pp.39-55	'05.12.20	研究ノート
<b>疇谷 憲洋</b>			
山川世界史小辞典	山川出版	'04.1	項目執筆(ポルトガル史関係)
旅の気分でポルトガル語	丸善株式会社	04.3	住田育法氏との共著

ポルトガル大西洋帝国におけるボンバル の特権会社政策について	『日欧文化社会史研究』（大分県立芸術文 化短期大学共同論集） pp.45～63	'04.3	論文
ポルトガルの文化と音楽 “ファド”	「アクロス文化であい塾」（財）アクロス 福岡文化観光情報ひろば	'04.9	講演
OITA と葡萄牙—歴史の中の国際交流—	本学公開講座「大分の文化と社会を語る う」	'04.11	講演
リスボン再建と「リスボア・ボンバリーナ」 について	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 43巻 pp.177-186	'06.1	研究ノート
ポルトガルの旅 南蛮人の故地を訪ねて	平成 18 年度おおいの県民アカデミア大 学・国際理解講座（別府市・生涯教育セン ター）	'06.8.19	講演
浜岡著『ブラジルの発見』とその時代	『図書新聞』2800号	'06.12.2	新聞書評
18 世紀ポルトガルにおける改革の企図— 駐ロンドン公使 Sebastio Jose de Carvalho e Melo の意見書を中心に—	熊本歴史科学研究会例会	'06.12.16	口頭発表
<b>Gregory Goodmacher</b>			
This is Culture	南雲堂	'05.1	教科書（共著）
Education With Impact Developing Lessons for Language and Global Issues Education with Photojournalism Sites	FOLIO Journal of the Materials Development Association	'05.1	論文
Research into Discourse Patterns of Japanese Men and Women	『信州大学 人文学部論集』（信州大学）	'05.3	論文
Teaching Language and Cultural Context	International Conference of the Japan Association for Language Teaching	'05.10.8	口頭発表
Getting Students to Discuss Serious Issues	International Conference of the Japan Association for Language Teaching	'05.10.9	口頭発表
Teaching Language and Intercultural Communication	Nagasaki Chapter Meeting of the Japan Association for Language Teaching	'05.12.17 06.04.30	口頭発表 論文
A Survey of Materials Writers in Japan	Between the Keys (Journal of the Material Writers Special Interest Section)		
American Culture and Society	Niigata Seiryō Daigaku	06.01.26	講演
Teaching Language and Global Issues	Hokkaido Local JALT Chapter Meeting	06.02.26	口頭発表
Teaching a Culture-Specific Class with Realia	International Conference of the Japan Association for Language Teaching	06.11.03	口頭発表

Stimulating Students to Discuss Social Issues	International Conference of the Japan Association for Language Teaching	06.11.03	口頭発表
Panel Member- Alternative Routes to Materials Publication	International Conference of the Japan Association for Language Teaching	06.11.04	パネラー
<b>野坂 昭雄</b>			
岡倉天心における〈詩〉と〈歴史〉 —近代の矛盾をめぐって—	『日欧文化社会史研究』（大分県立芸術文化短期大学共同論集）pp.83~105	'04.3	論文
梅崎春生「幻化」と〈記憶〉 「アテネ五輪」に思う	『文学批評 叙説』II-08 西日本新聞	'04.8 '04.8.31	論文 論評
滝口武士と近代詩	本学公開講座「大分の文化と社会を語るう」	'04.11.18	講演
峠三吉の詩～目取真俊「水滴」と戦争詩を補助線として～	第15回原爆文学研究会（九州大学）	'05.7.16	口頭発表
峠三吉の詩～目取真俊「水滴」と戦争詩を補助線として～	『原爆文学研究』第4号	'05.8	論文
'The Body' in War Poems	11th International Conference of the European Association for Japanese Studies (ヴィーン大学)	'05.9.1	口頭発表
三木露風と北原白秋の詩の解説（3回）	本学公開講座「ガチンコ勝負山田耕筰」	'06.6	講演
米山リサ『広島 記憶のポリティクス』	『原爆文学研究』第5号（原爆文学研究会）	'06.10	書評
1960年代における「日本浪漫派」再評価をめぐって	文学・思想懇話会第10回研究発表会（北海道大学）	'06.9.17	口頭発表
島崎藤村『夜明け前』をめぐって	山口大学人文学部国語国文学会近代文学談話会（山口大学人文学部）	'06.12.2	口頭発表
<b>城田 愛</b>			
大阪沖繩系三世の視点・始点から From the (starting) Point of An Osaka-born Sansei Uchinanchu	琉球大学移民研究センターおよび Worldwide Uchinanchu Business Association 共催「移民会議ワークショップ：在日ウチナーンチュのアイデンティティ」（スイスホテル南海大阪）	'05.4.6	口頭発表
フィールドワークから繋がるあらたな道のり	『人類館：封印された扉』アットワークス pp.143-150	'05.5	著書（共著）

エイサーにみるオキナワンのアイデンティティ～ハワイ沖縄系移民における「つながり」の創出～	京都大学大学院人間・環境学研究科	'06.10	博士学位申請論文
移民会議記録「在日ウチナーンチュのアイデンティティ」	『移民研究』第2巻 pp.91-124		論文(共著)
パンダのしっぽは白か黒か～中国帰国・渡日児童たちの展示場からみる「中国人」、「日本人」、「多みんぞく」～	『多民族日本のみせかた～特別展「多みんぞくニホン」をめぐって～』(国立民族学博物館調査書SER) pp. 55-81	'06.12	論文(単著)
<b>山本 聡美</b>			
「茶の湯と国宝」—美術品の価値付けをめぐって—	日本美術史講座五「国宝百選」第四回(中山道広重美術館)	'06.8	講演
東大寺・正倉院宝物に見る国際性	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'06.10.12	講演
<b>伊藤 泰信</b>			
マリオ個別の知と社会:ニュージーランド先住民のイマージョンプログラムをめぐって	JCAS 連携研究「オセアニア諸社会におけるエスニシティ」(国立民族博物館)	'04.2	口頭発表
二文化主義状況下の移民と先住民:ニュージーランドにおけるアイランダーの学とマオリの学	清水昭俊編『太平洋島嶼住民の移住経験』一橋大学大学院研究社会人類学研究室	'04.3	論文
二文化主義状況下の移民と先住民	2000年～2004年度科学研究費補助金(基盤研究B1)研究成果報告書	'04.3	研究報告
Fabian, Johannes	小松和彦・田中雅一・谷泰・原毅彦・渡辺	'04.11	書評
Time and the Other :How Anthropolgy Makes its Object,Columbia University Press,1983	公三編『文化人類学 文献辞典』弘文堂		
“On Maori Studies as a discipline and its differentiation:From the viewpoint of Social Systems Theory”	The Journal of New Zealand Studies (NZSSJ) Vol.11	'04.12	論文(査読付)

短期大学名	芸術文化短期大学	学科・専攻科等名	情報コミュニケーション学科
<b>凍田 和美</b>			
学校における情報教育と情報モラル教育	日本教育情報学会第 20 回年会 (国立オリンピック記念青少年総合センター)	'04.8.18	口頭発表
教育の情報化への新たな扉	PCカンファレンス九州in大分(大分大学)	'04.9.25	パネルディスカッション司会
学校教育における情報モラル	財団法人ハイパーネットワーク社会研究所発行『2003 年度報告書』 pp.61-65	'04.10	研究報告
学校教育における情報モラル指導	情報処理教育研究集会 (名古屋大学)	'04.11.27	口頭発表
学校教育における著作権と情報モラル	別府地区視聴覚教育協議会理論編 (武蔵町中央公民館)	'04.12.27	講演
大分情報化のあゆみ～20 年を振り返って～	シニアネット大分、平成 17 年、年次総会	'05.1.30	記念講演
ネット社会で育つ子ども達と大人の役割	ハイパーワークショップ 2005 ワークショップin 沖縄	'05.2.9,10	パネルディスカッションコーディネーター
大分県の学校教育における情報技術と情報モラル	科学教育学会研究部会「ICT と教育」(福山大学)	'05.4.23	口頭発表
表計算ソフト入門	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.7	公開講座テキスト (共著)
情報通信技術を身につけるために	ふるさと学講座・現代学「情報活用講座」(大分県立障害教育センター)	'05.7.17	講演
インターネットによる情報収集と発信	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.9	公開講座テキスト (共著)
大分県内の企業の個人情報保護対策に関する予備調査	財団法人ハイパーネットワーク社会研究所発行 2004 年度報告書、pp.87～90.	'05.10	研究報告
プログラムと 3D の世界	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.10	公開講座テキスト (共著)
地域から始める健全育成運動の活性化～青年との意見交換～	平成 17 年度青少年健全育成活性化方策研究協議会～九州ブロック～	'05.11.4	パネルディスカッションコーディネーター
大分県の学校教育における情報モラル教育の考察	平成 17 年度情報処理教育研究集会	'05.11.5	口頭発表
大分県の情報教育推進を目的とした教員の集い～大分県情報教育研究会の活動～	日本科学教育学会第 4 回研究会、第 4 部会: 科学教育人材養成研究部会 (別府 B-CON プラザ)	'05.11.26	口頭発表
大分県の学校教育における情報モラル教育	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 43 巻 pp.33～46	'06.1	論文

地域情報化における IT ボランティア	『日本科学教育学会年会論文集 30』 pp.219～220	'06.8.18	— 発表 20
大分県における情報教育の進展とその推 進を目的とした教員の活動	平成 18 年度大学教育・情報戦略大会	'06.9.5-7	発表
情報コーディネーターによる由布市中小 学校の情報化	『平成 18 年度情報教育研究会講演論文 集』 pp.447～450	'06.11.24	— 講演 25
学生による地域商店街のホームページ作 成	『平成 18 年度情報教育研究会講演論文 集』 pp.825～826	'06.11.24	— 講演 25
学生の IT ボランティアによる大分市地域 情報化	(財) ハイパーネットワーク社会研究所研 究報告 2005 年 pp.125～129	'06.6	研究報告
<b>吉良 伸一</b>			
人権問題に関する県民意識調査報告書	大分県人権・同和対策課	'04.5	調査報告書 単著 121 頁
地域福祉計画の現状と課題 —山口・鹿児島・都城の3市の場合—	西日本社会学会 (宮崎公立大学)	'04.5.16	学会シンポジウム司会
少子高齢化社会を考える	日本社会分析学会 (宇部フロンティア大 学)	'04.8.8	シンポジウム「現代社会を 斬る」基調報告
少子高齢化社会を考える	本学公開講座「郷土に学び、郷土を考えよ う」	'04.11.13	講演
センサス・コーホート法による地域間移動 の研究	日本社会分析学会 (台湾国立政治大学)	'04.12.26	学会発表
センサス・コーホート法による地域間移動 の分析	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 42 巻 pp.15～29	'05.1.31	論文
西村達郎編著『阪神都市圏における都市マ イノリティー層の研究』について	西日本社会学会年報第 5 巻		書評
センサス・コーホート法による地域間移動 の分析Ⅱ	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 43 巻 pp.17～32	'06.1.31	論文
「わが国の地域間人口移動・—センサス・ コーホート法による分析—」	西日本社会学会第 64 回大会	'06.5	学会発表
<b>佐藤 淳介</b>			
教えることの意義と技法	大分県社会福祉介護研修センター	'04.10.6	講演
教えることの意義と技法	大分県社会福祉介護研修センター	'05.10.13	講演
教えることの意義と技法	大分県社会福祉介護研修センター	'06.10.12	講演



<b>吉山 尚裕</b>				
Safety climates at nuclear power plants in Japan:Recent findings	In N.Itoigawa,B.Wilpert &B.Fahlbruch (Eds.),Emerging Demands for the Safety of Nuclear Power Operations : Challenge and Response.Boca Raton,FL : CRC PRESS,pp.45-56	'04.7		論文
インフォームド・マイノリティが多数派に及ぼす影響ー共有情報の一面性と両面性の効果ー	日本グループ・ダイナミクス学会第 51 回大会 (南山大学)	'04.5		口頭発表
集団における情報共有の促進化方略	日本心理学会第 68 回大会 (関西大学)	'04.9		口頭発表 (共同研究)
集団における情報共有の促進化方略 (2)	日本協同教育学会第 1 回大会 (久留米大学)	'04.9		口頭発表 (共同研究)
事故予防の心理学	大分県立病院リスクマネジメント研修会	'05.3		講演
利用者の心を支えるためにーコミュニケーションと人間関係ー	(社) 日本介護福祉士会大分県支部・介護福祉士初任者研修会	'05.4		講演
チームにおける安全作業の推進について	(社) 九電工大分支店・平成 17 年度階層別研修会	'05.4.6		講演
リーダーシップとコミュニケーション	(財) 大分県建設技術センター・中堅技術職員研修	'05.6		講演
組織活動の基本原則と仕事の効果的進め方	大分県社会福祉介護研修センター・平成 17 年度社会福祉施設等中堅職員研修	'05.7		講演
地域活動におけるリーダーシップ・マネジメント	(社) 広島県看護協会・平成 17 年度第 1 回リーダー研修会	'05.9		講演
現代人と癒し	大分県立芸術文化短期大学公開講座「こころの癒しーアートセラピーへの招待ー」	'05.10.17		講演
グループ体験による“心の教育”	日本交流分析協会九州支部・平成 17 年度秋季大会	'05.10		講演
選挙の社会心理ー明るい選挙を進めるためにー	大分県明るい選挙推進協議会・平成 17 年度大分県明るい選挙推進セミナー	'05.12		講演
組織事故と安全文化ー組織の失敗を防ぐためにー	『電気評論』第 91 巻第 5 号 pp.16-21	'06.5		論文
集団における情報共有の促進化方略 (3)	日本協同教育学会第 2 回大会 (練馬第 3 小学校)	'06.2		共同発表
集団における情報共有課題における不確定志向性の効果	日本教育心理学会第 48 回総会 (岡山大学)	'06.9		共同発表

インフォームド・マイノリティが多数派に及ぼす影響—決定の重要性の効果—	日本心理学会第 70 回大会 (九州大学)	'06.11	単独発表
<b>坂口 桂子</b>			
佐々木武夫『脱工業化社会と職業意識』	西日本社会学会年報 第 2 号	'04.4	書評
大分の産業と社会	本学公開講座「大分の文化と社会を語るう」	'04.11	講演
非農林業における家族経営について	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 42 巻 pp.47~58	'05.1.31	論文
サービス産業とジェンダー—久留米・鳥栖テクノポリスを事例として—	「アジアにおける産業化とサービス産業化の形態」科学研究費補助金研究成果報告書基盤研究の (B) (代表 西南学院大学 佐々木武夫) pp.33~44	'05.5	報告書 (共著)
家族経営の源流—鼻地三郎氏の生活史より—	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 43 巻 pp.47~56	'06.1.31	論文
ポスト開発期の東アジア	花書院 pp.49~66	'06.6.2	論文 (共著)
<b>洲 雅明</b>			
水球競技におけるアシストパスの評価基準	『水泳水中運動科学』No.6	'04.3	論文
まごころ国体水泳競技レポート	『スイミングマガジン』No.336	'04.11	報告
水泳競技のトレーニング	(財) 日本水泳連盟	'04.10	DVD 作成
大分県内における高校水球選手フィールドテスト	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 4 巻 pp.67~73	'05.1.31	論文
水球競技におけるインターネットを利用したゲーム分析データの公開	九州体育・スポーツ学会第 54 回大会 (大分大学)	'05.9.3	ポスター発表
世界選手権・外国人コーチ招聘事業報告	日本体育協会公認水泳コーチ研修会 (日本都市センターホテル)	'05.10.9	講演
水球競技におけるチームパフォーマンスを構成する要因の分析	日本体育学会第 56 回大会 (筑波大学)	'05.11.23	口頭発表
世界選手権 3 大会における日本男子水球チームのチームパフォーマンスの分析	日本水泳水中運動学会 (東京大学)	'05.12.10	口頭発表
国内外の最新競技情報と分析	日本体育協会公認水泳上級コーチ養成研修会 (国立オリンピック記念青少年総合センター)	'05.12.15	講演
水泳コーチ教本	大修館書店	'05.12.20	共著

水球 101 の練習法	日本文化出版	'06.5	翻訳 (共著)
因子分析を用いた世界選手権における日本男子水球チームのパフォーマンス分析 ーチーム実力向上の要因についてー	水泳水中運動科学第9号	'06.9	論文
トリノオリンピックにおける男子種目の体格及び年齢について	九州体育・スポーツ学会第55回大会	'06.9.3	ポスター発表
ゲーム分析から見た頂上決戦	月刊水球通信7月号	'06.7	雑誌記事
ゲーム分析から見た今年の高校水球	月刊水球通信11月号	'06.11	雑誌記事
主要4大会におけるチーム及び選手の攻撃パターン	月刊水球通信12月号	'06.12	雑誌記事
<b>藤田 文</b>			
子どもとのコミュニケーションに対する自信と子どもと接した経験との関連	日本発達心理学会第15回大会 (白百合女子大学)	'04.3.27	口頭発表
0歳～5歳児までのコミュニケーションスキルの発達と診断ー子ども・親・専門家をつなぐー	北大路書房	'04.3	共訳書 (第6章担当) 丸野俊一 (監訳)
ケーブルネットワークを活用した地域遠隔学習システムの研究	平成13・14・15年度文部科学省科学研究費報告書	'04.3	研究報告 (三宅正太郎・凍田和美・吉川喬・吉岡孝との共同研究)
一斉講義形式の授業における遠隔学習システムの評価研究	平成13・14・15年度文部科学省科学研究費報告書	'04.3	研究報告 (三宅正太郎との共同研究)
ディベートを導入した双方向的な遠隔授業の試み	『ケーブルネットワークを活用した地域遠隔学習支援システムの研究』(三宅正太郎編) 平成13・14・15年度科学研究費補助金 (基盤研究 B2) 研究報告書 pp.39～66	'04.3	研究報告 (三宅正太郎・別府三奈子との共同研究)
LTD 話し合い学習法の「基礎ゼミ」への適用	日本心理学会第68回大会 (関西大学)	'04.9.14	口頭発表
ディベートを導入した双方向的な遠隔授業の試み	PCカンファレンス九州 in 大分 (大分大学)	'04.9.26	口頭発表 (三宅正太郎・別府三奈子との共同研究)
セクシュアル・ハラスメントおよび人権問題に関する実態調査報告書	大分県立芸術文化短期大学セクシュアル・ハラスメント等人権侵害防止検討委員会	'04.10.20	調査報告
コミュニケーションから生まれるもの	竹田市教育委員会家庭教育講演会	'05.1.18	講演

子どもと大学生のコミュニケーション— コミュニケーションスキルに関する認識 の変化を中心に—	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 42巻 pp.117～129	'05.1.31	論文
メディアリテラシーを測る試み—性役割 観の相違によるメディア認識の違い—	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 42巻 pp.131～142	'05.1.31	論文 (共著)
子どもとのコミュニケーション	横瀬西小学校 PTA 講演会	'05.2.5	講演
にらめっこ遊びの発達—ルール違反の出 現を中心に—	日本発達心理学会第 16 回大会	'05.3.28	口頭発表
学ぼう！心のコミュニケーション	大学の先生による出張授業 (大分県立大分 雄城台高等学校)	'05.11.17	講演
幼児の自己主張性と遊びの好みとの関連	九州心理学会第 66 回大会	'05.11.19	口頭発表
豊かなコミュニケーションのために	大分県建設技術センター職員研修会	'05.11.25	講演
幼児の自己主張性と遊びの嗜好との関連	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第 43巻 pp.141～150	'06.3.31	論文
幼児の自己主張性と交代行動の関連	日本発達心理学会第 17 回大会	'06.3.25	発表
自己主張性による自由遊び場面でのコ ミュニケーションの違い	日本教育心理学会第 48 回大会	'06.9.18	発表
親子のスキップと大学生の対人関係 との関連	日本心理学会第 70 回総会	'06.11.5	発表
<b>水上 英徳</b>			
批判的社会理論の承認論的転回	東北社会学研究会 2004 年度研究会大会	'04.10	シンポジウム発表
再分配をめぐる闘争と承認をめぐる闘 争：フレイザー／ホネット論争の問題提起	『社会学研究』第 76 号「特集 社会理論 と社会運動」(東北社会学研究会)	'04.11	論文
情報化社会はどんな社会か	本学公開講座「郷土に学び、郷土を考えよ う」	'04.11	講演
アクセル・ホネット『正義の他者』	法政大学出版局	'05.5	翻訳 (共訳)
労働と承認：ホネット承認論の視角から	『社会学研究』第 78 号、「特集 批判的社 会理論の今日的状況」、東北社会学研究会	'05.12	論文
「国家と公共圏」(『みらいに架ける社会 学』)	ミネルヴァ書房	'06.2	著書 (共著)
<b>吉岡 孝</b>			
VBA を利用したプログラミング入門		'04.10	本学公開講座テキスト
表計算ソフト入門	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.7	公開講座テキスト (共著)
インターネットによる情報収集と発信	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.9	公開講座テキスト (共著)

プログラムと3Dの世界	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'05.10	公開講座テキスト(共著)
プログラミングコース入門テキスト	大分県立芸術文化短期大学公開講座	'06.10~11	テキスト作成
<b>柴田 雄企</b>			
痴呆性高齢者に対するグループ回想法のSAT(高年者用絵画統覚テスト)による効果評価	『高齢者のケアと行動科学』第9巻 第2号 日本老年行動科学会	'04.3.31	論文
短期大学女子学生の痴呆性高齢者イメージと高齢者イメージ	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第42巻 pp59~66	'05.1.31	論文
大学生の職業的自己概念~性別, 将来設計による比較~	日本発達心理学会第16回大会(神戸国際会議場)	'05.3.28	発表(共同研究)
大学生の就職活動に与える自己効力感と就職不安の影響~	日本発達心理学会第16回大会(神戸国際会議場)	'05.3.28	発表(共同発表)
高齢者に対する知識とイメージ~女性介護職員と短期大学女子学生の比較~	大分県立芸術文化短期大学『研究紀要』第43巻 pp.57-64	'06.1.31	論文
認知症高齢者に対する知識とイメージ~女性介護職員と短期大学女子学生の比較~	日本老年社会科学会第48回大会(関西学院大学)	'06.6.24	発表
<b>関口 洋美</b>			
欺瞞尺度のパーソナリティ・タイプと性格類型および価値観との相関関係	『明星大学心理学年報』第22号	'04.3	論文(共著)
フィールドとしての博物館・博物館における質問紙調査の可能性	日本認知心理学会第2回大会	'04.5	シンポジウム
国立科学博物館における子ども向け展示解説について	日本展示学会第23回研究大会	'04.6	共著、口頭発表
欺瞞と恥じらいとの関係~嘘における性差を中心に~	日本社会心理学会第45回大会	'04.7	ポスター発表
欺瞞尺度の開発に向けての発展的研究(1)一作成された欺瞞尺度によって分類されるパーソナリティ・タイプ~	『大阪教育大学紀要 第IV部門 教育学』第54巻 第1号	'05.9	論文(共著)
競争心尺度の開発②	日本教育心理学会第47回大会	'05.9	ポスター発表
欺瞞における技術による嘘に関するタイプの研究	日本社会心理学会第46回大会	'05.9	ポスター発表
心理学 AtoZ~基礎から臨床まで~	学苑社	'05.10	著書(共著)

博物館・美術館における情報環境の新しい潮流～携帯ガイドシステム導入例の検討～	「移動体通信を用いた新しい博物館解説の研究」研究成果報告書	'06.3	論文（共著）
『いのちのたび博物館』英語解説モニター調査報告書	「移動体通信を用いた新しい博物館解説の研究」研究成果報告書	'06.3	報告書（共著）
科研メンバーによる科博常設展 PDA の評価	「移動体通信を用いた新しい博物館解説の研究」研究成果報告書	'06.3	報告書（共著）
博物館・美術館における携帯ガイドシステム評価法の開発～利用者が抱く疑問や印象からの質問票作成プロセス～	『法政大学文学部紀要』51 巻 2 号	'06.3	報告書（共著）
美術館における感想共有システムのデザインと評価～ケイタイを使用した作品鑑賞～	日本展示学会第 25 回研究大会	'06.6	共著、口頭発表
携帯電話を活用した博物館と動物園の連携	日本展示学会第 25 回研究大会	'06.6	共著、口頭発表
競争心尺度の開発	日本教育心理学会第 48 回総会	'06.9	ポスター発表
英語による音声ガイド体験が学習動機に及ぼす効果	日本心理学会第 70 回総会	'06.11	ポスター発表
<b>小島 一夫</b>			
「新西遊記」第 91 回～第 130 回	毎日新聞社「MNS ニュース」（インターネット版）	'05.1～10 (毎週)	旅行記
<b>別府 三奈子</b>			
ニューヨーク・タイムズ記者の記事捏造事件が問い掛けたもの	日本マス・コミュニケーション学会ジャーナリズム研究部会企画研究会	'04.3.15	口頭発表
ディベートを導入した双方向的な遠隔授業の試み	『ケーブルネットワークを活用した地域遠隔学習支援システムの研究』（三宅正太郎編）平成 13・14・15 年度科学研究費補助金（基盤研究 B2）研究報告書 pp.39～66	'04.3	研究報告（共同研究）
ウェブ系情報サイトに対する情報評価の基本構造に関する研究	『大分放送文化振興財団平成 15 年度助成事業活動報告書』pp.4～6（大分放送文化振興財団）	'04.6	研究報告

ジャーナリストの条件	『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』 (田村紀雄ほか編) pp.142-158(世界思想社)	'04.5	論説
『アジア戦跡情報館』(www.asian-mm-forum.org) (アジア近現代史における、記憶と記録をめぐるジャーナリズム専門研究サイト)		'04.10	サイバー・アーカイブス構築
ジャーナリストの専門性—歴史社会的検討	日本マス・コミュニケーション学会04年度秋季大会	'04.11.6	ワークショップ
大分のマス・メディア環境	本学公開講座「大分の文化と社会を語る」	'04.11	講演
<b>高橋 義人</b>			
『憲法 (増補改訂版)』	青林書院	'04.12	著書 (共著)
放送の自由と名誉毀損—「公共メディア」の憲法的地位	大分県立芸術文化短期大学紀要第 42 巻 pp.95~107	'05.1.31	論文
福岡県椎田町政治倫理審査会	椎田町	'05.4~11	
福岡県椎田町職員倫理審査会	椎田町	'05.4~11	
福岡県椎田町情報公開審査会	椎田町	'05.4~11	

短期大学名	芸術文化短期大学	学科・専攻科等名		一般教育
<b>加藤 千恵子</b>				
広場恐怖を伴うパニック障害の妻がいる夫が抱く夫婦の危機感—結婚観および仕事観を通して		日本産業カウンセリング学会	'04.8	口頭発表 (後藤浩子さんの共同研究)
大学生の職業的自己概念～性別、将来設計による比較～		日本発達心理学会第16回大会 (神戸国際会議場)	'05.3	口頭発表 (共同研究)
大学生の就職活動に与える自己効力感と就職不安の影響		日本発達心理学会第16回大会 (神戸国際会議場)	'05.3	口頭発表 (共同研究)
臨床心理・精神医学のためのSPSSによる統計処理		東京図書	'05.4	共著
自律訓練法		舞鶴高等学校	'05.8	講演
「情報の可視化」特集の企画にあたって		『可視化情報』Vol.25.No.99	'05.10	解説
人間関係の形成		舞鶴高等学校	'05.10	講演
アートセラピー入門		大分県立芸術文化短期大学公開講座 「こころの癒し～アートセラピーへの招待～」	'05.11	講演
若年層高学歴男性の仕事観に関する事例研究		『日本カウンセリング学会誌』第8号1	'05.12	論文
<b>貞包 博幸</b>				
いい意味で批判的な記事を		大分合同新聞	'04.1.11	論評
別府大学美術史(芸術文化)学科三十周年記念に寄せて		別府大学文学部芸術文化学科30周年記念誌	'04.2.14	論評
南画の里づくりと田能村竹田美術館		南画の里づくりをすすめる会	'04.2.22	シンポジウムコーディネーター
竹工芸の現状知らせて		大分合同新聞	'04.4.11	論評
「首藤コレクション」受け皿の音頭取りを		大分合同新聞	'04.7.11	論評
美術教育と映像機器—その可能性と限界—		九州地区大学一般教育研究協議会	'04.9.18	口頭発表
『美術批評』に見出しを		大分合同新聞	'04.10.10	論評
バウハウスの世界遺産的意義		世界文化遺産アジアシンポジウム (北京理工大学設計学院)	'04.11.1	口頭発表
大分の竹工芸と生野祥雲斎		本学公開講座「郷土に学び、郷土を考えよう」	'04.11.18	講演
岩尾秀樹展評		大分合同新聞	'04.11.18	美術批評



大分の饅絵	本学公開講座「大分の文化と社会を語る う」	'04.12.2	講演
美術教育と映像機器～その可能性と限界～	第53回九州地区大学一般教育研究協議 会議事録	'05.1.7	論文
考える場である論説	大分合同新聞	'05.1.16	論評
語り合う場 提供を	大分合同新聞	'05.4.11	論評
疑問尽きない遺跡保存	大分合同新聞	'05.7.25	論評
「私の一冊」欄新設を	大分合同新聞	'05.11.7	論評
日本の工芸の歩みと竹工芸	竹文化アジア交流フォーラムおおいた	'05.11.9	口頭発表
バウハウス・デザイン展に寄せて	大分合同新聞	'05.11.14	解説
日本画と洋画～日本美術の二つの側面～	モンゴル国立芸術大学	'05.12.20	講演
モダニズムと日本の近代化	モンゴル国立芸術大学	'05.12.21	講演
大分の美術～過去と現在～	モンゴル国立芸術大学	'05.12.22	講演

## 資料B-1-①-1 「公開講座実績一覧表（平成16年度～18年度）」

年度	講座名	受講者数	期間	内容
16	芸術コース(音楽) 開けてビックリ! 'アイネクライネ'	34	毎週土曜の5日間 6.5～6.26	弦楽合奏指導と楽曲分析 公開レッスン方式
	語学コース フランスを旅しよう	47	毎週火曜の5日間 6.22～7.20	フランス語の会話を楽しく学びながらフランスの文化に触れる
	パソコンコース プログラムと3Dの世界	71	毎週土曜の5日間 10.23～11.20	パソコン実習中級 2コースに分かれて実習
	教養コース 大分の文化と社会を語ろう	20	毎週木曜の5日間 11.4～12.2	統一テーマのもとにあらゆる角度から大分を分析。5講座
	(人文系学科中心) 学外講座 庄内町	2	毎週土曜の3日間 11.6～11.20	「郷土に学び、郷土を考えよう」のテーマのもとに5講座
17	パソコン実習初級 「表計算ソフト入門」	46	毎週土曜の5日間 7.2～7.30	Excelを使った初心者向けの操作実習 表やグラフ表示機能、応用としての家計簿作成
	絵の講座 「和紙に描く水彩画」	61	全3回 8月1日 10日 31日	和紙と水彩絵の具を使い、時間も場所もとらない柔軟な描き方で作品を制作
	学外講座(国東町) 「インターネットによる情報収集と発信」	21	全5回(連続) 9.12～9.16	インターネットについての講義及び実際にパソコンを使っての情報収集、デジカメによる画像編集やブログの実習
	教養講座「こころの癒し」 ～アートセラピーへの招待～	89	毎週木曜の5日間 10.27～12.1	現代人にとっての“癒し”の意味を考えながら、アートセラピーの技法を紹介
	パソコン実習中級 「プログラムと3Dの世界」	24	毎週土曜の5日間 10.29～11.26	Excel マクロ言語を使うプログラムコース マウスを使い3次元もの(鳥、動物等)を作る3Dコース
18	音楽科公開講座 「ガチンコ勝負 山田耕筰」	15	毎週土曜日の4日間 6.3 ～6.24	山田耕筰の歌曲作品の歌唱指導・詞と楽曲分析
	英語で語ろう「世界」の あれこれ	25	毎週金曜日の5日間 7.7 ～8.4	「旅行」「食べ物」など、みなさんが興味を持つことについて、アメリカ人の先生と、英語で語り合う
	パソコン実習中級 「プログラム、3D、画像編集の世界」	57	毎週土曜日の6日間 10.7～11.11	高度情報化社会の基盤技術といわれるIT技術を実際に使って習得する
	美の文化遺産をめぐる 旅、東へ西へ	35	毎週木曜日の5日間 10.12～11.9	西洋・東洋、そして日本の文化遺産とその歴史にまつわる講座 過去と現在、また未来への架け橋となる美の世界を紹介する
	学外講座(はさま未来館) 「気ままにデッサン」	16	毎週土曜日の3日間 11.25～12.9	身近にあるモチーフを使い、まず鉛筆写生から、楽しく、自由にデッサンします

## 資料B-1-①-2「学会及び社会における活動集録(案) 2006年1月～12月)」

## 学長

利光 功

- 1～12 日本アートマネジメント学会会長  
 1～12 全国公立短期大学協会大学教育支援プログラム検討委員会委員  
 1～12 特定非営利活動法人大学コンソーシアムおおいの理事  
 1～12 大分県立芸術会館協議会委員  
 1～3 財団法人別府コンベンションビューロー評議員  
 1～6 全国公立短期大学協会理事  
 2.14 文化ボランティア育成事業講師  
 講演題「芸術と社会をつなぐアート・マネジメント」  
 6～12 全国公立短期大学協会副会長  
 6.1～2 国公立短期大学協会 56 回総会 (当番校、大分県立芸術文化短期大学)  
 8.4 第 25 回公立短期大学幹部研修会講師  
 講演題「公立大学法人と学校法人を比較して」  
 11.25 日本アートマネジメント学会全国大会 (大分県立芸術文化短期大学)

## 美術科

谷口 晶之

- 1～12 国画会会員 西部国画会運営委員  
 第 80 回国展 審査員 (東京都美術館)  
 4 版画講座 講師 (別府市サザンクロス) (別府市生涯教育課主催)  
 5 第 13 回ホテル白菊小学生絵画コンクール 審査員 (ホテル白菊)  
 7 第 11 回西部国展 審査員 (広島県立美術館)  
 10 自然を守るチャリティー展 作品 2 点 (SM) 出品  
 (日動画廊：国画会主催)  
 11 大分市上野アートフェスタ 版画作品 6 点賛助出品  
 12 第 37 回名士名流作品展 (チャリティー) 版画作品 2 点出品  
 (読売新聞社主催・北九州、福岡、山口)

河上 央

- 11.25,12.2,12.9 学外公開講座「気ままにデッサン」(由布市)  
 7.2 第 56 回延岡市美術展日本画・水墨画部門 審査員  
 10.12 第 31 回ごはん、お米とわたし作文・図画コンクール図画部門 審査委員

中原 伸浩

- 6 宇治山哲平回顧展に於けるワークショップ指導 (大分県立芸術会館)  
 11 ふれあいアート講座に於けるワークショップ指導 (宇佐市立佐田小学校)

原田 裕明

- 1～12 日彫会運営委員

荻野 哉

- 1～3 美学会：東部会幹事 (『美学』編集担当)  
 4～12 日本アートマネジメント学会：九州部会委員、第 8 回全国大会実行委員  
 11.25 シンポジウム「アートと『地方』—パトロネージュの視点から—」  
 コーディネーター (大分県立芸術文化短期大学)

吉村 正郎

- 6.23 大分県版エコマネー「めじろん」推進事業の交換グッズ (エコバッグ)  
 のデザイン案審査 (大分県国民体育大会・障害者スポーツ大会局)

中川 恵雄

- 9 『安心・活力・発展』の 2005 生活シーンイラストレーションを審査・指導  
 (大分県企画振興部)  
 10 『大分市の都市型農業』のイラストレーション指導 (大分市農政部農政課)

澤田 佳孝

- 4～9 大分県美術協会常任委員 (日洋彫工部会) (6 回開催)

- 根之木 英二  
 1~12 大分県民芸術文化祭企画部会委員 (大分県民芸術文化祭実行委員会)  
 7 平成18年度人権啓発ポスター審査委員 (大分県生活環境部)  
 8 平成18年度「生活排水きれい推進月間」啓発ポスター審査委員 (大分県土木建築部)
- 久保木 真人  
 1~12 大分県美術協会工芸部長  
 1~12 大分県デザイン協会ユニバーサルデザイン研究会副代表  
 3~12 特定非営利活動法人大分県芸術文化振興会議理事  
 3 「大分県文化年鑑2005」編集・装丁 (大分県芸術文化振興会議)  
 4~12 日本陶磁器デザイン協会理事  
 6 第17回豊の国ねんりんピックシルバー作品展審査員 (工芸部門)  
 大分市・アート・プラザ (大分県・県教育委員会・大分県社会福祉協議会)  
 9 おおいたUDフェア企画・運営 (平成18年度人権啓発フェスティバル大分会場)  
 10 大分市陶芸祭2006 審査員 (河原内陶芸楽習館) (大分市・市教育委員会)  
 8~12 森林づくりマスコットキャラクター審査員 大分県庁 (大分県)  
 8~11 「別府温泉路地裏まちナビ」アドバイザー (別府八湯まちナビ協議会)
- 鈴木 慎一  
 1~12 第54回大分県統計グラフコンクール審査委員長  
 10~11 公開講座「画像編集コース」(毎土曜日全6回)
- 
- 音楽科**
- 若松 啓子  
 7 福岡女学院 実技試験考査、及び指導大学説明  
 10 ピアノ研究会；研究発表 芸短小ホール (9年目)
- 宮本 修  
 8.5 『第28回瀧廉太郎記念コンクール』 声楽部門 審査委員 (iichiko 音の泉ホール)  
 11.4 『大分中央合唱団創立20周年記念演奏会』 合唱指導 (iichiko グランシアタ)  
 \*モーツァルト作曲「レクイエム」ニ短調  
 12.10 第30回記念演奏会大分第九の夕べ 合唱指導 (iichiko グランシアタ)  
 \*佐藤眞作曲 混声合唱のためのカンタータ「土の歌」より  
 第1楽章 農夫と土  
 第2楽章 祖国の土  
 第7楽章 大地讃頌  
 \*ベートーヴェン作曲 交響曲第9番「合唱付き」
- 磯崎 淳子  
 10.7 日本クラシックコンクール地区本選審査 (iichiko 音の泉ホール)  
 12.17 小・中・高生の公開レッスン (熊本泗水ホール)  
 12.27 日本クラシックコンクール全国大会審査 (東京 葛飾シンフォニーヒルズ)
- 福田 隆  
 1.26 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 3.14 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 3.27 熊本大学フィルハーモニーオーケストラ合宿 合奏指導 (国立阿蘇青年の家)  
 4.21 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 4.22 福岡OBフィルハーモニーオーケストラ合奏指導 (パピオ練習室)  
 5.18 熊本県立劇場評議員会(熊本県立劇場) (運営、企画事業に対する審議会)  
 5.19 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 5.31 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 6.2 熊本市立楠中学校吹奏楽部 アンサンブル指導 (熊本市立楠中学校)  
 6.15 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 6.24 熊本県立商業高等学校吹奏楽部 アンサンブル指導 (熊本県立商業高等学校)  
 6.25 福岡OBフィルハーモニーオーケストラ合奏指導 (パピオ練習室)  
 6.29 熊本市立楠中学校吹奏楽部アンサンブル指導 (熊本市立楠中学校)  
 7.8 芸短巡回演奏会 打楽器アンサンブル演奏 (豊後大野市)  
 7.9 芸短巡回演奏会 打楽器アンサンブル演奏 (日田市)  
 7.13 熊本大学フィルハーモニーオーケストラ合宿 合奏指導 (国立阿蘇青年の家)  
 7.14 熊本市立楠中学校吹奏楽部アンサンブル指導 (熊本市立楠中学校)

- 7.15 熊本県立商業高等学校吹奏楽部アンサンブル指導 (宗像市)  
 7.20 多良木中学校吹奏楽部アンサンブル指導 (多良木中学校)  
 7.21 熊本市立楠中学校吹奏楽部アンサンブル指導 (熊本市立楠中学校)  
 7.24 熊本市立楠中学校吹奏楽部アンサンブル指導 (熊本市立楠中学校)  
 8.11 熊本県音楽研究サークル合宿 研修講師 (12日まで) (芦北町きずなの里)  
 9.14 芦北太鼓保存会和太鼓合奏指導 (芦北町商工会館)  
 10.1 フルトアンサンブルベリーズ指導(自宅)  
 11.4 福岡県アンサンブルコンテスト審査員 (5日まで) (まどかピア)  
 11.19 熊日学生音楽コンクール審査員 (熊本市健軍文化センター)
- 釈迦郡 誠  
 3.27~28 第15回 グレンツェンピアノコンクール西日本大会 小学生の部審査委員長(福岡ア  
 クロス大ホール)  
 7 第16回 グレンツェンピアノコンクール 大分地区予選審査委員長  
 (iichiko 音の泉ホール)  
 7 第16回 グレンツェンピアノコンクール 延岡地区予選審査委員長  
 (延岡文化ホール)  
 7 第3回 ありあけジュニアピアノコンクール審査員 (大牟田市文化会館)  
 8 第29回 宮崎ピアノコンクール予選審査員  
 8 第29回 宮崎ピアノコンクール本選審査員  
 (宮崎市民プラザ オルブライトホール)  
 9.2 第16回 グレンツェンピアノコンクール 大分県本選 審査委員長
- 河野 敦朗  
 8.2,3 NHK 全国学校音楽コンクール大分県大会 審査(iichiko 音の泉ホール)  
 めじろんダンス チャレンジ! おおいた国体 第63回国民体育大会監修
- 小川 伊作  
 10.28~29 第57回日本音楽学会全国大会実行委員 (九州大学大橋キャンパス)
- 9.5,12 講義 大分県立芸術緑丘高等学校音楽科3年生  
 9.24 主催・演奏 「第7回別府古楽祭」 (別府市中央公民館)  
 9.29 大分市文化施設指定管理予定者選定等委員会委員 (平成21年9月28日まで)  
 10.7 演奏 大分市南蛮文化祭 (大分銀行赤煉瓦館)  
 10.12 演奏 大分市どこでもコンサート (大分市アート・プラザ)  
 10.15 演奏 芸術文化短大フェスタ (iichiko 総合文化センターアトリウム)  
 10.21 講演 名曲サロン(コンパルホール (以後2月まで月1回))  
 11.4 演奏 第7回上野の森アートフェスティバル  
 11.6 演奏 宇佐の本願寺別院  
 11.12 主催 「音楽理論研究会」第5回大分例会  
 11.17 コンパルホール運営委員会  
 12.20 演奏「名曲コンサート」 (iichiko 音の泉ホール)  
 12.23 演奏 第13回アドヴェントチャリティコンサート (大分カトリック教会)
- 川瀬 麻由美  
 8.15 日本クラシックコンクール審査員 (地区予選・大分) (iichiko 音の泉ホール)  
 9.16,10.15 大分県音楽コンクール審査員 (予選・本選) (iichiko 音の泉ホール)  
 10.29 日本クラシックコンクール審査員 (地区本選・福岡) (ウエルとばた)
- 石山 聡  
 7.30 ピアノ演奏グレード検定特別審査員 (東京都 日暮里サニー・ホール)  
 8.15 日本クラシック音楽コンクールピアノ部門九州地区大分予選審査員  
 (iichiko 音の泉ホール)
- 遠藤 信一  
 5.21 「音楽理論研究会」第8回東京例会企画・運営  
 (東京都国立市 国立音楽大学AIスタジオ)  
 6.3,10,17,24 公開講座講師 「ガチンコ勝負 赤とんぼ」(全4回)  
 10.1 「音楽理論研究会」第9回東京例会企画・運営  
 (東京都国立市 国立音楽大学AIスタジオ)  
 10.22 総務大臣杯第9回日本太鼓ジュニアコンクール大分県予選審査員  
 (挾間町中央公民館はさま未来館)

- 愛甲 久美  
1~12 東京室内歌劇場 運営委員  
同歌劇場定期公演「オルフェオ」の公演監督補佐
- 行天 正恭  
3.28 朝日カルチャーセンター音楽講義 講師 “モーツァルト 音楽史上に刻んだ足跡”  
(朝日カルチャーセンター主催)  
6.3,10,17,24 大分県立芸術文化短期大学音楽科 公開講座講師  
“ガチンコ勝負 山田耕作” 公開歌唱指導  
8.29 日壊文化協会フレッシュコンサート 2006 オーディション声楽部門 審査(大田区民  
ホール・アプリコ小ホール) (日壊文化協会主催)  
8.31 NO BORDER FUTSAL CUP 2006 (ハーフタイムショー) 【独唱】  
(駒沢屋内競技場) 財団法人東京都サッカー協会他主催  
プッチーニ作曲 歌劇『トゥーランドット』より “誰も寝てはならぬ” 他  
9.17,18 オペラレクチャー講師 “声楽の基礎やオペラ『トゥーランドット』について”  
(主催:財団法人 大分県文化スポーツ振興財団)  
11. 3 Opera Piena di Vita 安心院初公演顧問 指導  
モーツァルト作曲 歌劇『Cosi Fan Tutte』~女はみんなこうしたもの~  
11.15 Opera Piena di Vita 本公演顧問 指導  
モーツァルト作曲 歌劇『Cosi Fan Tutte』~女はみんなこうしたもの~抜粋  
11.17 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同懇談会 (アトラクション)  
【独唱】(大分全日空ホテルオアシスタワー) (大分県医師会主催)  
プッチーニ作曲 歌劇『トゥーランドット』より “誰も寝てはならぬ” 滝廉太  
郎作曲 “荒城の月” 他  
11.25 第19回日壊文化協会フレッシュコンサート 2006 声楽部門 審査  
(サントリーホール 小ホール) (日壊文化協会主催)

---

**国際文化学科**


---

- 吉良國光  
1~12 大分県記録史料調査事業 (Ⅱ期) 調査委員 大分県立先哲資料館  
1~12 大分市歴史資料館鑑定委員  
1~12 福岡市史編纂委員会 中世史部会専門員  
1~12 福岡県五箇山ダム文化財調査委員  
10.4,5 講演「大分における荘園と武士団」(放送大学大分校)
- 染矢正一  
1~12 JACET (大学英語教育学会) 評議員、研究企画委員  
8 第46回 LET (外国語教育メディア学会) 全国大会司会 (京都産業大学)  
8 第4回 Asia TEFL (アジア英語教育学会) 国際大会実行委員 (西南学院大学)  
10 大分合同新聞英語コンクール 審査委員長 (大分合同新聞社)  
日本LL教育センター主催
- 鄧 紅  
4~12 「福永蔵書目録」 蔵書整理 (約2万冊) と目録作成  
大分県中津市教育委員会と中津市立小幡記念図書館からの依頼を受けて  
中津市で中国思想史研究者・故福永光司 (ふくなが みつじ、1918- 2001)  
氏のに携わっている。分類のうえ、書誌情報をパソコン入力し、2006 年度中に「福永  
蔵書目録」としてまとめた。
- 大橋 絵理  
5.16,6.13 講演「フランスの文化と社会」 (大分県立芸術緑丘高等学校)
- 高瀬圭子  
2 おおいと都心まちづくり会議委員  
4~12 大分市総合計画検討委員会 都市基盤部会委員  
6 戸次本町修景整備専門委員会委員  
9 大分駅部景観検討委員会委員  
10~12 大分市複合文化交流施設基本構想策定委員会委員
- グレゴリー・グッドマーカー  
論文「Reflections on a Survey of Materials Writers in Japan, Between the Keys,Jalt

## Materials

- Writers SIG, vol. XIV, num. 1, Spring 2006, pp. 13-18」.
- 1 講演「American Culture and Society」(新潟青陵大学)
- 2 「Teaching Language and Global Issues」(JALT 北海道地方部会)
- 11 パネリスト「Stimulating Students to Discuss Social Issues  
Teaching a Culture-Specific Class with Realia  
Alternative Routes to Materials Publication」  
(JALT (全国語学教育学会) 全国大会)
- 城田 愛  
12.21 講演「ハワイと沖縄の人びとと文化」(大分県立雄城台高等学校)
- 野坂 昭雄  
4.1 「秋季大会印象記」(日本近代文学学会会報 104 号) 会報に掲載された大会の印象記  
6 平成 18 年度音楽科公開講座 「ガチンコ勝負 山田耕筈」

## 情報コミュニケーション学科

凍田 和美

- 1~12 (財)ハイパーネットワーク社会研究所共同研究員(総括)
- 1~12 大分県広報誌等への民間広告導入に関する意見聴取会議委員(大分県、広報広聴課)
- 1~12 次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会推進部会委員
- 1~12 大分市地域情報化推進委員会委員(大分市)
- 1~12 平成 18 年度ジョブカフェおおい事業人材育成プログラム開発・実証業務  
(IT人材)委託業者選定審査委員会委員(大分県総合雇用推進協会)
- 1~12 平成 18 年度「特色ある大学教育支援プログラム」ペーパーレフェリー  
(財)大学基準協会)
- 7.1 講演「情報化社会における青少年健全育成について」日田市青少年健全育成大会
- 8.18 日本科学教育学会第 30 回年会一般研究発表「科学教育人材育成セッション」座長
- 10.22 講演「ネット社会と子供たち—大人の役割を考える—」  
国東市・姫島村 P T A 指導者研修会
- 10~11 公開講座「パソコン実習中級」  
「3Dの世界」(毎土曜日全6回)

吉良 伸一

- 1~12 文部科学省平成 18 年度現代的教育ニーズ取組選定委員会第 5 部会  
「実践的総合キャリア教育の推進」ペーパーレフェリー
- 1~12 平成 18 年度ジョブカフェおおい事業人材育成プログラム開発・実証業務委託業者選  
定審査委員会委員(大分県総合雇用推進協会)
- 5 西日本社会学会第 64 回大会社会計画・社会分析部会  
シンポジウム『高齢者福祉研究の新展開』司会
- 11 総合的な学習の時間におけるゲストレクチャー(大分県立大分雄城台高校)

佐藤 淳介

- 1~12 特定非営利活動法人大学コンソーシアムおおい運営委員
- 10 講演「教えることの意義と技法」(大分県社会福祉介護研修センター)

吉山 尚裕

- 1~12 大分県福祉サービス運営適正化委員会委員(大分県社会福祉協議会)
- 1~12 大分県明るい選挙推進協議会委員
- 1~12 大分県立病院倫理委員会委員
- 1 講演「選挙の社会心理—明るい選挙推進のために—」(別杵速見地方振興局)
- 3 // (西高地方振興局)
- 6,7 講演「ヒューマンエラーを防ぐには」((株)九電工大分支店)
- 7 講演「組織におけるコミュニケーション」((財)大分県建設技術センター)
- 9 講演「職場の人間関係—事故防止のために—」(社会福祉事業団 大分  
県なおみ園)
- 10 講演「リーダーシップと後輩の育成」(国立病院機構 別府医療センター)
- 10 講演「選挙の社会心理—明るい選挙推進のために—」  
(竹田市明るい選挙推進協議会)
- 11 // (中部地方振興局・大分市明るい選挙推  
進協議会)

- 11 講演「看護とマネジメントリーダー研修」 ( (社) 大分県看護協会)  
 講演「芸短大の手作りインターンシップ」 (大分労働局・大分県経営者協会)  
 12 講演「飲酒運転と組織のリスク管理」 (大分県土木建築部)
- 坂口 桂子  
 1～5 大分県男女共同参画審議会委員  
 1～12 大分労働局雇用均等行政協助手員  
 1～12 福岡県職業能力開発審議会委員
- 洲 雅明  
 2.3 講演「国内外の最新競技情報と分析」 (神戸)  
 日本体育協会公認水泳コーチ研修会  
 10.11 日本赤十字社救急法講習会 (大分市・下郡病院)  
 10.22 講演「水中運動の理論」 (大分市・社会福社会館)  
 高齢者のための健康・体力づくり指導者養成講習会  
 11.4 講演「新ルール改正に伴うゲーム分析結果」 (東京)  
 日本体育協会公認水泳上級コーチ研修会  
 11.11 講演「外国人コーチ招聘事業報告」 (東京)  
 日本体育協会公認水泳コーチ研修会  
 12.13 日本赤十字社救急法講習会 (大分市・リバーサイド病院)
- 吉岡 孝  
 9.7～8 第11回知能メカトロニクスワークショップ実行副委員長(湯布院公民館)  
 10.7～11.11 公開講座「プログラミングコース」講師
- 柴田 雄企  
 1～12 大分県臨床心理士会 理事 (高齢者部門)  
 7.19 講演「高齢者・障害者(児)の心理」 (杵築市社会福祉協議会)  
 ホームヘルパー養成研修 (2級課程)  
 7.21 講演「高齢者・障害者(児)の家族の理解」 (杵築市社会福祉協議会)  
 ホームヘルパー養成研修 (2級課程)
- 関口 洋美  
 1～3 「移動体通信を用いた新しい博物館解説の研究」科学研究費補助金 基盤研究A  
 平成14年度～平成17年度(平成18年3月迄) 研究協力者  
 1～12 「国民の科学リテラシー向上における科学系博物館が果たす役割に関する実証的研究」  
 文教協会研究助成 共同研究者  
 1～12 「時間的変換視状況下での身体感覚及び感覚・運動統合の障害パターンの解明」  
 科学研究補助金 基盤研究B 平成16年度～平成18年度 研究協力者



## 資料B-1-①-3学会及び社会における活動収録(平成18年)

## 学長

名前	審査員	委員など	講演・出演	学会主催・運営など	その他
利光 功		8	2		

## 美術科

名前	審査員	委員など	講演・出演	学会主催・運営など	その他
谷口 昌之	3	1			
吉村 正郎	1				
澤田 佳孝		1			
根之木 英二	1	2			
河上 央	2		1		
久保木 真人	2	5		1	2
中原 伸浩					2
原田 裕明		1			
鈴木 慎一	1			1	
荻野 哉		2		1	
中川 恵雄	1				1
合計	11	12	1	3	5

## 音楽科

名前	審査員	委員など	講演・出演	学会主催・運営など	その他
若松 啓子	1		1		
宮本 修	1		2		
磯崎 淳子	2		1		
福田 隆	2		22	1	
釈迦郡 誠	4	3			
河野 敦朗	1				
小川 伊作		3		11	
川瀬 麻由美	3				
石山 聡	2				
遠藤 信一	1		1	2	
愛甲 久美		1			
行天 正恭	2		9		
合計	19	7	36	14	0

## 国際文化学科

名前	審査員	委員など	講演・出演	学会主催・運営など	その他
吉良 國光	1	3	1		
染矢 正一	1	2		1	
鄧 紅					1
大橋 絵理			1		
高瀬 圭子		5			
グレゴリー・グッドマーカ			3		
城田 愛			1		
野坂 昭雄			1		1
合計	2	10	7	1	2

## 情報コミュニケーション学科

名前	審査員	委員など	講演・出演	学会主催・運営など	その他
凍田 和美	2	4	3		1
吉良 伸一	2		1	1	
佐藤 淳介			1	1	
吉山 尚裕		3	11		
坂口 桂子		3			
洲 雅明			6		
吉岡 孝		1	1		
柴田 雄企		1	2		
関口 洋美					3
合計	4	12	25	5	1

## 資料 卒業者の進路状況(学科別)

(平成19年5月1日現在)

美術科	卒業 者数 A 人	就職 希望者数 B 人	就職 者数 C 人	就職 率 C/B %	業種別内訳				就職先内訳	進学 者数 D 人	進学 率 D/A %	内訳			その他 A-C-D 人
					業種別内訳		就職先内訳					4年 制 大学 人	専攻 科 人	その 他 人	
					一般 業種 人	芸術 関係 人	県内 人	県外 人							
					人	人	人	人							
18 年度	79	23	18	78.3	12	6	9	9	30	38.0	4	21	5	31	
17 年度	70	23	16	69.6	11	5	10	6	24	34.3	1	20	3	30	
16 年度	78	21	12	57.1	8	4	9	3	29	37.2	5	24	0	37	

音楽科	卒業 者数 A 人	就職 希望者数 B 人	就職 者数 C 人	就職 率 C/B %	業種別内訳				就職先内訳	進学 者数 D 人	進学 率 D/A %	内訳			その他 A-C-D 人
					業種別内訳		就職先内訳					4年 制 大学 人	専攻 科 人	その 他 人	
					一般 業種 人	芸術 関係 人	県内 人	県外 人							
					人	人	人	人							
18 年度	63	17	16	94.1	6	10	8	8	19	30.2	1	17	1	28	
17 年度	68	21	17	81.0	11	6	12	5	26	38.2	9	14	3	25	
16 年度	66	18	11	61.1	9	2	5	6	24	36.4	3	21	0	31	

国際文化学科	卒業 者数 A 人	就職 希望者数 B 人	就職 者数 C 人	就職者数					進学 者数 D 人					その他 A-C-D 人
				就職率 C/B %	業種別内訳		就職先内訳		進学 率 D/A %	内訳				
					一般 業種	芸術 関係	県内	県外		4年 制 大学	専攻 科	その 他		
18 年度	115	73	67	91.8	67	0	50	17	18	15.7	15	0	3	30
17 年度	108	66	60	90.9	60	0	46	14	20	18.5	13	0	7	28
16 年度	115	67	61	91.0	61	0	51	10	24	20.9	20	0	4	30
情報 コミュ ニケー ション 学科	卒業 者数 A 人	就職 希望者数 B 人	就職 者数 C 人	就職者数					進学 者数 D 人					その他 A-C-D 人
				就職率 C/B %	業種別内訳		就職先内訳		進学 率 D/A %	内訳				
					一般 業種	芸術 関係	県内	県外		4年 制 大学	専攻 科	その 他		
18 年度	116	86	82	95.3	82	0	62	20	19	16.4	14	0	5	15
17 年度	112	85	76	89.4	76	0	60	16	12	10.7	8	0	4	24
16 年度	101	81	76	93.8	76	0	66	10	7	6.9	5	0	2	18

資料 別表 4-2: 入学者の状況

		平成18年度							平成19年度						
		定員	志願者	倍率	受験者	倍率	合格者	入学者	志願者	倍率	受験者	倍率	合格者	入学者	
美術科	美術専攻	25	49	1.96	46	1.84	34	25	35	1.40	35	1.40	32	28	
	デザイン専攻	50	89	1.78	88	1.76	63	53	82	1.64	82	1.64	63	51	
	計	75	138	1.84	134	1.79	97	78	117	1.56	117	1.56	95	79	
音楽科	声楽専攻	30	35	1.17	33	1.10	40	35	41	1.37	40	1.33	33	29	
	器楽専攻	35	87	2.49	86	2.46	48	43	91	2.60	90	2.57	50	34	
	計	65	122	1.88	119	1.83	88	78	132	2.03	130	2.00	83	63	
国際文化学科	独自学力試験								130	1.30	130	1.30	123	85	
	センター利用								96	0.96	96	0.96	88	24	
	計	100	161	1.61	150	1.50	148	102	226	2.26	226	2.26	211	109	
情コミュ学科	独自学力試験								152	1.52	151	1.51	132	103	
	センター利用								88	0.88	88	0.88	69	15	
	計	100	175	1.75	167	1.67	152	109	240	2.40	239	2.39	201	118	
合計		340	596	1.75	570	1.68	485	367	715	2.10	712	2.09	590	369	

前後期にわたるセンター試験利用は平成19年度から  
 特別選抜入試(社会人・外国人留学生)を含めた数  
 音楽科声楽専攻の合格者は一般入試における併願(理論分野)による合格者数を含めた数

資料 別表 4-3: 入学者数と定員充足率

	定員	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
美術科							
美術専攻	25	28	26	27	30	25	28
デザイン専攻	50	53	52	51	46	53	51
計	75	81	78	78	76	78	79
	%	108.0	104.0	104.0	101.3	104.0	105.3
音楽科							
声楽専攻	30 *	31	34	28	33	35	29
器楽専攻	35 *	37	37	42	37	43	34
計	65	68	71	70	70	78	63
	%	104.6	109.2	107.7	107.7	120.0	96.9
国際文化学科	100	118	123	107	118	102	109
		118.0	123.0	107.0	118.0	102.0	109.0
情報コミュニケーション学科	100	98	112	113	119	109	118
	%	98.0	112.0	113.0	119.0	109.0	118.0
合計	340	365	384	368	383	367	369
	%	107.4	112.9	108.2	112.6	107.9	108.5
専攻科(造形)	15	25	19	20	24	20	23
専攻科(音楽)	15 **	19	19	20	21	16	24
計	30	44	38	40	45	36	47
	%	163.0	140.7	148.1	166.7	133.3	156.7

\* 平成14年度まで、声楽専攻35・器楽専攻30

\*\* 平成18年度まで、音楽専攻科12

主な就職先 ※1( )は就職内定者数 (平成16年度～平成18年度合計)

## ①一般職関係

## [ 鉱業 ]

(株)高興産(2) (株)パナホーム大分(3)、(株)野田建工(1)、(株)神崎建設(株)(1)、(株)小野建(1)、(株)九工建設(株)(1)、(株)さとうベネック(1)、(株)九築工業(1)

## [ 製造業 ]

新日本製鐵(株)(3)、大分キヤノンマテリアル(株)(2)、丸徳産業(株)(3)、八鹿酒造(株)(1)、(株)江藤酸素(2)、(株)ホックス(2)、STKテクノロジー(株)(2)、ワールドインダストリー(株)(1)、佐伯印刷(株)(1)、(株)ダイナン(1)、大分ムラタ(株)(1)、(株)メガテック(1)、(株)アロー印刷(1)、いづみ印刷(株)(1)、(株)寿製菓(1)

## [ 情報通信業 ]

大分ケーブルテレコム(株)(7)、臼杵ケーブルネット(株)(1)、(株)放送技術社(2)、ソフトバンクBB(株)(1)、大銀コンピュータサービス(株)(2)

## [ 運輸業 ]

大分交通(株)(2)、九州旅客鉄道(株)(16)、宮崎交通(株)(1)、鶴海運輸(株)(1)

## [ 卸・小売業 ]

カネボウ化粧品九州販売(株)(2)、(株)スズキ自販大分(1)、日産プリンス大分販売(株)(7)、(株)ネットヨタ東九州(3)、(株)ティ・エフ・シー(9)、ジュエル九宝(1)、(株)カガシヤ(9)、(株)ヤノメガネ(3)、永富調剤薬局(株)(4)、ELBEC教育図書センター(株)(3)、(株)古荘本店(3)、イオン九州(株)(3)、(株)Attack コーポレーション(3)、(株)オンワード樫山(2)、(株)ヨネザワ(2)、(株)ビッグチェーン(2)、(株)ケーズデンキ(3)、(株)そうりん(2)、(株)ナリス化粧品(1)

## [ 金融・保険業 ]

(株)大分銀行(25)、(株)豊和銀行(7)、大分みらい信用金庫(9)、大分県信用組合(11)、大分信用金庫(2)、(株)オーシー(5)、(株)武富士(2)、(株)宮崎太陽銀行(6)、大分県信用農業協同組合連合会(3)、日本生命保険相互会社(1)、第一生命保険相互会社(1)、熊本ファミリー銀行(1)、中央三井信託銀行(2)、(株)島根銀行(1)、(株)伊予銀行(1)、国民生活金融公庫(1)、ニュートンフィナンシャルコンサルティング(2)

## [ サービス業他 ]

別大興産(株)(3)、別府湾ロイヤルホテル(3)、(医療)孟和会(2)、永田眼科医院(2)、KTC 外語学院(3)、大分県民共済(2)、(株)ニッセンエヴァーズ(2)、JA大分市(3)、JA日向(2)、(株)JALスカイ九州(6)、福岡エア・サービス(株)(2)、(株)大分航空トラベル(2)、(株)リクルート(2)、西日本後楽園(3)、(株)にしけい(2)、三信産業(株)(1)、エディスパソコン学院(4)、(株)アパユアーズ(2)、(株)NOVA(3)、(社)福ねむの木学園(1)、(学)平松学園(2)

## ②美術関係

(株)トライ社(1)、(株)レベルファイブ(1)、(株)ブレイン(1)、シギヤマ家具(1)、中津木工(1)、(有)ウルトラハウス(2)、(有)ナガマツ制作室(1)、(有)HEAD'S(1)、(株)アートプロセス(1)、(有)ヴィートン(1)、(株)久利匠(1)、(有)プラス(1)

## ③音楽関係

ヤマハ音楽教室(4)、カワイ音楽教室(5)、第一楽器(株)(3)、ラピア音楽院(1)、(株)大谷楽器店(3)、山口県警察音楽隊(1)、大分県警察音楽隊(1)

## ④公務員等関係

熊本県(1)、自衛隊(3)、日本郵政公社九州支社(1)

**主な進学先** ※( )は合格者数

## ①四年制大学(編入学)

大分大学(19)、佐賀大学(10)、熊本大学(7)、鹿児島大学(2)、広島大学(1)、島根大学(1)、愛媛大学(11)、山口大学(1)、高知大学(2)、長崎大学(1)、香川大学(2)、宮崎大学(1)、三重大学(1)、山口県立大学(5)、下関市立大学(6)、北九州市立大学(3)、京都嵯峨芸術大学(1)、京都造形芸術大学(4)、武蔵野音楽大学(5)、久留米大学(2)、津田塾大学(1)、エリザベト音楽大学(5)、東邦音楽大学(1)、フェリス女学院大学(1)、同志社女子大学(1)、高知女子大学(1)、都留文化大学(1)、創価大学(1)、福岡大学(2)、別府大学(10)、活水女子大学(1)、西南学院大学(1)

## ②本学専攻科

造形専攻(67)、音楽専攻(53)

## 資料 教育課程表

## 教育課程表

## ◎共通教育科目（一般教養科目）

科 目	必修単位	選択単位
法学(日本国憲法)		2
哲 学		2
美の世界		2
音楽の歴史		2
文化人類学		2
ヨーロッパの歴史		2
大分の歴史と文化		2
情報機器基礎演習		2
環境と社会		2
日本美術史		2
メディアリテラシー		2
アートセラピー		2
現代と人権		2
生活文化史		2
生活と環境		2
自立を考える		2
キャリア・プランニング		2
世界の美術		2
心理学		2
地域社会特講Ⅰ		2
倫理学		2
文学		2
経済学		2
ビジネス法規		2
大分の美術		2
地域社会特講Ⅱ		2
総合演習		2
芸術文化Ⅰ－鑑賞とマネジメント		1
芸術文化Ⅱ－鑑賞とマネジメント		1
計		56

## ◎共通教育科目（外国語科目）

科 目	必修単位	選択単位
英語ⅠA		1
英語ⅠB		1
英語ⅡA		1
英語ⅡB		1
ドイツ語ⅠA		1
ドイツ語ⅠB		1
ドイツ語ⅡA		1
ドイツ語ⅡB		1
フランス語ⅠA		1
フランス語ⅠB		1
フランス語ⅡA		1
フランス語ⅡB		1
中国語ⅠA		1
中国語ⅠB		1
中国語ⅡA		1
中国語ⅡB		1
ポルトガル語ⅠA		1
ポルトガル語ⅠB		1
ポルトガル語ⅡA		1
ポルトガル語ⅡB		1

イタリア語ⅠA		1
イタリア語ⅠB		1
イタリア語ⅡA		1
イタリア語ⅡB		1
韓国語ⅠA		1
韓国語ⅠB		1
韓国語ⅡA		1
韓国語ⅡB		1
計		28

## ◎共通教育科目（保健体育科目）

科 目	必修単位	選択単位
健康・スポーツ	1	
健康・スポーツA		1
健康・スポーツB		1
健康・スポーツC		1
計	1	3

## ◎日本語・日本事情科目（外国人留学生に開設する科目）

科 目	必修単位	選択単位
日本語Ⅰ		2
日本語Ⅱ		2
日本事情		2
計		6

## ◎美術科専門教育科目（美術専攻）

科 目	必修単位	選択単位
絵画基礎	2	
彫刻基礎	2	
デザイン演習Ⅰ	2	
表現基礎（絵画）	4	
表現基礎（彫刻）	2	
美学	2	
西洋美術史	2	
日本美術史	2	
工芸演習Ⅰ	2	
卒業制作	4	
美術論		2
鑑賞・批評論		2
現代美術特講A		2
現代美術特講B		2
人体美学		2
色彩学		2
絵画Ⅰ		4
絵画Ⅱ		4
版画演習Ⅰ		2
版画演習Ⅱ		2
版画		2
彫刻Ⅰ		4
彫刻Ⅱ		4
表現演習Ⅰ		2
表現演習Ⅱ		2
総合表現演習		4
デザイン演習Ⅱ		2
工芸演習Ⅱ		2
美術科教育法		2
計	24	48

## ◎美術科専門教育科目（デザイン専攻）

科 目	必修単位	選択単位
デザイン基礎	5	
工芸基礎	2	
絵画演習Ⅰ	2	
彫刻演習Ⅰ	2	
美学	2	
西洋美術史	2	
日本美術史	2	
卒業制作	4	
鑑賞・批評論		2
色彩学		2
デザイン構成		2
意匠学		2
デザイン概論		2
デザイン史		2
絵画演習Ⅱ		2
製図		2
デザイン材料演習		2
デザイン演習		2
工芸史		2
インテリアデザイン		2
彫刻演習Ⅱ		2
工芸演習		2
ビジュアルデザインⅠ		4
ビジュアルデザインⅡ		4
映像演習Ⅰ		2
映像演習Ⅱ		2
デザイン特講Ⅰ		2
デザイン特講Ⅱ		2
工芸Ⅰ		4
工芸Ⅱ		4
工芸材料演習Ⅰ		2
工芸材料演習Ⅱ		2
工芸特講Ⅰ		2
工芸特講Ⅱ		2
美術科教育法		2
計	21	62

## ◎音楽科専門教育科目（声楽専攻）

科 目	必修単位	選択単位
声楽Ⅰ	2	
声楽Ⅱ	2	
音楽理論	2	
西洋音楽史	2	
指揮法	2	
ソルフェージュⅠ	2	
ソルフェージュⅡ	2	
合唱Ⅰ	2	
卒業演奏又は卒業研究	4	
西洋音楽史特講		2
和声学Ⅰ		2
和声学Ⅱ		2
和声アナリーゼ		2
和声アナリーゼ演習		2
対位法Ⅰ		2
対位法Ⅱ		2



作曲法		2
合唱Ⅱ		2
合奏		2
伴奏法		2
音楽美学		2
日本音楽史		2
吹奏楽法		2
学内演奏		2
声楽特講		2
歌曲唱法		2
オペラ唱法		2
音理演習Ⅰ		2
音理演習Ⅱ		2
音理演習Ⅲ		2
音理演習Ⅳ		2
楽書講読		2
ピアノ副Ⅰ		2
ピアノ副Ⅱ		2
管弦打副Ⅰ		2
管弦打副Ⅱ		2
音楽科教育法		2
イタリア語ⅠA		1
イタリア語ⅠB		1
イタリア語ⅡA		1
イタリア語ⅡB		1
計	20	60

## ◎音楽科専門教育科目（器楽専攻）

科 目	必修単位	選択単位
器楽Ⅰ	2	
器楽Ⅱ	2	
器楽Ⅲ	2	
器楽Ⅳ	2	
音楽理論	2	
西洋音楽史	2	
指揮法	2	
ソルフェージュⅠ	2	
ソルフェージュⅡ	2	
卒業演奏	4	
西洋音楽史特講		2
和声学Ⅰ		2
和声学Ⅱ		2
和声アナリーゼ		2
作曲法		2
合唱Ⅰ		2
合唱Ⅱ		2
合奏		2
伴奏実技		2
伴奏法		2
音楽美学		2
日本音楽史		2
吹奏楽法		2
学内演奏		2
ピアノ特講		2
オーケストラⅠ		2
オーケストラⅡ		2
管弦打特講Ⅰ		2
管弦打特講Ⅱ		2

声楽副Ⅰ		2
声楽副Ⅱ		2
ピアノ副Ⅰ		2
ピアノ副Ⅱ		2
管弦打副Ⅰ		2
管弦打副Ⅱ		2
音楽科教育法		2
計	22	52

## ◎国際文化学科専門教育科目

科 目	必修単位	選択単位
日本の歴史		2
大分の歴史と文化（古代～鎌倉）		2
東洋の文化		2
日本文学概論		2
日本の思想		2
大分の歴史と文化（戦国～江戸）		2
アジア太平洋の文化と社会		2
東洋倫理学		2
日本古典文学論		2
日本文学各論		2
韓国の文化と社会		2
東洋美術史		2
大分の美術史		2
歴史資料論（考古・古美術）		2
中国の文化と社会		2
中国語ゼミナールA		2
日韓文化比較		2
民俗学		2
歴史資料論（民俗・古文書）		2
比較文化論		2
現代日本論		2
中国語ゼミナールB		2
パフォーマンス人類学		2
文化交流史		2
海外中国語実習		2
海外韓国語実習		2
日米文化比較①		2
英語ゼミナールⅠ①		2
英語学		2
アメリカの歴史		2
日米文化比較②		2
英語ゼミナールⅠ②		2
西洋古典講読		2
英語ゼミナールⅡ		2
イングリッシュ・ライティング		2
中世ヨーロッパ世界の歴史		2
西洋の思想		2
アメリカの文化と社会①		2
英文学講読A		2
クリエイティブ・ライティング		2
イギリスの文化と社会		2
フランスの文化と社会		2
ポルトガルの文化と社会		2
英文学史		2
英文学論		2
国際環境論		2
キリスト教の思想		2

アメリカの文化と社会②		2
英文学講読B		2
時事英語		2
ポルトガル語ゼミナール		2
国際経済論		2
海外英語実習		2
日本の伝統文化		2
近代日本文化論		2
文化人類学		2
西洋思想史		2
総合人間論		2
国語表現法		2
東洋の思想		2
教養ゼミナール	2	
専門ゼミナール (大分の歴史研究)		2
専門ゼミナール (中国研究)		2
専門ゼミナール (文化人類学研究)		2
専門ゼミナール (美術史研究)		2
専門ゼミナール (近現代小説研究)		2

科 目	必修単位	選択単位
専門ゼミナール (英詩研究)		2
専門ゼミナール (英語研究)		2
専門ゼミナール (西洋哲学研究)		2
専門ゼミナール (英文学研究)		2
専門ゼミナール (フランス文学研究)		2
専門ゼミナール (アメリカ研究)		2
専門ゼミナール (西洋史研究)		2
専門ゼミナール (世界史研究)		2
卒業研究	4	
情報処理基礎演習		1
秘書実務 I		1
消費行動論		2
現代生活論		2
現代社会論		2
情報処理応用演習		1
情報機器応用演習		1
論文作成基礎		2
秘書概論		2
社会心理学		2
秘書実務 II		1
簿記		2
現代企業論		2
計	6	167

## ◎情報コミュニケーション学科専門教育科目

科 目	必修単位	選択単位
心理学概論	2	
パーソナリティ論		2
社会心理学		2
グループワーク論		2
家族心理学		2
コミュニケーション心理学		2
発達心理学		2
教育心理学		2
産業・組織心理学		2
臨床心理学		2

芸術心理学		2
心理学演習Ⅰ		1
心理学演習Ⅱ		1
社会学概論	2	
地域づくり論		2
現代生活論		2
現代社会論		2
労働社会論		2
少子高齢社会論		2
社会福祉論		2
情報社会論		2
スポーツと生活		2
教育学		2
教育学特講Ⅰ		2
教育学特講Ⅱ		2
社会学演習Ⅰ		1
社会学演習Ⅱ		1
比較文化論		2
マス・コミュニケーション論	2	
ジャーナリズム論		2
メディア・コミュニケーション		2
放送論		2
ニュース英語Ⅰ		2
ニュース英語Ⅱ		2
情報化と公共政策		2
ネット社会と人権		2
消費行動論		2
映像表現・演出		2
教育メディア論		2
日本語表現Ⅰ		2
日本語表現Ⅱ		2
プレゼンテーション		2
新聞雑誌制作Ⅰ		1
新聞雑誌制作Ⅱ		1
映像編集演習		1
情報処理論	2	
情報基礎		2
情報ネットワーク論		2
データベース論		2
問題解決法		2
情報技術論		2
ヒューマンマシン・コミュニケーション論		2
情報処理応用演習		1
プログラミング演習		1
情報ネットワーク演習		1
コンピュータ・グラフィックス演習		1
スポーツの分析と評価		1
地域社会概論	2	
地域社会特講Ⅰ	2	
地域社会特講Ⅱ	2	

## ◎情報コミュニケーション学科専門教育科目

科 目	必修単位	選択単位
地域開発論		2
地方行政法		2
基礎演習	1	
社会調査法	1	
心理学研究法	1	

情報処理基礎演習		1
情報機器応用演習		1
卒業研究	4	
ビジネス・コンピューティング		1
シスアド取得講座		1
アナウンサー講座		1
秘書概論		2
秘書実務 I		1
秘書実務 II		1
現代企業論		2
簿記		2
サービス・ラーニング I		1
サービス・ラーニング II		1
海外英語実習		2
海外中国語実習		2
海外韓国語実習		2
計	21	119

## ◎教職に関する専門科目

科 目	必修単位	選択単位
道徳教育論		1
教職概論		2
教育心理学		2
生徒指導論（進路指導を含む）		2
教育の基礎理論		1
教育課程及び指導法（特別活動を含む）		1
教育行政学		1
教育相談論		2
教育実習研究		1
教育実習 I		2
教育実習 II		2
計		17

## 資料 教育課程表(専攻科)

## 教 育 課 程 表

## ◎専攻科造形専攻専門・共通教育科目

科 目	必修単位	選択単位
造形研究Ⅰ	8	
造形研究Ⅱ	8	
造形研究Ⅲ	8	
修了研究	8	
版画研究A		2
版画研究B		2
美学特論		2
絵画特論		2
デザイン特論		2
工芸特論		2
造形素材特論		2
日本美術史特論		2
西洋美術史特論		2
芸術学特論		2
東洋文化史特論		2
西洋文化史特論		2
芸術心理学特論		2
アート・マネジメント演習		2
ドイツ語特論A		1
ドイツ語特論B		1
イタリア語特論A		1
イタリア語特論B		1
文化交流史特論		2
映像表現特論		2
消費行動特論		2
体育A		1
体育B		1
計	32	40

## ◎専攻科音楽専攻専門・共通教育科目

科 目	必修単位	選択単位
音楽研究Ⅰ	4	
音楽研究Ⅱ	4	
音楽研究Ⅲ	4	
音楽研究Ⅳ	4	
研究発表Ⅰ	2	
研究発表Ⅱ	2	
修了研究	8	
実技特論Ⅰ		2
実技特論Ⅱ		2
音楽理論特論A		4
音楽理論特論B		4
音楽史特論A		4

音楽史特論B		4
音楽史特別研究		4
和声学特別研究		4
音楽美学特論		2
重唱 I		4
重唱 II		4
声楽特殊研究 I		4
声楽特殊研究 II		4
合唱研究 I		2
合唱研究 II		2
キーボードハーモニー		4
ピアノ音楽史		4
伴奏実習 I		2
伴奏実習 II		2
オーケストラ研究 I		2
オーケストラ研究 II		2
器楽アンサンブルA		4
器楽アンサンブルB		4
器楽アンサンブルC		4
器楽アンサンブルD		4
オーケストラスタディ I		2
オーケストラスタディ II		2
芸術学特論		2
東洋文化史特論		2
西洋文化史特論		2
芸術心理学特論		2
アート・マネジメント演習		2
ドイツ語特論A		1
ドイツ語特論B		1
イタリア語特論A		1
イタリア語特論B		1
文化交流史特論		2
映像表現特論		2
消費行動特論		2
体育A		1
体育B		1
計	28	108

資料 出身高校等の所在地県別在学学生数(平成17年4月1日現在)

年次・学科 都道府県名	1 年 次 生									
	美術科		音楽科		国際文化		情報コミュ		計	
大分	31	(2)	24	(1)	84	(2)	86	(2)	225	(7)
福岡	10	(1)	11	(2)	5	(1)	5		31	(4)
佐賀					1		1		2	0
長崎	4				3		3	(1)	10	(1)
熊本	7		16	(1)	3	(1)	5	(1)	31	(3)
宮崎	8	(3)	2		16		10		36	(3)
鹿児島	8		8		2		7		25	0
沖縄	1		1						2	0
愛媛					2				2	0
香川									0	0
徳島									0	0
高知	1								1	0
山口	1		3		1				5	0
鳥取									0	0
島根	3	(1)							3	(1)
広島			2		1				3	0
岡山									0	0
兵庫	1								1	0
大阪							1		1	0
愛知	1		1						2	0
静岡									0	0
三重									0	0
岐阜									0	0
福井			1						1	0
長野									0	0
新潟			1						1	0
秋田									0	0
北海道							1		1	0
中国(留学生)									0	0
県外生小計	45	(5)	46	(3)	34	(2)	33	(2)	158	(12)
合 計	76	(7)	70	(4)	118	(4)	119	(4)	383	(19)
県外生在学率(%)	59.21		65.71		28.81		27.73		41.25	

※( )は男子学生数を示し、内数である。



年次・学科 都道府県名	2 年 次 生									
	美術科		音楽科		国際文化	情報コミュ	計			
大分	28	(3)	31	(1)	72		92	(3)	223	(7)
福岡	13	(3)	11		7		1		32	(3)
佐賀	4	(1)	4		2		1		11	(1)
長崎	3	(1)	6	(1)	6	(1)	1		16	(3)
熊本	8	(1)	13	(1)	2		2		25	(2)
宮崎	9	(1)	1		10	(1)	7		27	(2)
鹿児島	8	(1)	6		11		6		31	(1)
沖縄									0	0
愛媛	1	(1)	1		1		1		4	(1)
香川	1		1	(1)			1		3	(1)
徳島	1	(1)			1				2	(1)
高知									0	0
山口	1		1		3		2		7	0
鳥取									0	0
島根			1	(1)			2		3	(1)
広島	2	(1)					2	(1)	4	(2)
岡山									0	0
兵庫			1	(1)					1	(1)
大阪	2		1						3	0
愛知									0	0
静岡	1								1	0
三重									0	0
岐阜									0	0
福井									0	0
長野									0	0
新潟									0	0
秋田					1				1	0
北海道									0	0
中国(留学生)	1	(1)					1	(1)	2	(2)
県外生小計	55	(12)	47	(5)	44	(2)	27	(2)	173	(21)
合 計	83	(15)	78	(6)	116	(2)	119	(5)	396	(28)
県外生在学率(%)	66.27		60.26		37.93		22.69		43.69	

年次・学科 都道府県名	合 計									
	美術科		音楽科		国際文化		情報コミュ		計	
大分	59	5	55		156	2	178	5	448	14
福岡	23	4	22		12	1	6	0	63	7
佐賀	4	1	4		3	0	2	0	13	1
長崎	7	1	6		9	1	4	1	26	4
熊本	15	1	29		5	1	7	1	56	5
宮崎	17	4	3		26	1	17	0	63	5
鹿児島	16	1	14		13	0	13	0	56	1
沖縄	1	0	1		0	0	0	0	2	0
愛媛	1	1	1		3	0	1	0	6	1
香川	1	0	1		0	0	1	0	3	1
徳島	1	1	0		1	0	0	0	2	1
高知	1	0	0		0	0	0	0	1	0
山口	2	0	4		4	0	2	0	12	0
鳥取	0	0	0		0	0	0	0	0	0
島根	3	1	1		0	0	2	0	6	2
広島	2	1	2		1	0	2	1	7	2
岡山	0	0	0		0	0	0	0	0	0

兵庫	1	0	1	0	0	0	0	2	1
大阪	2	0	1	0	0	1	0	4	0
愛知	1	0	1	0	0	0	0	2	0
静岡	1	0	0	0	0	0	0	1	0
三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井	0	0	1	0	0	0	0	1	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新潟	0	0	1	0	0	0	0	1	0
秋田	0	0	0	1	0	0	0	1	0
北海道	0	0	0	0	0	1	0	1	0
中国(留学生)	1	1	0	0	0	1	1	2	2
県外生小計	100	17	93	78	4	60	4	331	33
合計	159	22	148	234	6	238	9	779	47
県外生在学率(%)	62.89		62.84		33.33		25.21		42.49

年次・学科 都道府県名	専攻科生					
	美術		音楽		計	
大分	14		5	(1)	19	(1)
福岡	1	(1)	3		4	(1)
佐賀			1		1	0
長崎			1		1	0
熊本	3				3	0
宮崎	1		5		6	0
鹿児島			4		4	0
沖縄					0	0
愛媛	1				1	0
香川					0	0
徳島	1				1	0
高知					0	0
山口	2	(1)			2	(1)
鳥取	1				1	0
島根					0	0
広島			1		1	0
岡山					0	0
兵庫					0	0
大阪					0	0
愛知					0	0
静岡					0	0
三重					0	0
岐阜					0	0
福井					0	0
長野					0	0
新潟					0	0
秋田					0	0
北海道			1	(1)	1	(1)
中国(留学生)					0	0
県外生小計	10	(2)	16	(1)	26	(3)
合計	24	(2)	21	(2)	45	(4)
県外生在学率(%)	41.67		76.19		57.78	

資料 都道府県別在学生数(平成18年4月1日現在)

年次・学科 都道府県名	1年次生					2年次生				
	美術科	音楽科	国際文化	情報 コミュ	計	美術科	音楽科	国際文化	情報 コミュ	計
大分	24 (2)	28 (2)	66 (5)	89 (3)	207 (12)	33 (2)	23 (1)	86 (2)	89 (3)	231 (8)
福岡	14 (1)	10 (4)	3	2	29 (5)	13 (2)	11 (1)	6 (1)	5	35 (4)
佐賀		3 (1)	4		7 (1)	1 0	1	1	1	4 0
長崎	5 (1)	4 (1)	4	1	14 (2)	4		3	3 (1)	10 (1)
熊本	7 (1)	12 (2)	3 (1)	1	23 (4)	8	15 (1)	3 (1)	5 (1)	31 (3)
宮崎	6 (1)	7 (2)	7	7	27 (3)	8 (3)	2	16	10	36 (3)
鹿児島	9	10	5	2	26 0	9	9	4	6	28 0
沖縄		1			1 0	1	1			2 0
愛媛	3		1	1	5 0		1	2		3 0
徳島					0 0			1		1 0
高知	1				1 0	1				1 0
山口	5	2	3	3 (1)	13 (1)	1	3	1		5 0
鳥取		1			1 0					0 0
島根			1	1	2 0	3 (1)				3 (1)
広島	3		1		4 0		2	1		3 0
岡山	1				1 0					0 0
奈良					0 0					0 0
和歌山		1			1 0					0 0
兵庫					0 0	1				1 0
大阪					0 0				1	1 0
愛知				1	1 0	1	1			2 0
静岡					0 0	1				1 0
福井					0 0		1			1 0
石川			1		1 0					0 0
新潟					0 0		1			1 0
栃木			1		1 0					0 0
茨城			2		2 0					0 0
宮城		1			1 0					0 0
北海道				1	1 0				1	1 0
県外生小計	54 (4)	52 (10)	36 (1)	20 (1)	162 (16)	52 (6)	48 (2)	38 (2)	32 (2)	170 (12)
合計	78 (6)	80 (12)	102 (6)	109 (4)	369 (28)	85 (8)	71 (3)	124 (4)	121 (5)	401 (20)
県外生在学率(%)	69.23	65.00	35.29	18.35	43.90	61.18	67.61	30.65	26.45	42.39

※( )は男子学生数を示し、内数である。

年次・学科 都道府県名	1年・2年 合計										専攻科生					
	美術科		音楽科		国際文化		情報 コミュ		計		美術		音楽		計	
大分	57	(4)	51	(3)	152	(7)	178	(6)	438	(20)	7	(1)	3		10	(1)
福岡	27	(3)	21	(5)	9	(1)	7	0	64	(9)	4	(1)	5		9	(1)
佐賀	1	0	4	(1)	5	0	1	0	11	(1)	1	(1)			1	(1)
長崎	9	(1)	4	(1)	7	0	4	(1)	24	(3)					0	0
熊本	15	(1)	27	(3)	8	(2)	6	(1)	54	(7)	2		3		5	0
宮崎	14	(4)	9	(2)	23	0	17	0	63	(6)	2		2		4	0
鹿児島	18	0	19	0	9	0	8	0	54	0	3		2		5	0
沖縄	1	0	2	0	0	0	0	0	3	0					0	0
愛媛	3	0	1	0	3	0	1	0	8	0					0	0
徳島	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0					0	0
高知	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0					0	0
山口	6	0	5	0	4	0	3	(1)	18	(1)	1				1	0
鳥取	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
島根	3	(1)	0	0	1	0	1	0	5	(1)					0	0
広島	3	0	2	0	2	0	0	0	7	0					0	0
岡山	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0					0	0
奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1		1	0
和歌山	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
兵庫	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0					0	0
大阪	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0					0	0
愛知	1	0	1	0	0	0	1	0	3	0					0	0
静岡	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0					0	0
福井	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
石川	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0					0	0
新潟	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
栃木	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0					0	0
茨城	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0					0	0
宮城	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
北海道	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0					0	0
県外生小計	106	(10)	100	(12)	74	(3)	52	(3)	332	(28)	13	(2)	13	0	26	(2)
合計	163	(14)	151	(15)	226	(10)	230	(9)	770	(48)	20	(3)	16	0	36	(3)
県外生在学率(%)	65.03		66.23		32.74		22.61		43.12		65.00		81.25		72.22	

資料 都道府県別(出身校)在学生数(平成19年5月1日現在)

年次・学科 都道府県名	1年次生					2年次生				
	美術科	音楽科	国際文化 学 科	情報 コミュニ ケーショ ン学科	計	美術科	音楽科	国際文化 学 科	情報 コミュニ ケーショ ン学科	計
大分	26 (3)	28 0	68 (4)	92 (1)	214 (8)	25 (2)	32 (3)	70 (6)	92 (3)	219 (14)
福岡	11 (2)	7 (2)	4 (2)	6	28 (6)	15 (1)	10 (4)	4 (1)	2	31 (6)
佐賀	5	2 (1)			7 (1)		3 (1)	4		7 (1)
長崎	2 (1)	2	3 (1)	1	8 (2)	5 (1)	3 (1)	4	1	13 (2)
熊本	6	10	1	1 (1)	18 (1)	8 (1)	13 (2)	3 (1)	1	25 (4)
宮崎	9 (3)	6	13 (1)	8 (1)	36 (5)	6 (1)	7 (2)	9	7	29 (3)
鹿児島	13	5 (1)	13	7	38 (1)	9	11	5	2	27 0
沖縄					0 0		1			1 0
愛媛	1		1		2 0	3		1	1	5 0
香川	1		1		2 0					0 0
高知					0 0	1				1 0
山口	3	1		1	5 0	5	2	3	3 (1)	13 (1)
鳥取					0 0		1			1 0
島根			2	1	3 0			1	1	2 0
広島					0 0	3		1		4 0
岡山	1		1		2 0	1				1 0
和歌山					0 0		1			1 0
兵庫			1		1 0					0 0
愛知					0 0				1	1 0
静岡	1				1 0	1				1 0
三重				1	1 0					0 0
岐阜			1 (1)		1 (1)					0 0
石川		1			1 0			1		1 0
新潟					0 0		1			1 0
埼玉		1 (1)			1 (1)					0 0
栃木					0 0			1		1 0
茨城					0 0			2		2 0
福島		1			1 0					0 0
宮城					0 0		1			1 0
北海道					0 0				1	1 0
県外生小計	53 (6)	36 (5)	41 (5)	26 (2)	156 (18)	57 (4)	54 (10)	39 (2)	20 (1)	170 (17)
合計	79 (9)	64 (5)	109 (9)	118 (3)	370 (26)	82 (6)	86 (13)	109 (8)	112 (4)	389 (31)
県外生在 学率(%)	67.09	56.25	37.61	22.03	42.16	69.51	62.79	35.78	17.86	43.70

※( )は男子学生数を示し、内数である。

年次・学科 都道府県名	合 計										専攻科1年次生					
	美術科		音楽科		国際文化 学 科		情報 コミュニ ケーショ ン学科		計		専攻科					
											造形	音楽	計			
大分	51	(5)	60	(3)	138	(10)	184	(4)	433	(22)	11	0	7	(1)	18	(1)
福岡	26	(3)	17	(6)	8	(3)	8	0	59	(12)	3	(1)	4	(1)	7	(2)
佐賀	5	0	5	(2)	4	0	0	0	14	(2)					0	0
長崎	7	(2)	5	(1)	7	(1)	2	0	21	(4)	1				1	0
熊本	14	(1)	23	(2)	4	(1)	2	(1)	43	(5)	1		6	(1)	7	(1)
宮崎	15	(4)	13	(2)	22	(1)	15	(1)	65	(8)	4	(2)	2		6	(2)
鹿児島	22	0	16	(1)	18	0	9	0	65	(1)	2		4		6	0
沖縄	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
愛媛	4	0	0	0	2	0	1	0	7	0					0	0
香川	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0					0	0
高知	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0					0	0
山口	8	0	3	0	3	0	4	(1)	18	(1)					0	0
鳥取	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
島根	0	0	0	0	3	0	2	0	5	0	1	(1)			1	(1)
広島	3	0	0	0	1	0	0	0	4	0					0	0
岡山	2	0	0	0	1	0	0	0	3	0					0	0
和歌山	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
兵庫	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0					0	0
愛知	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0					0	0
静岡	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0					0	0
三重	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0					0	0
岐阜	0	0	0	0	1	(1)	0	0	1	(1)					0	0
石川	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0					0	0
新潟	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
埼玉	0	0	1	(1)	0	0	0	0	1	(1)					0	0
栃木	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0					0	0
茨城	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0					0	0
福島	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0					0	0
宮城	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0			1		1	0
北海道	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0					0	0
県外生小計	110	(15)	90	(15)	80	(7)	46	(3)	326	(35)	12	(4)	17	(2)	29	(6)
合計	161	!(18)	150	!(18)	218	!(17)	230	!(7)	759	!(57)	23	!(4)	24	!(3)	47	!(7)
県外生在 学率(%)	68.32		60.00		36.70		20.00		42.95		52.17		70.83		61.70	

資料 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学の組織に関する規程

平成18年4月1日

規程第 6 号

改正 平成19年3月19日

## 目次

- 第1章 総則（第1条）
- 第2章 事務局（第2条・第3条）
- 第3章 教務学生部（第4条―第7条）
- 第4章 附属図書館（第8条・第9条）
- 第5章 学科（第10条）
- 第6章 FD推進会議（第11条）
- 第7章 委員会等（第12条・第13条）
- 第8章 事務職員（第14条）
- 附則

### 第1章 総則

（趣旨）

**第1条** この規程は、公立大学法人大分県立芸術文化短期大学（以下「法人」という。）及び法人が設置する大分県立芸術文化短期大学（以下「大学」という。）の組織に関し 必要な事項を定める。

### 第2章 事務局

（事務局）

**第2条** 法人及び大学の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に、総務企画グループを置く。
- 3 総務企画グループの分掌事務については、別に定める。

（事務局長等）

**第3条** 事務局に、局長及び総務企画部長を置く。

- 2 事務局長は、理事長を補佐し、法人及び大学の事務を掌理する。
- 3 総務企画部長は、上司の命を受け、総務企画グループの事務を総括する。

### 第3章 教務学生部

（教務学生部）

**第4条** 教務、学生、入試及び広報に関する事務を処理するため、教務学生部を置く。

（部長等）

**第5条** 教務学生部に、部長及び副部長2人を置く。

- 2 部長は、理事長を補佐し、部の事務を統括する。
- 3 部長は、教授の中から理事長が任命し、任期は2年を超えない範囲内において理事長が定める。
- 4 副部長は、1人を教務・学生事務担当の副部長（以下「教務・学生担当副部長」という。）とし、1人を入試・広報事務担当の副部長とする。
- 5 副部長は、教授又は准教授の中から学長が任命し、任期は2年を超えない範囲内にお

いて学長が定める。

6 部長及び副部長は、再任されることができる。

(教務学生グループ)

**第6条** 教務学生部に、部の事務を処理するため、教務学生グループを置く。

2 教務学生グループに、教務学生グループリーダーを置く。

3 教務学生グループリーダーは、上司の命を受け、教務学生グループの事務を総括する。

4 教務学生グループの分掌事務については、別に定める。

(進路支援室)

**第7条** 教務学生部に、進学、就職等学生の進路を支援するため、進路支援室（以下「室」という。）を置く。

2 室に、室長、進路支援主任及び就職指導担当の嘱託職員を置く。

3 室長は、室の事務を総括し、業務の遂行に当たっては、教務・学生担当副部長及び教務学生グループリーダーと協議して行うものとする。

4 室長は、教授の中から学長が任命する。

5 室長の任期は、2年を超えない範囲内において学長が定めるものとする。

6 室長は、再任されることができる。

7 進路支援主任は、美術科及び音楽科からそれぞれ教員1人を、国際文化学科及び情報コミュニケーション学科からそれぞれ教員2人を学科において選出し、学長は、当該選出された者を任命するものとする。

8 進路支援主任の任期は、1年とする。

9 進路支援主任は、再選出され、再任されることができる。

10 進路支援に係る室の会議には、教務・学生担当副部長及び教務学生グループリーダーが出席するほか、室長は、必要に応じて、事務局長及び総務企画部長の出席を求めることができる。

11 室の分掌事務については、別に定める。

#### 第4章 附属図書館

(館長)

**第8条** 附属図書館に、館長を置く。

2 館長は、図書館の事務を統括する。

3 館長は、教授の中から、理事長が任命する。

4 館長の任期は、2年を超えない範囲内において理事長が定めるものとする。

5 館長は、再任されることができる。

(図書管理グループ)

**第9条** 附属図書館に、図書管理グループを置く。

2 図書管理グループの分掌事務については、別に定める。

#### 第5章 学科及び専攻科

(学科長等)

**第10条** 学科に学科長を、専攻科に専攻科長を置く。

2 学科長及び専攻科長は、当該学科の教授の中から、学長が任命する。ただし、兼職を命ずることができる。



- 3 学科長及び専攻科長の任期は、2年を超えない範囲内において学長が定めるものとする。
- 4 学科長及び専攻科長は、再任されることができる。

## 第6章 FD推進会議

(FD推進会議)

**第11条** 教育に関する改善活動を組織的に行うため、FD推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

- 2 推進会議は、会長、教務・学生担当副部長及びFD推進教員をもって組織する。
- 3 会長は、教授の中から学長が任命する。
- 4 会長の任期は、2年とする。ただし、補欠の会長の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 会長は、再任されることができる。
- 6 FD推進教員は、各学科から1人を選出し、学長は、当該選出された教員を任命するものとする。
- 7 FD推進教員の任期は、2年とする。ただし、補欠のFD推進教員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 8 FD推進教員は、再選出され、再任されることができる。
- 9 会長は、必要に応じて、推進会議の会議に事務局長、総務企画部長及び教務学生グループリーダーの出席を求めることができる。
- 10 推進会議の分掌事務については、別に定める。

## 第7章 専門委員会等

(専門委員会)

**第12条** 教育研究審議会に、特定の事項について専門的に審議するため、専門委員会を置くことができる。

- 2 前項の専門委員会に関する事項は、別に定める。

(部会等)

**第13条** 教育研究審議会に、特定の事項について実務的な検討を行うため、部会を置くことができる。

- 2 教育研究審議会に、特定の事項について臨時的な審議を行うため、委員会を置くことができる。

## 第8章 事務職員

(事務職員)

**第14条** 総務企画グループ、教務学生グループ及び図書管理グループに、主幹、副主幹、主査、主任又は主事の職に任ずる事務職員を置く。

- 2 前項の事務職員は、上司の命を受け、グループの事務を処理する。
- 3 事務局長は、教務学生グループ及び図書管理グループの事務職員を指揮命令することができる。

## 附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

## 資料 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学専門委員会規程

平成18年4月1日  
規程第 8 号

(趣旨)

**第1条** この規程は、公立大学法人大分県立芸術文化短期大学の組織に関する規程第12条第2項の規定により設置する専門委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営等 に関し必要な事項を定める。

(設置)

**第2条** 次の表に掲げる委員会を設置し、それぞれ次の表に掲げる事項を検討審議する。

名 称	事 項
入試委員会	入試に関すること。
広報委員会	大学の広報に関すること。
地域貢献委員会	地域貢献及び公開講座に関すること。
自己評価委員会	自己点検及び自己評価に関すること。
教務学生委員会	教務及び学生（進路支援を除く。）に関すること。
共通教育委員会	共通教育に関すること。
教育実習委員会	教育実習に関すること。
図書委員会	附属図書館の運営に関すること。
紀要編集委員会	研究紀要の編集・発刊に関すること。
情報メディア委員会	・ 情報処理教育及び視聴覚メディア教育に関すること。 ・ 学内のコンピュータネットワークシステムに関すること。 ・ 本学ホームページのサーバーの運営に関すること。
LL委員会	外国語教育及びLL教室の運営に関すること。
国際交流委員会	国際交流に関すること。

(組織)

**第3条** 委員会は、委員長及び委員で組織する。ただし、広報委員会は、委員長、副委員長及び委員で組織する。

(委員長等)

**第4条** 各委員会の委員長、副委員長及び委員は、それぞれ別表に定めるとおりとする。

ただし、図書管理グループに副主幹を置く場合においては、同表中「図書管理グループ主幹」とあるのは、「図書管理グループ副主幹」と読み替えるものとする。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員（広報委員会にあっては、副委員長）がその職務を代行する。

(学科選出委員の任期)

**第5条** 学科から選出される委員（以下「学科選出委員」という。）の任期は、別表に定めるとおりとする。

2 学科選出委員は、再任されることができる。

3 学科選出委員の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

**第6条** 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。ただし、委員長は、必要に応じて委員の中から議長を指名することができる。

2 委員会の会議は、構成員の3分の2以上が出席しなければこれを開くことができない。

3 委員長は、必要に応じて関係職員に対し会議への出席を求め、その意見を聴くことができる。

4 委員は、病気その他やむを得ない理由により会議に出席することができないときは、委員長に届け出なければならない。

(報告)

**第7条** 委員長は、委員会の検討審議の結果について、適宜、教育研究審議会に報告するものとする。

(委任)

**第8条** 委員会の運営に関し必要な事項は、この規程に定めるもののほか、委員長が定めるものとする。

#### 附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 この規程により任命される最初の広報委員会及び地域貢献委員会の学科選出委員の任期については、別表の規定にかかわらず、1年を超えない範囲内で別に定めることができる。

別表 (第4条・第5条関係)

名 称	委員長等	委 員	学科選出委員の任期
入試委員会	学長	附属図書館長 事務局長 教務学生部長 各科長 総務企画部長 入試・広報担当副部長 教務学生グループリーダー	
広報委員会	委員長 教務学生部長 副委員長 総務企画部長	事務局長 入試・広報担当副部長 教務学生グループリーダー 学科選出教員 (各科2人)	1年。ただし、半数を毎年9月に改選し、任期を10月1日から翌年9月30日までとする。

地域貢献委員会	委員互選	附属図書館長 事務局長 総務企画部長 教務学生部長 入試・広報担当副部長 教務学生グループリーダー 図書管理グループ主幹 学科選出教員 (各科2人)	2年
---------	------	---	----

自己評価委員会	F D推進会議会長	教務学生部長 F D推進教員（各科1人） 教務・学生担当副部長 入試・広報担当副部長 教務学生グループリーダー 事務局長 総務企画部長 図書管理グループ主幹	
教務学生委員会	教務学生部長	教務・学生担当副部長 教務学生グループリーダー 学科選出教員（各科1人）	1年
共通教育委員会	委員互選	教務学生部長 教務・学生担当副部長 教務学生グループリーダー 学科選出教員（各科1人）	1年
教育実習委員会	委員互選	教務学生部長 教務学生グループリーダー 教職科目担当教員 美術科選出教員（1人） 音楽科選出教員（1人）	1年 1年
図書委員会	附属図書館長	図書管理グループ主幹 学科選出教員（各科1人）	1年
紀要編集委員会	委員互選	学科選出教員（各科1人）	1年
情報メディア委員会	委員互選	情報教育センター長 視聴覚メディアセンター長 情報科目担当教員 学科選出教員（各科1人） 図書管理グループ主幹 総務企画部長が指名する総務 企画グループの職員 教務学生グループリーダーが 指名する同グループの職員	1年
L L委員会	委員互選	語学科目担当教員	
国際交流委員会	委員互選	総務企画部長 学科選出教員（各科1人）	1年

※ 本報告書は平成 21 年度に申請を予定している独立行政法人大学評価・学位授与機構の認証評価の書式にほぼ沿って記述しています。

## 平成 19 年度 大分県立芸術文化短期大学自己点検・評価委員会

委員長 学長 利光 功  
 委員 教務学生部長 教授 佐藤淳介  
 附属図書館長 教授 凍田和美  
 専攻科長・美術科長 教授 根之木英二  
 音楽科長 教授 小川伊作  
 国際文化学科長 教授 吉良國光  
 情報コミュニケーション学科長 教授 吉良伸一  
 事務局長 小野陽一郎  
 総務企画部長 戸田太治

## 平成 19 年度 大分県立芸術文化短期大学自己点検・評価委員会・作業部会

部会長 教務学生部長 教授 佐藤淳介  
 委員 附属図書館長 教授 凍田和美  
 美術科 教授 河上 央  
 音楽科 教授 磯崎淳子  
 国際文化学科 准教授 高瀬圭子  
 情報コミュニケーション学科 准教授 藤田 文  
 学生部副部長 教授 久保木真人  
 学生部副部長 准教授 洲 雅明  
 事務局長 小野陽一郎  
 総務企画部長 戸田太治  
 総務企画グループ主幹 井下哲二  
 教務学生グループリーダー 土田一彦  
 教務学生グループ主任 片山美香  
 図書管理副主幹 後藤秀一

大分県立芸術文化短期大学 自己点検・評価報告書

平成 20 年 4 月 30 日 発行

編集・発行 大分県立芸術文化短期大学  
〒870-0833 大分市上野丘東1丁目11番  
電話 097-545-0542

